#### バカと白黒と召喚獣

ailia

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

#### 注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

【小説タイトル】

バカと白黒と召喚獣

【エーロス】

【作者名】

a i l i a

【あらすじ】

試験召喚システムを導入した試験校である文月学園

そのFクラスに一人の少年が転入する。

そんな少年にはある秘密が。 少年は天然だったり、 影が薄かったり、 ちょっぴり不幸だったり。

笑いあり、涙はないけど時々シリアス?

少年とFクラスの愉快な仲間たちが繰り広げる学園物語開始します

#### プロローグ

#### プロローグ

転入生の振り分け試験当日に今まで住んでいたアパートが火事にな 葉桜に変わるころ。 ったんだ。 つい数日前まで短い命を精一杯燃やすように咲き誇っていた桜が、 僕は皆より三日遅い新年度を迎えた。

期に間に合わなかった。 おかげで振り分け試験は受けそびれるし、 引越し作業のせいで新学

ちなみに出火原因は下の階に住んでいる住人のタバコの火の不始末

あの親父次に会ったら一発殴ってやる。

そして今日が僕の新学期初の登校日なんだけど...

現在時刻8:55

.....寝坊だああああああああま!!

初日から完全に遅刻.....。

僕は朝食を食べる暇もなく学校へ走る。

転入先の文月学園へ.....。

#### 主人公設定

名前 鮎川 蓮 16歳

容姿 黒髪にちょっと茶色っぽい瞳。 髪は男としては長めで、 肩に

身長は明久よりも少し低いくらい。 顔は中性的。 どちらかというと女性に近い顔立ちをしている。 華奢

成績 学年主席クラス。

得意教科は数学と英語(600点近い)。

苦手教科は保健体育 (30点行かない)

他の教科は古典と現国が300点台前半。 地理、 政治経済が

400点前後。

他は400点台。 (英語Wは500点台)

総合科目は12教科で5000点くらい。

召喚獣 上半身は黒のジャケット。

下半身は黒目のジーンズ

右手に両刃の剣。

左手は指が刃物のように変形している。 (関節はある)

その為両手で剣をもてない。

腕輪能力 「衝撃波」

左手から竜巻状の衝撃波を放つ。 反動で自身の召喚獣は

すごい勢いで後退

するため、 コントロー ルが難しい。 召喚フィ ルドの端

#### で放ち、

反動を抑えきれずにフィールドの外へ出てしまうと、 敵

前逃亡になる。

備 考 バイトで生計を立てている。 一人暮らし。 両親は死亡し、親類は姿を見せない。

## 主人公設定 (後書き)

単教科の点数から「それはありえないだろ」ということから が340点前後になってしまい、作中での姫路さんの 数学、英語、英語₩、物理、化学、 を除外することにしました。 作中で一度も使われた描写のない(野球でも出てこなかった)生物 ですが、生物も入れて13教科にしてしまうと、姫路さんの平均点 政治経済(現代社会)、地理、古典、現代国語、保健体育の 12教科とします。本来なら、生物が入ってないのはありえないの この小説では文月学園の教科は 世界史、 日本史、

## 問 人は見かけによらない のかも

バカテスト化学

シウムを材料に選んだのだが、 『調理のために火にかける鍋を製作する際、 重量が軽いのでマグネ

調理を始めると問題が発生した。 この時の問題点とマグネシウムの

例を一つ挙げなさい。

代わりに用いるべき金属合金の

姫路瑞希の答え

『問題点.....マグネシウムは火にかけると激しく酸素と反応するた

め危険であるという点。

合金の例 ..... ジュラルミン』

教師のコメント

ですが、 正解です。 姫路さんは引っかかりませんでしたね。 合金なので「鉄」 ではだめだという引っ 掛け問題なの

鮎川蓮の答え

くなる点。 『問題点..... マグネシウムは熱すると化学反応を起こして非常に脆

合金の例.....アルミ鋳物合金』

教師のコメント

おおむね正解です。 問題点は脆くなる前に発火して危険なので出

来ればそちらを書いてほしかったです。

用されている合金です。 合金の例で上げているアルミ鋳物合金は実際のフライパンなどで使

土屋康太の答え

『問題点.....ガス代を払っていなかったこと』

教師のコメント

そこは問題じゃありません。

吉井明久の答え

『合金の例.....未来合金 ( すごく強い)』

教師のコメント

すごく強いといわれても。

第一問 人は見かけによらないのかも.....

鮎川、 転校初日から遅刻してくるとはいい度胸だ。 歯ぁ食いしば

17

今の状況を説明するね。 しまったんだ。 文月学園に転入した僕は初日から寝坊して

後一歩で学校、というところで立っていた筋肉隆々の大男に絡まれ 自分でも信じられないくらいにハイペースで走ってきたんだけど、

あの.... 僕はお金なんか持ってないですよ。 他の人にしたほうが

てしまっているんだ。

.....\_

誰が喝上げなどするか!!」

この人何者なんだ? すごい勢いで怒鳴られた上に拳骨を落とされてしまった.....

するからここで俺と一緒に待っておけ」 もうじき一時間目が終わる。 授業が終わったらすぐにお前を紹介

授業が終わるまで時間があるし、文月学園のことを説明するね。 振り分け試験を受けられなかった僕は、自動的にFクラスになっ 呼び出せる、 という、世界初のシステムを導入している試験校なんだ。 文月学園は、 この学校では、 科学とオカルトと偶然で出来た「試験召喚システム」 二年生から試験召喚戦争という試験召喚システムで た。

け試験を受け、その結果を受けて、 の設備をかけているらしい。 | 年の終わりに次年度のクラス振り分 「試験召喚獣」を用いたクラス間戦争が出来る。 この戦争はクラス

そして、 ことか。 生徒が集められているのがAクラス。 ラスのほうが設備が良いらしい。 悪い生徒が集められているのがFクラスなんだ。 Fまでの六つのクラスに振り分けられるんだ。 クラスごとに教室の設備も分かれている。 大変そうだな。 Fクラスは成績も設備も最低って В Eと続いて、 基本的に上位ク 最も成績がい 最も成績が L1

だったなんて... 教室の中から出てきた先生とすれ違うように、 .補習担当の西村先生がFクラスに入っていく。 ろいろと考えているうちに一時間目のチャ 筋肉隆々の大男もと 1 まさかあの ムが鳴った。

### 明久Side

ておい まった したんだろうか。 てもう三日たつじゃ < 須川の奴! ない かわいい か。 女子の転校生が来る、 Fクラスじゃなくて他のクラス 何て言っ

ければ どうでもい とにかく今は糠喜びさせてくれた須川を粛清しな

「お前ら席に着けー」

入って来るんだ? なにっ! 鉄人だと! なぜ授業が終わったばかりなのに鉄人が

まさか誰かが悪さをしたんだな! 誰だ!

「今日、転入生を紹介する」

に。でも、 は怪我でも病気でもないらしいから普通に一日目に居ると思ったの 転入生だって。 新学期が始まってもう三日たつのに。 かわいい女子らしいからな。 須川の情報で

男ばかりのこの空間に四人目の女子が来るなら大歓迎だ。

「先生! 転入生は女子ですか?」

「男子だ」

す~が~わ~.....女子じゃないじゃないか! 嘘つき!

須川のほうを見るともう仲間たちにボコボコにされていた。

「お前ら静かにせんか!」

るよ。 鉄人の一声で静まり返る教室。 この人の声は良くわからない力があ

「おい、鮎川、入って来い」

鉄人が呼ぶと、転入生が入ってきた。

男子の制服を着た女子だった.....

Side Out

先生に呼ばれて教室の中に入った。

る ボロい.....。 想像以上だ。 所々窓は割れているし、 壁には隙間があ

机は壊れかけの卓袱台だし、 いてある。 椅子の代わりに綿の抜けた座布団が置

趣味は読書と、 それに何より、 あっ、こんなこと考えている場合じゃなった。 それに、クラスメイトの9割は男子だね。 「えっと、始めまして。 教室全体がかび臭い。 鮎川 蓮です。気軽に蓮って呼んで下さい。 畳腐ってるんじゃ 別に良いけど。 自己紹介しないと。 な

体を動かすことです。 こんな感じでよかったのかな。 これからよろしくお願いします」

自己紹介を終えて、席に着いた。 まさか自由席だとは思わなかっ

だから良いか。 これから一年このボロい教室で勉強するんだ。 それなりに平和そう

そんなことを思って いた平和が覆されることになるなんて.....。 いた僕だけれど、 まさかその数分後に僕の思っ

# 第二問 自己紹介は大事だよね!

## バカテスト国語

以下の意味を持つことわざを答えなさい。

「(1)得意なことでも失敗してしまうこと」

「(2)悪いことがあった上に更に悪いことが起きる喩え」

## 姫路瑞希の答え

『(1)弘法も筆の誤り』

『(2)泣きっ面に蜂』

## 教師のコメント

正解です。他にも、(1)なら『河童の川流れ』や『猿も木から

#### 落ちる』

(2)なら『踏んだり蹴ったり』や『弱り目に祟り目』などがあり

ますね。

## 土屋康太の答え

『 (1) 弘法の川流れ』

## 教師のコメント

シュールな光景ですね。

### 鮎川蓮の答え

『(1)猿を木から落とす』

## 吉井明久の答え

(2)泣きっ面蹴ったり』

第二問 自己紹介は大事だよね!

蓮Side

トが集まってきた。 席について西村先生が出て行くとすぐに、 僕の周りにクラスメイ

転入生なんだから当たり前か。 さあ何を言われてもきちんと答えな

「何で男子の制服を着ているんですか?」

「男だからです」

なにを当たり前のことを聞いて来るんだ。 僕は男なんだから女子の

制服なんて着られるわけないじゃないか。

「おい、お前ら、まずは名乗りやがれ」

た。 声のしたほうを見ると180cmはあろうかという大男が立ってい

髪の毛はライオンみたいだ....

に呼んでくれ」 「俺は坂本雄二。 このFクラスの代表をしている。 俺のことは好き

成績が良かった人がなるはずだから、 クラス代表か。 各クラスの代表はそのクラスで最も振り分け試験の 坂本君はFクラスで一番成績

が良いってことになる。

「僕は鮎川蓮です。 これから宜しく。 坂本君。 あと、 僕は男だから

ね

「分かってる」

たいだ。 おおっ 坂本君はちゃ んと僕のことを男って思ってくれてい

「そこにお前みたいな奴の先輩が居るからな」

先輩?誰のことだろう。

男子の制服に身を包んだ生徒がいた。 ワシは木下秀吉じゃ。 よく間違われるのじゃがワシは男じゃ そう思って坂本君が指さした方向を見ると、 かわ 61 い顔をして、

りい なるほど。 木下君も僕と同じで常日頃から女の子に間違えられるら

もないよ」 「え~? 秀吉は『秀吉』 ていう性別じゃないか。 男子でも女子で

誰 だ ! そんなとんでもないことを言った奴は

秀吉! 「あつ、 僕の声真似して変な台詞つながないでよ! 僕は吉井明久。こ『この学園を代表するバカ』 誤解されるじ だよ。 って

やないか!」

らしい。 木下君って声真似できたんだね。 「何が誤解じゃ。 これでお主の立場が間違いなく伝わったじゃ あと、 僕らの敵は吉井君って言う

よし、ここは一言注意してあげよう。

こと言わないでよ」 「吉井君。 僕も木下君もちゃんとした男なんだよ。 そんな頭の悪い

あれ? 言葉のチョイス間違ったかな? 吉井君がものすごい 勢い

で落ち込んでる。

「え、え~っと.....」

**「気にするな鮎川。明久のバカは昔からだ」** 

そうなんだ。じゃあ気にしない。 別に女の子って思われたから、 見

捨てるわけじゃないよ。

手です。 次はウチね。 趣味は ウチは島田美波。 海外育ちで日本語の読み書きが苦

女子だ。 かわい 61 Ų 趣味も女の子っぽい んだろうな..

「 吉井明久を殴ることです 」

前言撤回。 の上ない趣味は! この女の子ものすごい危険人物だ。 なんだよその物騒こ

吉井君のほうを見ると、 彼は青ざめて震えている。 どうやら本当ら

吉井君がかわいそうに思えてきたよ。

「えっと、私は姫路瑞希です。趣味は.....」

今度は桃色の髪をした女の子だ。 いいけど油断は禁物だ。 桃色か、 珍しいね。 この子もかわ

識では測れない趣味を持っているぞ..... こんな瘴気漂う空間に居るんだ。 きっと島田さんのようになにか常

「料理です。よろしくお願いします」

が身震いしていたけれど何かあったんだろうか? そういえば、姫路さんが自己紹介しているときに後ろで吉井君たち ゴメン.....。こんないい子を疑ってしまった自分が恥ずかしい

「..... 土屋康太」

だろうな。 物静かな男子が名乗った。 身長も低めだしきっと、 気の弱い 人なん

「コイツのあだ名は寡黙なる性識者だ」

坂本君の言葉をすごい勢いで否定しているんだけど.. ......。 (ブンブン)」

それにしてもムッツリーニってどういう意味だろう?

「そのあだ名はムッツリスケベという意味じゃ」

んじゃないだろうか。 木下君が説明してくれた。 声真似だけじゃなくて読心術まで使える

る ムッ ツリーニのほうを見るけど、 やっぱりすごい勢いで否定してい

なるほど確かにムッツリといわれればムッツリの気も

意味だっ 八ツ! たのか! そうか、 ポケッ トから顔を覗かせてい るカメラはそうい う

.....それ、犯罪だよね.....。

た。 自己紹介も終わり、 休み時間もなくなったので皆自分の席に着い

な? なぜか坂本君が教壇に立っているんだけど代表として何か話すのか

次はBクラスを相手に宣戦布告をする」 「一昨日Dクラスに勝利した。明日で回復期間もあける。そこで、

宣戦布告って試召戦争のことだよね? じゃあこのクラスはDクラ スに勝ったってこと?

そしてこの日の昼休み。 ならどうして、こんなボロ教室のままなんだろう。 僕はこのクラスの恐るべき野望を知るのだ

## 第三問 軽率な発言は命を危険に曝す・

バカテスト英語 以下の英文を訳しなさい。 У T h i s g r andmother i s t h e h b 0 a d k s h u s e d e 1 f r t h e gularl а t m y

「これは私の祖母が愛用していた本棚です。姫路瑞希と鮎川蓮の答え

正解です。きちんと勉強していますね。教師のコメント

「これは土屋康太の答え

訳せたのはThisだけですか。教師のコメント

吉井明久の答え

\* ×

教師のコメント

出来れば地球上の言語で。

#### 蓮Side

み。 僕は屋上でFクラスの面々と昼食を食べることになった。

「鮎川は、 昼飯はどうするんだ?」

坂本君が聞いてきた。僕はいつも自分で弁当を作ってきてるんだけ

「僕は弁当を作ってきたけど、坂本君はどうなの?」

「いや、購買でなんか買ってくるわ」

「じゃあ、僕も贅沢にソルトウォーターを.....

吉井君? ソルトウォーターって要するに塩水だよね?

それは食べるって言わないんじゃ.....。

「明久よ、何度も言うがそれは食べるとは言わんぞ」

木下君も同じこと思ってたか。何度も、ってことは吉井君はいつも

こんな感じなんだね....。

パンとかおにぎりとか買ってくれば良いのに。

「そう思うなら、なんか奢ってよ」

ちょっと待って、僕の予想しなかった台詞が飛び出したんだけど。

「吉井君は学校にお金持ってこないの?」

「鮎川、気にするな。明久は自業自得だ」

どゆこと?

「趣味に食費まで使い込む明久が悪い」

なるほど。

私 今日はみんなの分のお弁当を作ってきたんですけど

....<u>\_</u>

吉井君の救世主になったのは姫路さんだ。

趣味が料理って言ってたもんね。 も居るんだね。 でも、全員分か。 やさしい女の子

Fクラスに居るのがもったいないくらいだよ。

思ってるんだけど.....」 いや、僕は今から雄二と一緒に購買でパンを買ってこようと

よ。そのほうが吉井君も食費の節約になるんじゃないの?」 「吉井君、せっかく姫路さんが作ってくれたんだから皆で食べよう

「鮎川! お主なんということを.....」

「......自殺行為」

僕間違ったこと言ったかな? ものすごい勢いで咎められたんだけ

場所は変わって屋上。

何故だろう? 僕以外の男子はまるで処刑される前の囚人みたいだ。

「鮎川君、恨むからね」

路さんの弁当が食べられるんだから恨むんじゃなくて喜ぶところで 何 で ! 僕は吉井君に恨まれるようなことしてないよ! むしろ姫

坂本君まで.....。 明 久、 諦める。 鮎川は姫路の料理を食ったことがないんだ. 姫路さんの料理がなんだって言うんだよ。

「はい、皆さん召し上がれ」

「それじゃあ、遠慮なくいただきま~す」

僕は卵焼きを口に入れた。 気になるけど... 木下君とムッツリー 二が合唱してるのが

Side Out

明久Side

今目の前で鮎川君が姫路さんの弁当を口にしてしまった。

うわっ やっぱり倒れちゃったよ。 とにかく無事を確認しないと。

「鮎川君、大丈夫?」

「吉井君? 大丈夫だよ」

良かった......今日の弁当は威力が弱めのようだ.....

「川の向こうで母さんが手招きしてるんだ.....」

「鮎川君! ダメだ! その川を渡ってはいけない!」

急いで蘇生しないと! 鮎川君は姫路さんの料理は初めてのはずだ

から助かるかは三分と七分ってところか.....。

「母さん、そんな格好で川に入ったら風引くよ.....ハッ

良かった.....何とか戻ってきてくれた。これでまた一つ尊い命が救

われたのです。

Side Out

蓮Side

危うく渡ってはいけない川を渡るところだったよ.....

「ゴメン、皆.....」

姫路さんの料理があんな危険物だとは思わなかったよ。

「いいんだ……。残りは明久が食うから」

<u>雄</u> 何てこと言ってくれるんだ! 僕は 内臓が退化してるん

だからあんなの食べたら死んじゃうよ!」

吉井君、今なら君の気持ちが良く分かるよ。

結局お弁当は吉井君がおいしくいただきました。

どういう意味?」 そうい Dクラスに勝利した、 とかBクラスに宣戦布告って

ずがないからね。 僕はさっき感じた疑問を坂本君に聞いている。 ラスに買っているんだったら、 今Fクラスの設備があんなボロいは もし試召戦争でDク

をして勝利した。 「そのまんまの意味だ。 俺たちは新学期初日にDクラスと試召戦争

ふん。 俺たちの最終目標はAクラスだからDクラスの設備は交換しないで いるだけだ」 Dクラスじゃ満足しないってことだね.....って、 Aクラス

が目標?

違う、って西村先生が言ってた。そんなところと勝負して勝てるも 成績最悪のFクラスと、成績最高のAクラスの点数は文字通り桁が のなのかな? 「そ、それって無謀な挑戦って言うんじゃないかな?」

そういって笑う坂本君の顔は獲物を虎視眈々と狙っているようで、 最強だ」 「お前が言いたいことはわかってる。安心しろ。 このクラスは

それでいて、見ているものに安心感を与えるような、 っぷりの顔だった。 そんな自信た

## 第四問 作戦は大事。 でも友達も大事

## バカテスト数学

(1) 4 s i n X + 3 c os3X=2の方程式を満たし、 かつ第

一象限に存在するXの値を一つ答えなさい。

(2) sin (A+B)と等しい式を示すのは次のどれか、

の中から選びなさい。

?sinA+cosB

sinA - cosB

si si n A c o s B

? sinAcosB+cosA

姫路瑞希と鮎川蓮の答え

2 ? X " / 6

6

教師のコメント

そうですね。 角度を「 ではなく「 で書いてありますし、

完璧です。

土屋康太の答え

゚(1) X=およそ3』

教師のコメント

およそをつけて誤魔化したい気持ちも分かりますが、 これでは解

答に近くても点数は

あげられません。

吉井明久の答え

(2) およそ?』

教師のコメン

およそをつける生徒は君が初めてです。 先生は今までたくさんの生徒を見てきましたが、 選択問題で

第四問 作戦は大事。 でも友達も大事.....。

d e

昼休みに、

験のときに高熱を出してしまって途中退席。 本来ならばAクラス入り確実の学力を持つ才女らしい。 スに宣戦布告をするらしい。そして、「必殺料理人」の姫路さんは 坂本君から聞いた話によると、 振り分け試

てことらしい。 で、「大好きな」姫路さんのために吉井君が試召戦争を提案した、 なんていう最低の環境で勉強しなければいけなくなったってわけか。 途中退席は全科目0点になってしまうらしい。 そのせいでFクラス

やっぱり、 吉井君は優しいよね。 さっきの弁当の件は置いておくと

けてくれ」 鮎川、 お前は明日対Bクラス戦が始まったらすぐに回復試験を受

るらしい。 回復試験つ てのは試召戦争が始まったら基本的にい つでも受けられ

出来るんだって。 召喚獣の戦闘で消費した点数を、 テストを受けて回復させることが

明日FクラスはBクラ

「あれ? 鮎川君は戦闘に参加しないの?」

からっ!」 いせ、 僕は「バカもいい加減にしろよ明久」 そこまで思ってない

じで全科目の点なんだ。 僕は振り分け試験を受けられなかったから、 新学期の姫路さんと同

「そこまでってことは、 僕のことバカだって思ってはいるんだね...

:

でいじけている! しまった、 吉井君へのフォローを忘れてた。 吉井君が教室の隅っこ

「バカはほっといて話を進めるぞ」

吉井君と坂本君は本当に友達なんだろうか?

「気にするな、 明久と雄二はちょっと変わっておるのじゃ」

「分かった」

「分からないでぇ~そこは気にして!」

吉井君がなんかいってるけど知らない! だって気にするなって言

われたもん

吉井君はようやく喋れたようだ。 クラスを攻めるんじゃないの?」 そういえばなんでBクラスなのさ? 勢いは付い たんだから、 Α

がある。 BクラスにもDクラス同様、 俺たちがAクラスに勝つための要素

Aクラスには勝てない」

この際だからはっきりと言う。

俺たちじゃ、

どんな作戦を使っ

ても

「えつ? それじゃあ、 目標はBクラスに変更ってこと?」

吉井君が坂本君に疑問をぶつける。

Aクラスが目標って言っておきながらAクラスには勝てないっ て言

僕には坂本君が勝てない勝負をするような人には見えないんだけれ

「いや、目標はあくまでAクラスだ」

システムを使ってAクラスとは一騎討ちに持ち込むつもりだ」 まあ聞け。クラス単位では勝てないから、Bクラスと試召戦争の 「雄二(坂本君) さっきと言ってることが矛盾してるよ」

「 明 久、 吉井君は納得していない様子。僕も、 一騎討ち? 試召戦争で下位クラスが負けた場合どうなるか知ってるよ どうやって?」 よく分かってないけど。

吉井君はこの学園に二年いるんだからもちろん知ってるよね。

料理の腕はともかく優しいな~ 知らないんだね....。 「ええっと.....」 姫路さんが小声で教えてあげている。

「設備を1ランク落とされるんだよ」

確か、 まあ良い。じゃあ明久上位クラスが負けた場合は?」 負けた相手と設備を入れ替えなきゃ いけない んだよね。

悔しい」

僕の予想をはるかに上回る回答が返ってきた。

「ムッツリーニ、ペンチ」

ややっ、僕を爪切り要らずの体にする動きがっ」

生爪か! 生爪なのか坂本君!

それは拷問だぞ!

相手のクラスと設備を入れ替えられちゃうんですよ」

せる。 クラス相当の設備で済む。 そうだ、 Fクラスに負けると最低の設備だが、Aクラスに負けてもC このシステムを利用してBクラスをAクラスに攻め込ま 交渉はまず上手くいくだろう」

て一騎討ちに持ち込むんだね」 「Aクラスには、 Bクラスとの試召戦争の後に攻め込むぞって言っ

「そうだ。鮎川が理解できてるんだから、 明久以外は分かっただろ

さりげなく吉井君への罵倒を混ぜる坂本君。

この二人の間柄が本当に気になる。

告に行って来い」 「というわけで明久、 今日のテストが終わったらBクラスに宣戦布

あれ? 下位勢力の宣戦布告の使者って大体ひどい目にあうよね

:

「断る! 雄二が行けばいいじゃないか!」

゙ やれやれ、それじゃあジャンケン決めよう」

「よし、望むところだ!」

える。 どうしてだろう、 吉井君が坂本君に乗せられているような感覚を覚

かの駆け引きのことだね。 心理戦っていうと、 「ただのジャンケンじゃ面白くない。 自分はパーを出す、 心理戦ありで行こう\_ とかいって本当にそうする

゙ じゃあ僕はグーを出す」

えつ.....。 それじゃあ俺は 令 ジャ ..... 明久がグーを出さなかったら打ち殺す ンケンの心理戦で聞いたことない単語が出てき

「いくぞ、ジャンケン.....」

問答無用か.....

「ポン!」

坂本Vs吉井

パーvsグー

吉井君、後出しだったのに負けたよ.....

よし、逝ってこい明久」

絶対に嫌だ!」

Dクラスのときみたいに殴られるのを心配しているのか?」

「それもある!」

やっぱり、宣戦布告の使者は殴られるんだ.....

「それなら今度こそ大丈夫だ。保障する」

すごい自信だ。Bクラスに知り合いでもいるのだろうか。

「Bクラスには美少年好きは多いらしい」

「そっか、それなら大丈夫だね」

待って! 色々とおかしい点があると思うんだ。

تع ! 吉井君もそれで納得しないで! 確かに美少年といえなくもないけ

でも、お前不細工だしな.....」

失礼な! 365度どこから見ても美少年じゃないか!」

「5度多いぞ」

実質5度だな」

一微妙な少年だね.....」

「皆大嫌いだ!!!」

吉井君は泣きながら去っていった.....

坂本君、ここはちゃんとフォローを.....が口ボロになった吉井君が帰ってきた。「.....言い訳を聞こうか」

「あんまりだよ坂本君! 吉井君がっ」「ぐふぁっ!」「さキ君おちょ「落ち着け」」「ちょっ! 坂本君、そんな事言ったらちょっ! 坂本君、そんな事言ったら「予想通りだ」

坂本君、 坂本君が行っちゃったよ。 てるんじゃないぞ」 「先に言ってるぞ。 君は鬼だ..... 明日も午前中はテストなんだから、 あんまり寝

鳩尾に拳がめり込んでる.....

# 第五問 やる気? 殺る気!

バカテスト物理

問 『光は波であって ( 以下の文の() に正しい言葉を入れなさい。 ) である』

粒子。

よくできました。教師のコメント

『寄せては返すの』土屋康太の答え

君の解答はいつも先生の度肝を抜きます。教師のコメント

『勇者の武器』

先生もRPGは好きです。教師のコメント

『竜王の殺息』 ドラゴンブレス

教師のコメント

ます。 先生もとあるシリーズは好きですがあれは光とはまた違うと思い

まさか真面目に返されるとは思わなかった。鮎川蓮のコメント

第五問 やる気? 殺る気!

スメイト相手に演説をしている。 Bクラスとの試召戦争当日を迎えた。 「さて皆、 総合科目テストご苦労だっ 坂本君は教壇に立って、 た クラ

字が違う気がする.. か?」 「午後はBクラスとの試召戦争に突入する予定だが、 殺る気は十分

『おおーっ!』

このクラスのやる気は十分みたい。

テスト漬けだったはずなのにすごいやる気だ。

始直後の渡り廊下線は絶対に負けるわけには行かない」 今回の戦闘は敵を教室に押し込むことが重要になる。 その為、 開

『おおーっ!』

っちり死んで来い!」 そこで、 前線部隊は姫路瑞希に指揮を取ってもらう。 野郎共 き

いや、死んじゃだめだから。

「が、頑張ります」

姫路さん、若干引き気味だ。僕もだけど。

『うおおーっ!』

にまで引き上げている。 すごい。さすが姫路さんだ。 たった一言で、 前線部隊の士気を最大

戦闘に勝ちに行くらしい。 Fクラスの作戦を説明すると、 まず試召戦争開戦直後の廊下での

戦力もFクラス五十人中四十人をつぎ込む。 前線部隊の士気はFク

ラスーの才女姫路さんが取る。

僕も、 廊下では勝てるだろうけど、 まだ回復試験が終わってないから参加できないし。 代表の坂本君の守りが薄くなる。

キーンコーンカーンコーン

昼休み終了のチャイムが鳴り響いた。

SideOut

明久Side

昼休み終了のチャイムが鳴り響き、 僕たちは一斉に教室を飛び出

す。

だ! 僕たちは数学を主力に、 戦線を拡大して一気に渡り廊下を取る作戦

「いたぞ、Bクラスだ」

「高橋先生を連れているぞ!」

てくる。 正面からゆっ くりとした足取りでBクラスメンバー 十人程度が歩い

生かして帰すなー!」

誰かの叫びが皮切りになり、 Bクラス戦が始まった。

 $\Box$ Bクラス 総合 野中長男 1 943点٧s V S 764点 F クラス 近藤吉宗 6

 $\Box$ Bクラス 数学 金田一裕子 159点 V V S S 69点 F クラス 武藤啓太

Bクラス 物理 里井真由子 152点 V V S S 77点 F クラス 君島博

**6** 

 $\Box$ 

だめだ! 圧倒的過ぎる!

第一陣は話にならない。早くフォローしないと!

だろう。 姫路さんがやってきた。 お、遅れ、 まし、 た . 男子の全力疾走には付いてこれなかったん ごめ、 んな、 さい…」

うだ。 Bクラスの誰かが声を上げる。 「来たぞ! 姫路瑞希だ!」 やっぱり姫路さんを警戒していたよ

そのまま、 ţ 姫路さん、 はい。 戦場へ紛れ込む姫路さん。 行って、 来たばっかりで悪いんだけど... きます」

Bクラス二人掛りだ。 早速勝負を挑まれる姫路さん。

F クラス 数学 姫路瑞希 412点 V S ٧ S Bクラス 189点 & 岩下律子&菊入真由美 151点 6

姫路さんの召喚獣が左手を相手に向けた、 召喚獣が消し炭になった。 姫路さんの召喚獣は、 左手首にきれいな腕輪をしていた。 あれを、 僕が喰らったらと思うと.. と思ったら相手の 人の

「岩下と菊入が戦死したぞ!」

Bクラス二人を戦死させると、 Bクラスに驚愕の表情が浮かぶ。

「姫路さん、とりあえず下がって」

「あ、はい」

相手の士気は挫いたし、 腕輪を使って消耗した姫路さんにはいった

ん下がってもらう。

どおり、 クラスの皆もやる気になっているし、 これなら、 今日の戦闘は目標

Bクラスを教室に釘付けにすることで終了するだろう。

「明久、ワシらはいったん教室に戻るぞ」

「ん? なんで?」

戦況を眺めていた僕のところに秀吉がやっ てきた。

Bクラスの代表じゃが、 あの根本らしいのじゃ」

. 根本ってあの根本恭二?」

うむ」

根本恭二とは、とにかく評判が悪い。

噂ではカンニングの常連だとか。 目的のためには手段を選ばないら

しく、曰く

装備』 『球技大会で相手チー とか。 ムに一服持った』 とか、 『喧嘩に刃物は当然

さすがにそこまで卑怯とは思わないけど、 用心に越したことはない。

「雄二に何かあるとは思えんが、念のためにの」「なるほど。戻っておいたほうがよさそうだね」

返した。 姫路さんに一言報告して、 僕と秀吉は何人かを連れて教室へと引き

SideOut

蓮Side

井君と、 てちょっと待った! にはボロボロになった卓袱台、荒らされた教室、怪我をしている吉 僕が、 少しはなれたところで血をぬぐっている島田さんが.....っ 一折の試験を受け終えて、Fクラスに戻ってみると、

なくても.....」 「島田さん、 いくら吉井君が気に入らないからって、ここまで暴れ

島田さんが吉井君を折檻している巻き添えでこうなったんじゃない 「違うわよ! 教室はウチが帰ってきたときからこんな感じよ!」

「鮎川、試験は終わったのか?」

坂本君が聞いてきた。

最初は、 「うん。 Bクラスが総合科目も使ってきたから、 たんだ。 試召戦争で使う教科だけを受けるつもりだったんだけど、 さすがに一日で全教科受けるのは疲れたよ」 急遽全科目受けることにな

今 島田さんじゃないとしたら、 番の疑問だ。 この教室は誰がやったの?」

だ に教室を空けている間にBクラスの奴らが教室を荒らしやがったん 俺がBクラスの連中に協定を持ちかけられてな。 協定調印のため

「どんな協定だったの?」

状況から再開する。 「午後4時を過ぎたら、その日の戦闘を終了し、 翌日の9時に同じ

その間は試召戦争に係わる一切の行為を禁止するって奴だ

「姫路さんのため?」

姫路さんが万全の状況で試召戦争に臨めるから、 その協定はFクラ

スに有利になる。

「そうだ。やっぱり明久とは頭の出来が違うな」

「なんだと! バカ雄二!」

「吉井君は置いといて.....」

「鮎川君! 君まで僕をそんな風に扱うの?」

話が進まない.....

「ハプニング(と言っていいのか?)はあったけど、 今のところは

順調に進んでるってことだね?」

姫路さんが万全の状態で戦える以上、 Fクラスは有利だ。 さっき吉

井君から聞いたけれど、

Bクラスを教室に押し込む作戦も成功しているらしい

「......cクラスの様子が怪しい」

ムッツリーニか。

確か、Fクラスの情報参謀だったよね。

「漁夫の利を狙うつもりか、 いやらしい連中だな」

FクラスがBクラスに勝っても、消耗は激しい。

もともとの点数が少ないFクラスが消耗していれば、 他のクラスか

とでも言えばおとなしくなるだろう。 「Cクラスと協定でも結ぶか。Dクラスを使って攻め込ませるぞ、

「それに、僕たちが勝つなんて思ってもないだろうしね」

「よし、 今から行ってくるか」

「そうじゃの」

にやろうと思っている作戦に支障がでる」 「いや、秀吉は残ってくれ。お前の顔を見られると、万が一のとき

作戦?
坂本君にはまだ作戦があるのか。

「よく分からんが、 じゃあ行こうか。 ちょっと人数が少なくて不安だけど」 雄二がそういうのならば従おう」

を結ぶためにCクラスに向かった。 坂本君、 吉井君、 姫路さん、 島田さん、 ムッツリーニ、 僕は協定

# 第六問 罠と逃走と初戦闘!

バカテスト化学

問 ベンゼンの化学式を書きなさい

姫路瑞希の答え

<sup>©</sup> С6Н6<sub>2</sub>

教師のコメント

簡単でしたね。

土屋康太の答え

『ベン+ゼン= ベンゼン』

教師の答え

君は化学をなめていませんか。

吉井明久の答え

B · E · Z · Z · E · Z

教師のコメント

後で土屋君と職員室へ来るように。

鮎川蓮の答え

Benzol

教師のコメント

それはドイツ語ですし、 化学式ではありません。

# 第六問 罠と逃走と初戦闘!

蓮Side

ラスを訪れていた。 僕たちFクラスの面々は、 てクラスと停戦協定を結ぶために<br />
てク

Fクラス代表の坂本雄二だ。 Cクラス代表はいるか?」

「私だけど。何の用?」

坂本君の呼ばれて出てきたのはいかにもきつそうな女子だった。

「Fクラス代表としてクラス間交渉に来た」

「クラス間交渉? ふぅん.....」

なんだろう。笑顔がいやらしいとかそんな問題じゃ なくて、 何か大

事なことを見落としている気がするんだけど.....

ああ。不可侵条約を結びたい」

「不可侵条約ねぇ.....どうする? 根本クン」

分かった! これはBクラスの罠だ! なるほど、 BとCクラスの

代表にはつながりがあったと言うことか。

CクラスをおとりにしてFクラスが協定を結びに来るように仕向け

**ද** 

が先に協定を破っているけれど、 Fクラスはこの時点で協定に違反している。 敵クラスにあんな妨害をしてきた 本当はBクラスのほう

根本君のことだ、先生にも嘘八百で自分たちに都合のいいように説 しているだろう。

査してから来るべきだったよ。 敵ながら天晴れと言わざるを得ないな。 うん。 いや~ 噂の出所を調

逃がすな! 坂本を討ち取れ!」

僕が思案にふけっていると根本君の怒号が聞こえた。

Fクラスの皆は.....ってもういない!

「ちょっ、皆何で置 いていくのさ!」

幸い僕にBクラスの人の注意は向いていない。

Cクラスの後ろの扉から脱出する.....。

d e 0 u t

明久Si d e

「逃がすな 坂本を討ち取れ!」

今の状況はかなりマズイ。僕たちではBクラス相手に勝負にならな

「はぁ、 ふう

姫路、 大丈夫か?」

姫路さんが遅れ始めた。 けれど急がなければBクラスに追いつかれてしまう。 この全力疾走は姫路さんにはつらいだろう。

雄 二 ! ここは僕が残って食い止めるから、 姫路さんを連れて早

まさか僕がこんなことを言う日が来るなんて。

(ぴたっ)

...... 分かった。

ここはお前に任せる」

ムッツリーニも残るつもりのようだ。 だけど、 ムッツリー 二にも大

ここで失うわけには行かない。事な役割があるはずだ。

二が握るから」 「ムッツリーニも一緒に逃げて。 明日の戦争の鍵は多分ムッツリー

僕の隣には一緒になって立ち止まった島田さんがいた。 「んじゃ、ウチは残ってもいいのかしら。 隊長どの?」

「はーいはい。お任せあれっと」「......頼めるかな?」

「.....(グッ)」

これで、雄二、姫路さん、 ムッツリーニは僕たちに親指を立てて走り去った。 ムッツリーニを逃がすことが出来た。

あれ?誰か忘れてる気がする。

「島田さん。鮎川君は何処にいるのかな?」

「あっ..... Cクラスに忘れてきたわ.....」

ゴメン! 鮎川君! 君の事は多分……忘れない!

「.....さて。どうするの? 隊長どの?」

「え? アンタに?」

うん。

僕に考えがあるんだ」

島田さんの表情が物語っている。 僕は信用されていない

僕だって補習室なんかには行きたくない。 ま、 アンタがそこまで言うなら信用しましょうか」 任せとい

『いたぞっ! Fクラスの吉井と島田だ!』

『ぶち殺せ!』

正面から追っ手がやってくる。長谷川先生も一緒だ。

「Bクラス! そこで止まるんだ!」

僕の手腕を見せてやる!!

S i d

e O u t

蓮Side

。こいつ馬鹿だぁーっ!』

Bクラスの人に気づかれないようにCクラスから脱出して、 辺り

を彷徨っていると、

叫び声が聞こえた。

「もしかしたら、Fクラスの皆が戦っているのかもしれない」

行ってみよう。ここからはそれなりに遠いな。

「ウチのことを愛してるって、言ってみて?」

吉井君に告白紛いの事をしていた。 叫び声がしたところに着いた。 すると、消火器を持った島田さんが 二人に何があったんだろう。

「ウチのことを愛してる!」

吉井君.....さっきのはそういう意味じゃないと思うけど」

吉井君、どういう思考回路してるんだろう?

『何だこいつ!』

『こいつもFクラスだぞ!』

あっ、 吉井君に突っ込みを入れていたら見つかってしまった。

SideOut

明久Side

思っていた鮎川君が現れた。 Bクラス三人に囲まれて窮地に陥っていた僕たちの前に戦死したと 「鮎川君! 無事だったんだね!」

何でだろう。鮎川君の背後に鬼が見える.....。「吉井君、僕のこと忘れてたよね?」

『こいつもFクラスだぞ!』『何だこいつ!』

三対三になったとはいえ、 鮎川君もBクラスの標的になってしまった。 相手はBクラス。 まだこちらの分が悪い。

鮎川君が、戸惑いながらも召喚獣を召喚する。「えっと、試験召喚」

『数学 鮎川蓮 Vs合計381点

ᆸ

勝負はあっという間についた。

SideOut

自分の体と違う。 初めて試験召喚獣を呼び出した。 思っていたよりも動かす感覚が

でも、誤差の範囲内かな。

服装はその辺にいるチョイ悪親父みたいな感じなんだけど、 ってる武器が穏やかじゃない。 僕の召喚獣は、 上はジャケット、 下はジーンズ。 共に色は黒だ。 手に持

右手には、幅も長さも長い両刃の剣。 重そうだ。

なってる。 そして、左手はなぜか人の形をしていない。 指全体が刃物みたいに

っと気持ち悪い。 かも右手の指の何倍も長い。 関節はちゃ んとあるからパッと見ち

『何だこの点数は!』

『こんな奴がFクラスにいたのか?』

思う。 れば学年でトップクラスだと聞いたから、 Bクラスの人の驚いた声が聞こえる。 たしか単教科で200点取れ 500点は珍し のだと

「数学は得意だからね」

一応Bクラスの人に声をかけておく。

の一撃で敵の召喚獣は消滅した。 召喚獣を左に移動させて、すれ違いざまに右手の剣で攻撃する。 僕が言い終わらないうちに一番点数の高い人が突進してきた。 後二人。 そ

<sup>『</sup>うおぉぉぉ!』

吅 びながら、 人が攻撃してきた。 振り下ろされる剣をこちらも剣

で受け止める。

点数に差があるからなのか、 片手でも簡単に受け止められた。

はあっ」

きたところに剣の切っ先を突き出す。 右手を大きく振って、 止められずに剣に突き刺さって消滅した。 敵の召喚獣を弾き飛ばす。 相手の召喚獣は自身の勢いを 相手が踏み込んで

後一人。

9 隙あり

前に突き出している右手の剣は間に合わない。 つの間にか僕の召喚獣の後ろに回っていた敵が剣を振り下ろす。

キンッ

何つ

なんか硬そうに見えた左手でガードすると、 甲高い金属音と共に相

手の剣が止まった。

相手は驚いているけど、僕も驚いている。 まさか剣を止められるほ

ど硬いとは.....。

驚いて隙が出来た相手に右手の剣を振り下ろす。

思ったよりもあっけなく、 相手の召喚獣は全滅した。

戦死者は補習う

れていった。 Bクラス三人は何処からともなく現れた西村先生によって連行さ

迫ってきた。 召喚獣での戦闘を終えて、 「凄いよ鮎川君! どうやったらそんな点数を?」 一息ついていると吉井君がすごい勢い で

吉井君近いよっ

「数学は得意だからね」

吉井君を落ち着かせた後、 と話した。 Fクラスに戻りながら吉井君、 島田さん

- ウチも数学は得意だけど、 500点なんて絶対取れないわ」
- 「そうだよ、僕なんて100点すら取れないよ」
- 吉井君、そこは威張って言うところじゃないよ」

「吉井君! 無事だったんですね!」

Fクラス前では、姫路さんが待っていた。

「うん。鮎川君のおかげで生き延びれたよ」「うん。鮎川君のおかげで生き延びれたよ」

「吉井君、あんまり僕の点数は言わないでくれないかな」

吉井君に小声で話す。

「どうして?」

「あんまり期待されたくないのと、 僕の点数が広まらないうちは奇

襲が出来るからね」

Bクラス戦で出番はなくても、 Aクラス戦では必ず奇襲が必要だろ

う。

奇襲できる高得点者の情報は出来るだけ隠していたほうが都合がい

「鮎川君がどうかしたんですか?」

· いや、なんでもないだぁっ!」

姫路さんと吉井君が話していると、 なぜか島田さんが吉井君の足を

踏みつけた。

「島田さん、一体何を.....」

「(キッ!)」

あ。い、いや。美波」

あれ、 この二人はいつの間に名前で呼び合うようになったんだろう。

大体想像はつくけど。

る 何故だろう? 二人ともずいぶんと仲良くなったみたいですね?」 温厚なはずの姫路さんの後ろに鬼、 いや般若が見え

「さて、 お前ら」

坂本君が声をかける。

う形になるだろうが、 こうなった以上、 Cクラスも敵だ。 同盟戦がない以上は連戦と言

Bクラス戦の後にCクラスと戦うのはきつい」

負けるだろう。 るか分からないのにその後Cクラスに攻められたらまず間違いなく Bクラスは上位クラス。FクラスにとってはBクラスだけでも勝て

だよ?」 「それならどうしようか? このままじゃ勝ってもCクラスの餌食

「そうだね」

「そうじゃな....」

教室の空気が重くなる。

心配するな

坂本君が声を上げる。 その顔は野性味たっぷりの笑顔を纏っている。

向こうがそう来るなら、 こちらにも考えがある」

考え?」

そうだ。 明日の朝に決行する。 目には目を、 だ

その日はそれで解散になり、 続きは翌日へと持ち越しになった。

# 第七問 感じていた違和感が解決したときは大抵手遅れになっている。

#### バカテスト英語

問 g O odおよびbadの比較級と最上級をそれぞれ書きなさい。

### 姫路瑞希と鮎川蓮の答え

■ good - better - best

bad - Worse - Worst

#### 教師のコメント

その通りです。

#### 吉井明久の答え

good · gooder · goodest』

#### 教師のコメント

まともな間違え方で先生驚いています。

goodやbadの比較級や最上級は語尾に・ e rや estをつ

けるだけではだめです。覚えておきましょう。

#### 土屋康太の答え

bad butter bust

#### 教師のコメント

『悪い』、『乳製品』、『おっぱい』

第七問 る 感じていた違和感が解決したときは大抵手遅れになってい

蓮Side

翌日。

要があるの! そういって坂本君は木下君に女子の制服を.....ってえぇっ 「待つんだ坂本君! 「今から、昨日行った作戦を決行する。秀吉」 それと木下君もそこは抵抗しようよ!」 木下君が挑発に行くのにどうして女装する必

『おおおおおおつ!』

クラスの叫びでかき消された..... 僕の突っ込みはその場で着替え始めた木下君に何故か興奮したF

うん。 「ばっちりだ。よし、 「どうじゃろうか」 分かってはいたけれど、木下君は女装が似合うね。 今からCクラスに向かうぞ」

は坂本君にさっきから感じていた疑問をぶつけた。 Cクラス前、一人でCクラスに向かっていく木下君を見ながら、 まぁ、 ねえ、 どうして木下君を女装させたの?」 見てれば分かる」 僕

八重歯を見せながら笑う坂本君。 なんだかとても悪役っぽい笑みだ。

小声で話していると、 木下君がCクラスに入っていく姿が見えた。

静かになさい! この薄汚い豚共!」

つ て聞こえる。 いきなり凄い台詞が飛び出した。 それに木下君の声がいつもと違

為か良く聞き取れない。 Cクラスの小山さんが何か言っているけど、 なによ アンタA..... ちょ らっと.....』 ヒステリックな声の所

自分からたずねておいて話しかけるな、 「話しかけな いで! 豚臭いわ!」 はないんじゃないかな。

らないの! 私はね、 こんなに臭くて醜い教室が同じ校舎にあるなんて我慢な 言うに事欠いて私たちにはFクラスがお似合いですって 増してブタ臭い貴女たちなんて豚小屋で十分だわ!」

どうやら、小山さんにとってはブタ小屋= Fクラスらしいね」 否定は出来ないがな」

うよ。一応畳もあるし」 いや、 いくらFクラスでも、ブタ小屋よりは文明的な教室だと思

ブタ小屋には畳は敷いてないよ。

さわしい教室へ送ってあげようと思うの。 ているし、 手が汚れてしまうから本当はいやだけど、 覚悟しておきなさい。 近いうちに私たちが薄汚いブタの 令 近いうちに貴女達をふ 試召戦争の準備もし

た。 とてつもなくヘビー な捨て台詞を残して木下君が教室から出てき

その顔はどこか誇らしげであり、 スッキリした様な顔でもある。

「どうじゃったろうか?」

木下君が聞いてくる。

「ああ、素晴らしい仕事だった」

「...... (コクコク)」

はこの上ないほどに効果的だったと思うよ。 坂本君の言葉に、ムッツリーニが頷いている。 スの人たちがかわいそうだ。 小山さん以外のCクラ 確かに、 挑発として

SideOut

明久Side

「扉と壁を上手く使うんじゃ!」

雄二の作戦は『Bクラスを教室内に閉じ込めろ』らしい。 秀吉の挑発の後、 僕たちは昨日の試召戦争の続きをしていた。

させようとしているんだけど、さっきから姫路さんの様子がおかし そんなわけで、Bクラス入り口付近を主な戦場にして、作戦を遂行

見える。 なんていうか、 自分は試召戦争に参加しないようにしているように

秀吉の檄が飛ぶ。 勝負は極力単教科で挑むのじゃ 補給も念入りに行え!」

「左側出入り口、押し戻されています!」

「古典の戦力が足りない! 援軍を頼む!」

左出入り口にいるのは古典の竹中先生だ。

Bクラスは文系が多いので、 文系教科で攻められれば分が悪い。

「姫路さん、お願い!」

「あ、そ、そのつ.....!」

姫路さんは、 このままじゃ突破される! 戦線にも加わらず、 泣きそうな顔でオロオロしている。

僕はBクラス左側の出入り口まで走り、 竹中先生に耳打ちした。

「先生、ズラ、ずれてますよ」

「つ!!」

かった。 ときの教師脅迫ネタ~ 古典教師篇~」 頭を押さえて周りを見回す竹中先生。 を使うことになるとは思わな こんなところで「 いざと言う

これで少しの間ができる。「しょ、少々席をはずします!」

この隙にクラスへ指示を出す。 を受けるんだ!」 「古典の点数が残っている人は左側へ回って! これですこしは持ちこたえられるだ 消耗した人は補給

ろう。

姫路さんに声をかける。 と動きが取れない。 姫路さん、 どうかしたの?」 姫路さんがこうなっている原因を見つけな

そ、そのっ、なんでもないですっ!」

そういって大きく頭を振る姫路さん。 何かあるのがバレバレだ。 その動作は不自然なほど大き

次第では作戦も大きく変わるだろうし」 そうは見えないよ。 何かあったのなら話してくれないかな。 それ

「ほ、本当になんでもないんです!」

そうは言うけど、 今日の姫路さんは絶対におかしい。

右側入り口、教科が現代国語に切り替えられました!」

「数学教師はどうした!」

「Bクラス内に拉致られた模様!」

んて、 右側入り口までBクラスが得意とする文系教科に切り替えられるな 結構ピンチだ!

「私が行きます!」

そういって戦場に加わろうと駆け出す姫路さん。

「あっ」

しかし、何かを見た途端にその動きを止めた。

があった。 てみると、 何かあると思って、姫路さんの視線の先、 その手にはかわいらしい封筒が握られている。 腕組みしながらこちらを見ている卑怯者.....根本君の姿 Bクラスの中をたどっ

利になる協定をBクラスから持ちかけてくるなんて、まるで姫路さ え無力化できればあの協定はBクラスに有利なものになる。 昨日の協定からおかしいとは思ってたんだ。 んを無効化する手段を持っていたとしか考えられない。 なるほどね。 そういうことか」 体の弱い姫路さんに有 姫路さんさ

姫路さん」

はい……?」

ے はこれだけじゃないんだから、 「具合が悪そうだからあまり戦線には加わらないように。 体調管理には気をつけてもらわない 試召戦争

....はい

じや、 僕は用があるから行くね」

す。 姫路さんは何か言いたげだったけど、 大事な用ができたから。 気にせず背を向けて走り出

面白い事してくれるじゃないか、 根本君」

思わずそんな台詞が口からこぼれる。

あの野郎、 ブチ殺す。

蓮Side

Si d e O

u t

僕は、 Cクラスから帰ってきた後、 本陣に残るように言われ、 すぐに始まったBクラス戦二日目。 坂本君と教室に残っていた。

転入生で、召喚獣の扱いにもなれていない新人を代表を護る役目が ある本隊に入れるなんて普通は避ける。 ねぇ坂本君、どうして僕を本隊に入れたの?」

お前が戦力になるからだ」

れてないんだけど」 どういう意味? 僕は転入生で試召戦争どころか、 召喚獣にもな

昨日吉井君たちを助けたあの 一回しか召喚したことない

が、 Cクラスから無事に帰ってきたからだ

それはBクラスに人の注意が坂本君たちに向いていたからで... そっちじゃない。 明久と島田を助けたときだ」

あれ? 坂本君には話してないはずだけど。

戻ってくるには正攻法じゃ無理だ。 とかな」 島田と明久がBクラスの追っ手を食い止めて、 それこそ、 消火器で煙幕を張る 尚且つ戦死せずに

確かに、 器を持っていた。 昨日僕が駆けつけたときには島田さんがピンを抜いた消火

消火器を煙幕代わりにするつもりだったんだ....

「だが、 明久たちが消火器をぶちまけた、 と言う話は入ってきてい

消火器なんて勝手に撒いたらそれなりに話題にはなるよね。

てきた事になる..... つまり、 明久と島田は、 正攻法でBクラスを食い止めてから戻っ

お前と一緒にな」

坂本君は最後の部分を特に強調した。

でも、 確かに僕はFクラスに戻ってくる途中で吉井君たちと合流したよ。 そのときにBクラスの人は三人に減っていたし、 三対三なら

正攻法でも.....」

教科は数学だったしな。 与えるまでに、 無理だな。 Bクラス一人が撤退に追い込まれるほどのダメージを 明久はともかく、 島田はかなり消耗していたはずだ。

まり、 お前がBクラス三人を相手に出来るほどの戦力を持っ てい

坂本君は何処まで知っていて、 とても最下位クラスの人間とは思えない頭の回転だ。 何処からが推理なんだろう。

が良かったんじゃない?Bクラスを閉じ込めるのは難しいと思うよ」 ラス戦用の.....な」 「ああ、 もし、 そこはちゃんと考えてあるし、 僕にそんな戦力があったとして、 何よりお前は伏兵だ。 それなら戦線に出たほう

えて策を立てている。 まだBクラスに勝ってもいないのに、 もうAクラス戦のことを考

他人を蹴落とすだけの卑怯者じゃない。 一流の軍師、策士とは、こういう人のことを言うんだろう。

だけど。

れだ。 それに気になることもある。 Aクラス戦も、 「坂本君は、 Bクラスを押さえておけると思うの?」 Bクラスに勝たなきゃ始まらない。 目下の問題はそ

姫路さん。 ああ、 Bクラスごときなら、 学年トップクラスの彼女なら..... 姫路がいれば何とかなるだろう」

クラスはその一点を生命線にしている。 条件を提示してくるなんてありえない」 あの協定がFクラスにとって有利なのはある一点だけだ。 できるとしたら.. 昨日の協定に違和感があるんだ。 Bクラスが態々こちらに有利な もしその生命線を封じる事 だけどF

違う、それだけじゃない。 「 Cクラスへおびき出すための布石だったんだ。 気にする事はない」

「何か姫路さんを動けなくする策が『雄二!』」

教室に吉井君が飛び込んできた。

#### 第八問 男には、 やらなきゃいけない時がある!

### バカテスト保健体育

問 以下の問いに答えなさい

になり始める』 『女性は ( )を迎えることで第二次成長期になり、 特有の体つき

姫路瑞希の答え

初潮。

| 正保 パー。 教師のコメント

正解です。

#### 土屋康太の答え

『初潮と呼ばれる生まれて初めての生理。医学用語では、 生理のこ

とを月経、

初潮のことを初経という。 初潮年齢は体重と密接な関係があり、 体

重が43kgに達する頃に初潮を見ることが多いため、

その訪れる年齢には個人差がある。 日本では平均12歳。 また体重

栄養状況などに影響される』 のほかにも初潮年齢は人種、 気候、 社会的環境や

教師のコメント

詳しすぎです。

吉井明久の答え

『明日』

随分と急な話ですね。教師のコメント

『ふぁ、ファーストキス.....』鮎川蓮の答え

教師のコメント

回答から何故か気恥ずかしさを感じますが外れです。

第八問 男には、 やらなきゃいけない時がある!

蓮Side

か緊急事態があったことを思わせる。 たとき、吉井君が教室に飛び込んできた。 僕が坂本君に昨日の協定について感じた違和感を話そうとしてい 少し息が切れていて、 何

雄二!!」

坂本君、たぶんここはシリアスな場m『話しがあるんだ』 何だ明久、 脱走か? チョキでしばくぞ」

されてる気がする.... 昨日Cクラスに行ったときといい、 遮られた。吉井君には僕は見えていないのだろうか.....。 僕はFクラスのメンバー ・に無視

でも、取り敢えず、シリアスな空気になった。

「根本君の着ている制服がほしいんだ」

......お前 ( 吉井君 ) に何があったんだ ( あったの ) ?」

まさか今朝の木下君の着替えを見てソッチ方面に目覚めてしまった 僕の知る限りでは、 吉井君はノーマルだったはず..... はっ

吉井君は口ごもっている。 「ああ、 まったんだから。 させ、 そ ઌૢ え ー そりや、 っと.....」 いきなりカミングアウトし

まあいいだろう。 勝利の暁にはそのくらい何とかしてやろう」

「人の好みはそれぞれだよね」

ちょっと待って、雄二はいい。 いせ、 雄二の顔もむかつくけどそ

れよりも鮎川君、

君は何を想像しているんだ!」

「僕は吉井君がノーマルじゃなくても気にしないよ。 あ でも僕は

ノーマルだからね」

違うっ! それは大きな誤解だ! 僕は ノーマルだ!」

「別に隠さなくても.....」

だから誤解だって『話が進まん。 それだけか?』

もいい。 坂本君に遮られた。 「良くないよ」 今は吉井君がノー マルかどうかなんてどうで

けを考えないと。 なんか聞こえた気がするけど無視だ。 今は、 Bクラスに勝つことだ

姫路さんを戦闘から外してほしい」

協定はBクラスに圧倒的に有利だ。 らの手段で姫路さんを無力化しているのだろう。 悪い予感が当たってしまったようだ。 やっ ぱりBクラスは何かし こうなると昨日の

「理由は?」

姫路さん抜きでBクラスと戦うのは自殺行為に等しい。

「理由はいえない」

「どうしても外さないとダメか?」

「うん。どうしても」

坂本君も吉井君も引かない。 おそらくだけど、 姫路さんはBクラス

.....いや、根本君に

何か弱みを握られてる。

制服に入るサイズの弱みとなると……写真、 メモリー、 手紙とい つ

たところか。

さんは根本君と関わりが薄いはずだから、可能性は低い。 メモリーだと、姫路さんに中身を確認してもらう必要がある。 姫路さん 姫路

が良く知らない男子生徒に簡単についていくとも思えない。

写真は.....女子の写真を持っていると根本君は変体扱いじゃない か

*آ* 

となると、 手紙か。 姫路さんが人の悪口を手紙に書くとは思えな 11

から好きな人か?

かだな。 ラブレター もしくは島田さんと手紙の交換をしていたか、 どっち

「頼む! 雄二

が坂本君に頭を下げていた。 僕が姫路さんが握られている弱みに当たりをつけていると、 吉井君

'......条件がある」

条件?」

い。必ず成功させろ」 姫路が担う予定だった役わにをお前がやるんだ。 どうやってもい

もちろんやってみせる! 絶対に成功させるさ!」

に感じる。 一見根拠のない自信。 だけど、吉井君には何とかしてしまいそう

「それで、 僕は何をしたらいい?」

「タイミングを見計らって根本に攻撃を仕掛ける。 科目は何でもい

「みんなのフォローは?」

っ ない。 しかも教室の入り口は今の状態のままだ」

「僕が吉井君のフォローに回るよ」

低い。 根本君はBクラスの中にいるだろう。 吉井君一人では成功確率は

どうして?」

いせ、

ダメだ。

お前は本陣に残れ」

その為の戦力だ」 を仕掛けるまでBクラスの出入り口は死守する必要がある。 今の戦力でBクラスを押さえておけるとは限らない。 明久が攻撃 お前は

.....分かった」

坂本君にも一理ある。 るかと言うと、 厳しいだろう。 今出払っている戦力でBクラスを押さえ込め

失敗したら?

失敗するな。 必ず成功させる」

「それじゃ、上手くやれよ」

思考に耽り始めた吉井君を残して、 坂本君はどこかに行くようだ。

. Dクラスに指示を出してくる」

「分かった」

「明久、 も秀でている部分がある。 お前は点数は低いが、秀吉やムッツリーニのようにお前に だから俺はお前を信頼している」

ど、 数じゃ計れない何かを持っている事は分かる。 「僕も、皆と会ってまだ時間はたってないけど、 吉井君の事を信じてるから」 僕は手伝えないけれ Fクラスの皆が点

.....雄二、鮎川君」

うまくやれ。計画に変更はない」

僕は、坂本君と一緒に、Dクラスへ向かった。

SideOut

明久Side

を考えていた。 雄二と鮎川君が出て行った後、 僕はBクラスに奇襲を掛ける方法

僕に秀でている部分 細かい動きは役に立ちそうもないし..... 狭い場所での戦闘である以上、 操作性や

· あっ」

違う、 一つだけあった。 僕だけの特徴が。 秀でている、 とはいえないけれど、 他の人とは

補給を受けるために戻ってきた三人に声を掛ける。 「美波! 武藤君と君島君も、協力してくれ!」

「どうしたの」

「何か用か」

補給テストがあるんだけど」

っている。 この三人は既に点数を消費し、 補給テストを受ける事が任務にな

「補給テストは中断。その代わり、 僕に協力してほしい。 この戦争

の鍵を握る大事な役割なんだ」

「......随分とマジな話みたいね」

「うん。ここからは冗談抜きだ」

「何をすればいいの?」

|僕と召喚獣で勝負をしてほしい|

あの下種野郎、目に物見せてやる!!

# 第九問 Bクラス戦終結!

バカテスト保健体育

問 人が生きていくうえで必要な五大栄養素を全て挙げなさい。

姫路瑞希と鮎川蓮の答え

『?たんぱく質 ?脂質 ?炭水化物 ?ビタミン ?ミネラル』

教師のコメント

流石です。優秀ですね。

吉井明久の答え

『?砂糖 ?塩 ?水道水 ?雨水 ?湧水』

教師のコメント

それで生きていけるのは君だけです。

土屋康太の答え

『初潮年齢が十歳未満のときは早発月経という。 また、 十五歳にな

っても初潮がないときを

遅発月経、 更に十八歳になっても初潮がないときを原発性無月経と

いい ・・・・・

教師のコメント

保険のテストは一時間前に終わりました。

第九問 Bクラス戦終結!

蓮Side

僕は、坂本君と一緒にDクラスへ指示を出しにあったあと、 Fク

ラスに戻ってきていた。

坂本君に尋ねる。 「吉井君は、どうやってBクラスに奇襲を掛けると思う?」

ないに攻め込むつもりだろうな」 「DクラスとBクラスの間の壁を召喚獣でぶっ壊して直接Bクラス

# 予想外の返答が返ってきた。

体に触れられないんじゃなかったっけ?」 そんなことしたら後で酷いことになるよ! それに召喚獣っ て物

伝わされるんでな、 「いや、明久の召喚獣は特別仕様だ。 召喚獣が物体に干渉できるんだ」 観察処分者は教師の雑用を手

「そうなんだ.....便利な召喚獣だね」

「いや、 にこってり絞られるだろうがな」 たダメージの何割かは、召喚者にフィー ドバックするからな」 「ああ。 「そんな使用の召喚獣で壁を壊したら、吉井君も痛いよね?」 そうでもないぞ。 だがそれを含めてあいつは覚悟したんだろう。 物体に触れられる代わりに召喚獣が受け 鉄人あたり

るなんて..... 何て男らしいんだ吉井君。自らの身を省みない策を決行す

ぎているからかなり持ったほうだと思う。 伝令が来た。試召戦争が始まったのが今朝の9時。 『Bクラス出入り口、 突破されそうだ!』 今は3時半を過

坂本君!」

ああ。 おおーっ!』 今から俺たち本隊も出る! Bクラスに勝手を許すな!」

こちらの戦力を全てかけた、 坂本君の号令で、 教室に残っていた本隊が動き出す。 文字通り総力戦の始まりだ!

SideOut

明久Side

おおおっ!」

ドコンッ!

ŧ てくる。 叫び声と共に壁にこぶしを叩きつける。 一撃で教室を隔てる壁を壊せるわけなく、 力が強い召喚獣といって 僕の手に痛みが返っ

「ぐうつ!!」

怯むな! ここを凌ぎ切れれば勝てるんだ!」

消耗した人は下がって! 戦死はしないように!

「坂本と本隊だ!」

教室の外から声が聞こえてきた。

あらかじめ出ていた戦力だけではBクラスを抑えきれずに、 姫路さんを戦闘からはずした影響は思ったより大きかったようだ。 本隊まで出てきているんだろう。まさに総力戦だ。 雄と

雄二たちにここまでさせてるんだ... 必ず成功させる

SideOut

蓮Side

代表まで出てきた以上、もう隠せる戦力はない。 Bクラスの面々はFクラス代表の坂本君が出てきたことに驚きなが 僕は、 坂本君率いる本隊の一員として、 Bクラスに援軍に来た。 文字通り総力戦だ。

らも、 力でBクラスの出入り口を押さえ込む。 その首をしきりに狙っている。 こちらも負けずに、 本隊の戦

って、暑苦しいことこの上ないっての」 なんだ、 お前らいい加減諦めろよな。 軟弱なBクラス代表様はそろそろギブアップか?」 昨日から教室の入り口に群がりやが

ドォン!

根本君が口を開くが、 我らが代表坂本君は挑発で返す。

まりの上に、 . 八ア ? ギブアップするのはソッチだろ? 頼みの姫路さんも調子が悪そうだぜぇ?」 Fクラスはクズの集

ドォン!!

度は気に入らない。 初めて会ったときから感じていたけど、 根本君の人を見下した態

:: いや、 挑発の意味も含んでいるだろうけれど、 で人間の全てが決まるわけじゃない。 自分以外の人間を見下している。 あの顔は本気でFクラス... 成績や頭の回転、 策だけ

自分を過信している人は嫌いだし、 今から痛い目見るよ。

お前ら相手じゃもったいないからな。 今は休ませておくのさ」

けっ 口だけは達者だな。 負け組代表さんよぉ」

負け組ってのがFクラスのことならお前が今から負け組代表だな」

ドオン!!!!

ちっ さっきからドンドンとうるせぇな! てめぇらの仕業か

?

けっ! 知らねえな。 言ってろ」 人望のないお前に対する嫌がらせじゃないか?」

だんだん、 吉井君の召喚獣が壁を叩く音が強くなってきた。

「坂本君.....そろそろ」

「ああ.....一旦引くぞお前ら!」

オイ! 散々吹かしておいて逃げるのか!!」

僕は最後尾についていく。 万が一Bクラスの人が追いついてきた

*E* .....

だあああああしやああああ!!!」

ドゴォッ!-

去る。 吉井君の叫びと共に、 DクラスとBクラスを隔てていた壁が崩れ

根本恭二!

覚悟おー

吉井君を筆頭に、 島田さんと数名Fクラスメンバーが根本君に襲

い掛かるが、

Bクラス親衛隊に阻まれて身動きが取れなくなってしまった。

はっ オイ、 お前ら! 俺が一人でいると思ったか! お前らの奇襲は失敗だ!

さっさと坂本を仕留めて来い!」

そろそろ、 根本君の一方的な物言いに我慢できなくなってきたな...

やっちゃおうか。

ラス全員に数学勝負を申し込みます!」 そうはさせない Fクラス鮎川蓮が、 召喚エリア内にいるBク

鮎川君!」

何だアイツ』

Fクラスの癖に調子乗ってんじゃ ねえよ』

さっさと倒して坂本を仕留めに行くぞ!』

てくる。 吉井君も驚いているけど、 Bクラスの人からも色々な反応が返っ

怒っている人が多いようだけど、そうやって冷静さを失うと足元を すくわれるよ。

試験召喚!」

ぶっ潰してやる! 試験召喚!』

 $\Box$ 

数 学 F ク ラス 鮎川蓮 · 6 点 V V s平均 SBクラス 1 2 人 4 7 点

5 1

ᆸ

╗

やっぱり文系の人が多いBクラス相手ならこの人数でも何とかな

る!

7 なんて点数だ!』

 $\Box$ あんな奴が何故Fクラスに!』

るよ! 驚いてるね。 だけど、 召喚獣が固まっている上に動きが止まって

衝擊波

の集団に向ける。 僕は右手の剣を床に突き刺して体を固定した後、 左手をBクラス

生する。 左手の腕輪が光を発し、 召喚獣の左手から圧縮された空気の渦が発

渦は僕の召喚獣との距離が離れていくうちに大きくなり、 の召喚獣を飲み込んだ。 Bクラス

数学 F ク ラス 鮎川蓮 436点 V V SBクラス S 平均 78点 6人

た。 初見で驚いた上に、皆固まってくれたおかげでクリーンヒットし

備が必要だから、 6人も戦死に出来たのは大きい。 僕の腕輪の能力は発動する前に準

同じ相手に何回も当てることが出来ない。 その分威力は高いけど。

『何だ今のは!!』

『腕輪か!』

驚いてくれてるのは嬉しいけど、 隙だらけだよっ

混乱 しているBクラスの召喚獣に向かって走る。

う手遅れ。 僕の召喚獣が接近してきたことであわてて戦闘態勢を取るけど、 も

一番近い人に接近し右手の剣で一閃。 すぐさま隣の召喚獣に横薙ぎ

の一撃を入れる。

後三人。 斬りかかってきた一人を左手で受け止め、 上段から剣を振り下ろす。

人がたてを構えて突進してくる。 剣で打ち返すが、 矢が飛んでき

て被弾してしまう。

り裂く。 出来た隙に二人係で攻撃してくるのを、 を左手で受けて蹴飛ばす。 剣で受けているほうの召喚獣を左手で切 一人を剣で受け、 もう一人

「なんなんだお前は!」

た。 この有様を見た根本君が何か言ってるけど無視。 もう十分隙は作っ

ている。 根本君は吉井君と僕が立て続けに奇襲したことで窓際まで下がっ

根本君の後ろには開け放たれた窓。 クーラーの故障。 四月にしては暑い天気に加え、

条件は揃った。

ダンッ!

大島先生が飛び込んでくる。 開け放たれた窓から、 P プを使ってムッツリーニと保健体育の

「ムッツリーニッ」」

僕と吉井君の声が重なる。

Fクラス土屋康太。 保健体育勝負、 試験召喚」

保健体育 F ク ラス 土屋康太 441点 V SBクラス代表 V S 203点 根本恭二

**6** 

#### バカテスト世界史

問 黄金のマスクで知られるエジプトの王を答えなさい。

姫路瑞希の答え

『ツタンカーメン』

鮎川蓮の答え

『トゥト・アンク・アメン』

教師のコメント

二人とも正解です。

鮎川君の回答を繋げて読むとツタンカーメンとなります。

土屋康太の答え

『クレオパトラ』

教師の答え

確かにクレオパトラもエジプトの女王ですが、 ツタンカー メンか

らは

かなり後の時代の人物です。

木下秀吉の答え

『マルセル。シュオップ』

教師のコメント

誰ですかそれは。

鮎川蓮のコメント

す。 フランスの作家で、 『黄金仮面の王』という作品を残した人物で

と語っています。 この作品は後に江戸川乱歩が「黄金仮面」という作品の参考にした

第十問 ものがあったりする。 勝利と戦後対談・ のはずだけどなんか喜べない

蓮Side

は終結した。 ムッツリー こと大島先生の奇襲で、 意外とあっけなくBクラス戦

途中なんだけど..... 今、戦後対談に向けてそれぞれのクラスから代表者が集合している

「うぅっ.....痛いよぉ、痛いよぉ.....」

殴って壊したんだから 吉井君が手を押さえて呻いている。 召喚獣を介してとはいえ、 壁を

痛みもあるし、怪我もするでしょ。

明久も、思い切った行動に出たのう」

「ま、お前らしい作戦だな」

でしょ、もっと褒めてもいいと思うよ」

多分木下君と坂本君が言いたいのはそうじゃないけど.....

しらしい作戦じゃな」 後のことを考えず、 自分の立場を追い詰める、 男気あふれるおぬ

吉井君を落としたのは意外にも木下君だった。

「.....遠まわしにバカって言ってない?」

「いや、結構ストレートに言ってると思うけど」

「...... (ガクッ)」

つ た! しまった、 つい言ってしまった一言で吉井君に止めをさしてしま

それが明久の強みだからな」

バカが強みって言われる人は世界中探しても吉井君くらいだろう。

ね? 「そうだね。 さて、それじゃ嬉し恥し戦後対談といくか? 散々汚い手まで使って負けたんだから言い訳できない 負け組代表?」

「なんか鮎川君が黒い気がするんだけど.....」

「奇遇じゃな、 ワシもそう思っていたところじゃ

に結構必死なんだよね。 なんか二人が言ってるけど、 こっちは根本君への怒りを抑えるの

戦争って言っても、利用していいものと悪いものはあるよ。 他人の気持ちを利用するなんて最低だしね。

ゼントするところなんだが、特別に免除してやらんこともない」 坂本君の言葉にB、Fクラス両方がざわつく。 本来なら設備を明け渡してもらい、お前らに素敵な卓袱台をプレ

やない」 落ち着け、 皆。 俺たちの目標はAクラスだ。 Bクラスがゴー

坂本君はFクラスを制すと、 に向き合う。 根本君.....もといBクラス代表の外道

..... 条件は何だ」

? ティを免除してあげるって言ってるのに上から目線はないんじゃな ? 口が悪いね?そっちは敗者なんだよ? 救えない程バカだね? もう頭腐ってんじゃない?」 散々汚い手使って負けておいてまだ自分が上だと思ってるの 落ち着け鮎川。 こいつへの制裁は後回しだ」 それにせっかくペナル

クラスの皆も引いていらっ しまった!つい我慢できなくて。 しゃる!! ああ! B クラスだけじゃ

気を取り直して..... 条件はお前だよ、 負け組代表さん?

「俺....だと?」

待つんだ坂本君、その発言はいささか危ない方面に取られるぞ。 にBクラスの女子の 現

何人かが妄想の世界に飛び立っては顔をしかめてい

障りだったんだよな」 ああ。 お前には散々好き勝手やってもらっ たし、 正直去年から目

坂本君の言葉にばつが悪そうに下を向 てるんだ、否定できるわけがない。 く外道。 そりや あんだけやっ

それにBクラスの人も誰一人フォロー しようとしない。

いると伝えて来い。 ああ。 そこで取引だ。 Aクラスに行って試召戦争の準備が出来て

ただし宣戦布告はするな。 くまで戦争の意思とその準備が出来ていることだけ伝えるんだ」 そうしたら戦争が避けられなくなる。 あ

「それだけでいいのか?」

らいで許されるわけないと思ってるらしい。 訝しむ外道。 そうだね、 自分のやってきたことから考えてこの その通りだよ。

くれたからね。 だけど、そこの外道はいろいろとやっちゃ いけないことをやって

ど......今回はこれで勘弁してあげるよ」 本来ならFクラス全員と吉井君の召喚獣でミンチにするところだけ

り出す。 僕は女子の制服 (Dクラスの人が僕に着せようとしてきた物) を取

備は見逃そう」 お前がこれを着て、 さっき言ったとおりの行動をしてくれたら設

#### 坂本君のとどめの一撃。

バカなことをいうな! この俺がそんなふざけたことを!」

「Bクラス全員で、必ず実行させよう!」

「任せて! 必ずやらせるから!」

これくらいで教室を守れるなら、やらない手はないな!」

たね。 Bクラスが外道を取り押さえる。 フフッ、 やっぱり人望はなかっ

「やっぱり随分と評判が悪いな、お前は」

・じゃあ、早く着替えよっか(ニコッ)」

「く、来るな変態ぐふぅっ」

ああっ、 僕が殴ろうとしたのにBクラスの人が先にやっちゃった。

「とりあえず、黙らせました」

「お、おう……ありがとう」

吉井君、時間がもったいないから早く着せちゃおう」

· う、うん」

開いてるし。 僕が制服に手を書けたときに外道がうめき声を上げた。 てか、 目

丁度良いや、どうしても気が済まなかったんだよね」

外道の右あごを後ろ回し蹴りの踵で蹴り抜いた。 外道の胸倉を掴んで無理やり立たせると、左足を軸にして回転。

。 : :

### なんか、 皆が僕を見て固まってるけど、どうしたんだろう。

本気ならハイキックの後に首投げのコンボだ。 「心外だな坂本君。 お前かわいい顔して案外えげつないな.....」 これでもちゃんと手加減してるんだよ?」

だし 気を取り直して着替えさせようか。 根本君は目覚めないよう

るけど、 吉井君と根本君の制服を剥ぎ取り、 やり方がわからない。 女子の制服をあてがおうとす

「これ、どうするんだろう?」

「えっ? 鮎川君は着たことないの?」

ないよ! 僕は男だし女装癖もないからね!

Bクラスを後にし、外道の制服を探す。ポケットの中にかわいらし い封筒が入っていた。 結局、 Bクラスの女子が着付けを担当してくれることになった。

うかな。 やっぱり手紙だった。 それもラブレター のほうか.....もう一発殴ろ

あ。鮎川君、それは....」

゙あ、はい。吉井君から返しておいて。.

どうして? いいから。吉井君は痛い思いをして突破口を開いてくれたんだし、 鮎川君が見つけたんだし、別に僕じゃなくても

昨日、 このくらいの得はしてもい 吉井君と島田さんの様子を見て姫路さんは嫉妬してたみたい ĺ١ んじゃない?」

だし。多分.....

燃やした後に灰は撒いておこう。雑草がみるみる枯れるはずだ。 気にしないで。 そういうことならもらっておくよ。 あと、 外道の制服は僕が処分しておくから」 ありがとう」

吉井君を見送った後でBクラスに戻ると...

ほら、 キリキリ歩け!」

何だこの服、 スカートがやけに短いぞ!」

おぞましい物体がそこにはあった.....

坂本君」

ああ。自分で言っておきながら吐き気がする.....」

き、貴様! よくも俺にこんなことを!」

外道が突っかかってきた。まだ名前は知られてないみたいだね。

「あー盛り上がっているところ悪いが、このあと撮影会があるんだ。

早くしてくれ」

「撮影会? そつ、 そんなの聞いてないぞ!」

言ってないもん。

これ以上あれを見てたら精神が汚染されそうだし、 戻ろうか」

そうじゃの」

..... (コクコク)」

後日、 なので気にする必要もないだろう。 こうしてBクラス戦は本当に幕を閉じた。 根本に「女装癖で変態な最低外道」という噂が立つが、

#### バカテスト地理

問 バルト三国と呼ばれる国名をすべてあげなさい。

姫路瑞希の答え

『エトニア ラトビア エストニア』

教師のコメント

その通りです。

鮎川蓮の答え

『バーレーン ルーマニア トルコ』

教師のコメント

バ、ル、トで始まる国ではありません。

土屋康太の答え

『アジア ヨーロッパ 浦安』

教師のコメント

土屋君にとっての国の定義が気になります。

吉井明久の答え

『高知 愛媛 徳島 香川』

教師のコメント

正解不正解の前に数があっていないことに違和感を覚えましょう。

体験することは少ない..... 第十一問 危険は意外と身近に潜んでいるって良く聞くけど自分が

蓮Side

消費した点数の補充も終え、僕たちはAクラス戦の作戦会議をして Bクラス戦から数日。

いた。

壇上に立っているのはもちろん坂本君だ。

こまで勝ちあがれたのは皆のおかげだ。 「まずは、皆に礼を言いたい。不可能とまで言われた試召戦争をこ 本当にありがとう」

吉井君も同じことを思っていたらしい。 ラブレターの相手は坂本君だと思っているようだ。 てみたところ姫路さんとは何の進展もなかったらしい。 い好意なのに気づかないなんて、 どうしたのさ雄二、らしくもない かなり鈍感だね ئے ちなみにあの後本人に聞い 結構分かりやす Ļ いうか

生き残るには勉強だけじゃないと大人共に見せ付けるんだ!」 ああ。 感謝するのはまだ早いんじゃない?」 ここまで来た以上、 自分でもそう思う。 Aクラスにも絶対に勝ちた だがこれは偽らざる俺の本心だ」 ίį

と全ては坂本君のシナリオどおりなんだろう。 ,Bクラスに勝利して、 Fクラスの皆が自信を持っていた。 き

「さて、 も同じようで顔には困惑の色が見える。 たし、Fクラスで太刀打ちできるとは思わない A クラス、 誰が勝負するのさ?」 その 特に上位10人の成績は他の2年生とは桁が違うと聞 Aクラス戦だが..... 一騎討ちで勝負をつけたい んだけど。 それは皆

ヒュンッ! ( 坂本君がカッター を投げる音 )「バカの雄二が勝てるわけなあっ!」「勝負するのは当然俺と翔子だ」

(カッ ターが吉井君の頭の横に刺さる音)

冗談だと思う。 本気で友人の頭めがけ てカッ ター を投げるような人

はいないと思いたい。

「次は耳だ」

冗談だと信じたいっ!

勝てるとは思えん」 じゃが、 明久の言い分ももっともじゃぞ。 雄二と霧島が勝負して

木下君..... 友達の命が間一髪助かったという状況なのに何故か落ち着いてい る

っても所詮はFクラス。 いや、木下君の意見には賛成だよ。 Fクラスで一番成績がい 61 الم

ているだろう。 Aクラス代表、 つまり学年主席の霧島さんとの差は天地ほども離れ

それはDクラスBクラスのときも同じだったろう? その戦いに勝った。 まあ、 その通りだ。 今回も同じだ。 まともにやって勝てるとは思っ ていないが、 だが俺たちは

俺は翔子に勝ち、 い.....皆俺を信じてくれ。 Aクラスを手に入れる。 俺たちの勝ちは揺るがな

過去に神童とまで言われた力を、 今皆に見せてやる!」

『『『おおーっ!』』』

坂本君の一言で皆の指揮が更に上がった。 やはり上位クラス2クラスに策略で勝ってきたことが大きいらしい。

ど、具体的にはどうするの?」 で? まともにやり合って勝ち目がないって自覚してるらし け

定テスト勝負。 ああ。 具体的には.....フィー ルドを限定する。 内容は日本史の限

小学生レベルの問題で1 0 0点満点の上限ありだ!!

「それなら両方100点でしょ?」

そうだよ雄二。 同点だったら延長戦になるし、 問題のレベルも上

げられちゃうよ?」

まで運に頼りきった勝負をするつもりはない」 おいおい。 お前らあんまり俺をなめるなよ? 幾らなんでもそこ

坂本君がこう言うってことは、 一番確実なのは霧島さんの集中力を乱すとか、 何かしらの秘策があると考えてい かな。

雄二は霧島さんの集中力を乱す方法を知ってるの?」

にせ、 翔子にとって小学生レベルの問題なんて集中してなくても

余裕で100点だろう」

「じゃあどうするのよ?」

「集中してなくても100点って、要するに勝ち目がないってこと

だからね?」

集中しなくても満点が取れる相手なんて勝ち目がないにも程がある。

一問だけアイツが間違える問題がある」

「そんな問題があるの?」

「ああ。その問題とは……大化の改新!」

「大化の改新なんて小学校で習ったっけ?」

そうじゃの。 内容までは習っておらんかっ た気がするが

問題だ」 させ、 内容を答えるほど掘り下げた問題じゃない。 もっと簡単な

簡単.. ...というと何年に起こった、 とかかの?」

「ああ。そうだ」

大化の改新は「無事故の改新」 だったから645年だ。

大化の改新というと、645年かの?」

「ああ。こんな問題は明久でも間違えない」

坂本君が言った瞬間に吉井君が顔を背けたのを僕は見逃していない。 吉井君が小学生レベルの問題も答えられないとは思わなかったけど。

「だが翔子はこれを必ず間違える」

今まで口を開かなかった姫路さんが坂本君に聞く。 あの.....坂本君は霧島さんと仲がいいんですか?」

「ああ。アイツとは幼馴染だ」

「総員、狙えつ!!」

吉井君の号令でFクラス男子全員 (僕と木下君を除く) が上靴を坂

本君に向けて構える。

「い、いきなりどうしたの皆?」

鮎川君、 止めないでくれ! 僕はこの男の敵を始末しないといけ

ないんだ!」

まらんからの」 「鮎川よ、止めるだけ無駄じゃ。 こやつらはこうなるとなかなか止

僕か? あったんだ! の姫路さんはどうしてこの空気になじんじゃってるの? 僕がおかしいのか? というかFクラスに本来いないはず 君に何が

·お、お前ら俺と翔子には何も」

に口に押し込むものだ」 黙れ男の敵! 須川君、 靴下はまだ早い。 それは押さえ込んだ後

「はい! 隊長!」

姫路さん、 吉井君。 やっぱり好きな人の好みは気になるよね。 吉井君は霧島さんみたいな人が好きなんですか?」

ただ、 微妙に殺気がにじみ出てるのが気になるけど..

吉井君、ここは彼女の気持ちに気づいて.....

「うん。美人だし」

アウトォ 吉井君、 その答えは引き金を引くことになるぞ!

ちょっと、 美波もどうして 姫路さん? どうして僕に向かって戦闘態勢をとるの

僕に向かって教卓なんて危ないものを投げようとしてるのさ?」

やばい。 吉井君の一言で恋する乙女二人が臨戦態勢だ。

もその影響が大きい。 だから俺たちは アイツは一度覚えたことは忘れない。 とにかく。 俺はアイツに昔間違って嘘の年号を教えたん あいつが今学年主席にいるの

それを利用して翔子に勝つ。そうすれば俺たちの机は 「システムデスクだ!」」」

吉井君の危機の傍らでは皆のテンションが最高潮を迎えていた。

今から宣戦布告に行くぞ。 明久とムッツリーニも付いて来い」

「あ、ウチも行くわ」

「私も行きますっ」

じゃあ僕も行こうかな。 Aクラスにも興味があるし」

分かった。取り敢えず早く行くぞ」

所変わってAクラス

僕たちは試召戦争の交渉のためにAクラスに赴いた。 クラスに付いた僕の第一声がこれだった。 ナニコレ? ここは外国のホテルかなんかなの?」 照明はシャ ンデリア。

机はシステムデスクだし、

日本の学校でこれ以上に設備を持つ学校はないだろう リクライニングシートと個人エアコンまで付いている。

「あら、何の用?」

目の前には木下君女装ver.が立っていた。

るから男として見られないんだよ?」 「あれ? 木下君いつの間にAクラスに? それに女装なんてして

どうしてだろう、 目の前の木下君がうつむいて震えてるんだけど..

「鮎川よ、ワシはここじゃ」

あれ? じゃあ、僕の目の前の人は....

「私はそいつの姉よ!」

「うわあぁ! ご、ごめんなさいっ!」

どいつもこいつも秀吉ばっかり……許さないわ!」

方向には曲がらなあああああああああああああああああああああああああ ちょ、き、木下さん? 人間の身体構造上そこの関節はソッチの

あああつ !!!!」

続けたんだ.... 意図せずに木下さんの逆鱗に触れてしまった僕はAクラスとの交渉 を終えた皆が助けてくれるまで木下さんのサブミッ ションを喰らい

SideOut

Noside

蓮が優子に関節技による説教(拷問) を受けているころ。 雄二たち

#### Fクラスの面々は

Aクラスとの交渉のテーブルについていた。

「で?今日は何の用かな?」

Aクラスの交渉役は学年次席(瑞希が振り分け試験を途中退席した

ため)の久保利光。

Fクラス代表として一騎討ちを申し込みに来た」

「その要求を呑むことでの僕らのメリットは?」

「昨日、Bクラスから使者が来たはずだ」

「あの女装した.....失礼。確かに来たがBクラスはFクラスとの試

召戦争に敗れて

3ヶ月間は宣戦布告が出来なくなっているはずじゃないかい ?

「いや、あの戦争は公式には和平交渉にて終結、 となっている」

「それは脅迫かい?」

「まさか。お願いをしているだけさ」

だが、一騎討ちを受け入れることは出来ない」

安心しろ。Fクラスからは俺が出る」

しかし.....『受けてもいい』代表?』

Aクラス代表霧島翔子が交渉の席に加わる。 たため、Fクラスにメンバーは驚いているようだ。 殆ど気配を絶って近づ

- 雄二の提案を受けてもいい」

代表がそういうならば良いだろう。 ただし、 1対1ではなく代表

者による5対5にしてもらいたい」

ああ。 それで良い。 だが、 勝負内容はこっちで決めさせてもらう

ぜ?

「それは.....」

いだろ?」 「そっちの方が上位クラスなんだ。 そのくらいのハンデはあっ てい

める、 なら、 ていうのはどうだい?」 全5回戦のうち3回Fクラスが、 2回Aクラスが教科を決

「それでいい。 じゃあ、 10時からで良いな?」

゙ああ。構わないよ」

「.....待って。Aクラス代表として提案がある」

代表戦の勝負内容が決まったところで翔子が口を挟んだ。

「なんだ?」

......負けたほうが勝った方の言う事をなんでも一つ聞く」

「ちょっと、代ひょ『ああ。別にいいぜ』\_

ちょっと雄二! まだ姫路さんが了承してないじゃないか!」

雄二が提案を受け入れると、翔子が何を言うと思ったのか明久が雄 二を止めにかかる。

「大丈夫だ。姫路に迷惑は掛けない」

「もう、良いかな?」

「ああ。それじゃあ、俺たちは帰るぜ」

雄一、 さっきから鮎川が姉上の折檻を受けて折るのじゃが」

あ?
それは自業自得だろ?」

させ、 そうなのじゃが、 あれはさすがに拙いというか.....」

秀吉に言われFクラスメンバーが蓮のほうを見ると、 ブミッションを掛けられながら、 白目を剥いている。 蓮は優子にサ

だからその辺でやめてくれ!」 ちょ、 いけないんだ。 ちょっと待ってくれ木下さん 鮎川 は代表戦に出てもら

SideOut

蓮Side

僕は坂本君のおかげで命からがらAクラスを脱出することが出来た。 はしていない」 「うう 「いや、鮎川が『蓮でいいよ』、 ......ありがとう坂本君..... 死んじゃうかと思ったよ.....」 蓮がそこまで感謝するようなこと

とあのまま殺されてたよ」 「いや、坂本君が『雄二で良い』、雄二が来てくれなかったらきっ

「 いや、 普段はそうでもないんじゃが.....」 「ねえ秀吉。秀吉のお姉さんってそんなに凶暴な人なの?」

木下君はそう言っているけど、 僕は実際に殺されかけたよ?

僕は雄二からAクラスとの交渉の結果を聞いていた。 一騎討ちじゃなくても、 「じゃあ、 結局5対5の代表戦になったんだね?」 5対5の代表者戦に持っていけたのは大き

クラス同士の対決じゃ 絶対に勝てないからね。

路さん、 うん。 ああ。 僕と、 雄二の5人だね?」 お前にも出てもらう予定だから準備しておけよ」 明久(名前で呼ぶことにした)、 ムッツリー

「え? 僕も出るの?」

名前を出された明久が不思議そうにしている。

明久は召喚獣の扱いが上手い Ų A クラス相手でも点数によって

は勝てるかもよ?」

「ああ。俺はお前を信頼している」

「そ、そうなんだ.....」

どうしたんだろう? 明久は面と向かってほめられたことがないの

かな?

打ち合わせをしているうちに約束の時間が迫ってきた。

「よし、行くぞお前ら! 最終決戦だ!」

「「「おおーっ!」」」」

いよいよAクラス戦の始まりだ!

# 第十二問 英語と実技とAクラス戦 (前書き)

一日あいてしまったことをお詫びします。

今日、 ちょっとでもこの駄文を覗いてくださった方全員に感謝しています。 PVが3000を突破したことを確認しました。

## 第十二問 英語と実技とAクラス戦

バカテスト化学

問 周期表16族の元素を答えなさい。

姫路瑞希の答え

0...... ポロニウム』 ◎ 0..... 酸素 S · 硫黄 S e.....セレン Te..... テルル Р

教師のコメント

いませんでした。 正解です。元素記号だけでなく元素の名前まで答えられるとは思

吉井明久の答え

『水兵リーベ僕の船』

教師のコメント

君は周期表の意味を分かっていますか?

土屋康太の答え

O S Se Te Po

教師のコメント

正解です。土屋君、どうしたんですか?

鮎川蓮のコメント

6族の語呂合わせを考えればムッツリーニが覚えてるのは当然。

## 第十二問 英語と実技とAクラス戦

蓮Side

僕たちは再びAクラスを尋ねた。もちろん今回はFクラス全員だ。

「それでは、試召戦争を開始します」

開戦の合図を出したのはAクラス担任で学年主任でもある高橋洋子

先 生。

美人で才女.....らしい。

Aクラスの一人目は木下優子さん。 「アタシが出るわ」 僕はさっき殺されかけたから、

苦手って言うか、

トラウマが.....。

えええええつ 雄二の話では一回戦は明久が「蓮、 行け」て、 えええええええええ

待って、 話が違うよ雄二! 一回戦は明久って言ったじゃないか

「大丈夫だ。死んで来い」

「それ大丈夫じゃないから! 死刑宣告だよね

人が殺されそうになったの知ってるくせに何てことを言うんだ!

「どうしました? 早く出てください」

くっ、仕方がない。

「ぼ、僕が出ます.....」

「あら、さっきはどうも」

木下さんからいきなりの先制攻撃。こっちのトラウマをこれでもか

というほど刺激してくる。

「だいたい、Fクラス程度がアタシ達に勝てるわけないわ

「どうして? 少なくとも僕たちはDクラスとBクラスに勝ってこ

こまで来たんだけど」

「フン。 努力もしないで成績が上がるわけないわ

完全にFクラスを見下している。木下さんをはじめ、 Aクラスの人

たちは成績も良いし、

それに見合うだけの努力もしてきたんだろう。

だけど、 成績だけで人は測れない。 特にFクラスは、 ね

良い成績とってるんだよね? 「じゃあ、 木下さんが一番努力した教科で勝負しようよ。 それを証明してよ」 努力して、

まだ、 挑発してるわけじゃない。 八 ? バカにしている木下さん。 何言ってるのよ? そんな条件じゃ勝てるわけないわ」 だけど僕だって勝算なしにこんな

て認めることだもんね。 そっ 努力した教科で負けるってことは努力が意味なかっ たっ

怖いよね?」

ちょっと溜めああとに口角を上げて言い放つ。

結構分かりやすい挑発なんだけど、 分かりやすいからこそ効果も高

「何ですって! しし いわ そこまで言うなら英語で勝負よ

後悔しないでよ。 Fクラス鮎川蓮がAクラス木下優子さんに英語

勝負を申し込みます」

**Fクラスの分際でアタシにけんか売ったこと後悔させてあげるわ** 

! 試験召喚」

木下さんは召喚獣を呼び出す。

西洋風の鎧を纏ってランスを構えている。 見るからに強そうだ。

「試験召喚!」

僕も召喚獣を呼び出す。 点数表示が終わる前に木下さんが突進して

きた。

「消えなさいっ!」

スピードそのままでランスを突き出してくる。 並みの召喚獣ならこ

だけど、僕にこんな単調な攻撃は通じない!

の一撃で決められる。

ガキンッ!

ランスを右手の剣で受け、 そして近づいてきた木下さんの召喚獣の頭を左手で掴む。 滑らせるように勢いを逃がす。

「なっ! 離しなさいよ!」

「離せって言われて離すと思う? 『衝撃波』」

右手の剣を床に突き刺し腕輪を発動する。

反動が強い代わりに、 つ攻撃を、 複数の召喚獣を一度に葬れるほどの威力を持

木下さんの召喚獣はゼロ距離で、 しかも頭に受ける。

秒足らず。 そのまま、 召喚獣の頭を吹飛ばし、 勝負は決まった。 ここまで10

英 語 F クラス 鮎川蓮 V SAクラス 木下優子

545点 Vs392点

6

勝負が付いてから、 ようやく二人の点数が表示される。

僕は腕輪を一回使ってるから本来の点数・80点だ。

るね。 木下さんも400点近かった。 さすがに一番努力したってだけはあ

だけど、 英語は僕も負けられない教科なんだよね。

『何だあの点数は』

『500点台だと!』

『なんであんな生徒がFクラスに』

『あのかわいい子が天才だったなんて』

『蓮ちゃ~ ん愛してる!』

けど、 僕の点数に、 最後の人には一度お話しする必要がありそうだ。 Aクラスだけじゃなく、 Fクラスの皆も驚いてい

何でよ。 どうして.....」

木下さんは、 よほど悔しかったのか涙目になってい

木下さんが自分を過信して他人を見下していたからだよ。

だ どんなに優秀でも、 成績が良くても人を否定して言い訳じゃ

「 / \ つ

「くつ.....」

言いたいことは言った。 ここからは木下さんが自分で考えることだ。

「蓮! 英語もすごかったんだね!」

「ああ。 俺も驚いたぞ。 あそこまで高い点数をとっていたとはな」

「僕にとって、英語は母国語みたいなものなんだよね。 だからその

辺の教師よりできる

自信はあるよ」

「じゃあ、運が良かったってこと?」

「いや。雄二じゃないけど、僕も運任せであんな挑発はしない

勝算があったということかの?」

と出来るようにはならない。僕にとってはそれが日本語だったんだ 「そう。英語は積み上げ教科だからね。 日々こつこつと勉強しない

抵の人は英語か数学と 一番努力した、つまり最も時間を掛けた教科は何かと聞かれたら大

けどね」

答える。それが分かった上で挑発したんだよ。

蓮が勝って来るとは思わなかったぞ。 良くやった」

へえ~。やっぱり僕は捨て駒だったんだ」

試合前の態度で分かってはいたけど、 面と向かって言われると凹む。

「秀吉?」

あれ、木下さん? 何のようだろう。

「なんじゃ姉上?」

忘れてたんだけど、Cクラスの小山さんって知ってる?」

秀吉の命が危ない気がするのは僕だけだろうか?

はて?誰じゃそれは?」

秀吉が言った途端木下さんから殺気が!

- 「ふ~ん、ちょっと来てくれるかしら」
- 「 なんじゃ 姉上。 何故ワシの腕を掴むのじゃ?」
- ラスの人たちをブタ呼ばわりしたことになってるのかしら?」 あんた
  こクラスで何を言ったのかしら? どうしてアタシがこク
- 「はっはっは、それはワシなりに姉上の本性を推測して.....ちが、
- 姉上! ワシの関節は
- そっちには曲がらな.....ギャアアァァァ ッ !

試合に負けて落ち込みながらもしっかりと恨みを晴らしに来るとは

..... 木下さん恐るべし

· それでは、次鋒戦を始めます」

Aクラスからは佐藤美穂さん。 Fクラスからは我らが観察処分者明

久が出る。

教科は物理が選択された。

明久、 やってこい。 大丈夫だ、俺はお前を信じてる」

「 フ..... それは僕に本気を出せってこと?」

な、 ああ。 なんだって? もう隠さなくていいだろう。 明久はまだ本気を出していなかったってことか? お前の本気を見せてやれ

もし今までの成績がこの一戦のための演技だとしたら.....

「まさか貴方は?」

そう。 僕は今まで本気なんて出しちゃい な ιÏ 僕本当は

明久の言葉に両クラスの生徒が息を呑む。

左利きなんだ」

物理 F クラス 吉井明久 62点 V V S S 389点 Aクラス 佐藤美穂

Ь

勝負は一瞬でついた。

点数差は6倍以上か 操作技術で勝てる点差じゃ ないな。

明久は島田さんに関節技を喰らっている。 このバカ! テストの点数に利き腕は関係ないでしょうが!」

のはやめて!」 「み、美波、 ただでさえフィードバックで苦しんでるのに更に殴る

の好きなhゴフゥ」 「島田さん! それ以上やったら明久が死んじゃうよ! 君は自分

何故だろう。 ている..... 明久を助けようとしたはずなのに僕がボロボロにされ

それでは三回戦を始めます」

Fクラスからはムッツーリーニ。 保健体育では負け知らずの猛者。 (スクッ)」

りそうだ。 こういっては失礼かもしれないけれど、 そういって立ち上がったのは黄緑色のショー トヘアー 「じゃあAクラスからはボクが出るよ」 男物の服を着たら男子で通 の女の子。

教科はなんにしますか?」

'.....保健体育」

ここでムッツリーニが保健体育を選ばないなんて天地がひっくり返 ムッツリーニが教科を選択する。 もちろん保健体育。

ってもありえないと思う。

「ボクは工藤愛子。 君 保健体育が得意なんだってね。 でも僕も得

「..... 実技」
をなんだよ。君と違って.....実技で、 ね

「ムッツリーニ!」」

けど、さっきの言葉にそんな要素あったっけ?

「吉井君だっけ? 勉強苦手そうだし、 僕が教えてあげようか?

もちろん実技で、ね」

「フ……望むとこr」

「吉井君にはそんな機会一生ないから必要ありません!」

「そうよ。アキには必要ないわ!」

明久が死ぬほど悲しい目をしているんだけど、 らない訳ないんだから本気にしなくてもいいのに。 別に一生スポーツや

「じゃあ、鮎川君……だっけ? 君はどう?」

「特に苦手なスポーツもないのでいいです」

<sup>□</sup>え? スポーツ?』

あれ? 僕なんか変なこと言った?

「えっと……君は実技ってなんだと思ってるの?」

ソフトボールとかサッカーとか?」

保健体育の点数何点?

な、何故そんなことを聞いて来るんだ! 保健体育は

二十点くらい.....かな」

嘘です。 本当は16点です。

「そうなんだ.....ゴメンネ」

どうして? 何で僕謝られたの?

蓮.....お前みたいな奴、 嫌いじゃ

教えてあげようか?」 そっ じゃあ、 ムッツリーニ君、 二人で鮎川君に保健体育を

「……さ、3……(ブッシャアアア)」

「どうして? どうしてそこで倒れるのムッツリーニ!」

鼻血なのに出血量が半端ないことになってるんですけど!

「ムッツリーニ!」

僕と明久が倒れたムッツリーニに駆け寄る。

「ムッツリーニしっかりして!」

「あ、明久.....」

「しゃべらないで!」

.....後は、頼む (バタッ)」

· ムッツリーニィィィィィィ」

命の危機のはずなのに、コメディ臭がする....

「どうしました? 早く召喚してください」

高橋先生! ムッツリーニが作っている血溜りが見えないんですか!

「うちの不戦敗でいい」

「分かりました」

坂本君が敗北宣言をする。 か打ち込む。 それを受けて高橋先生がキー ボー ドに何

生命活動 F クラス 土屋康太 DEAD ٧ SAクラス V S W I N

6

突っ込まない。もう突っ込まないからね-

それでは四回戦を始めます」

「私が行きます」

Fクラスは姫路さんAクラスからは、 いかにも知的な雰囲気を纏っ

ている眼鏡の男子が出てきた。

「ここが正念場だぞ」

雄二がつぶやく。

「どうして?」

「Aクラスから出てきたのは学年次席の久保だ。 今までの成績は姫

路とたいした差はない」

「どっちが勝ってもおかしくないってこと?」

そうだ」

「教科はどうしますか?」

「総合科目でお願いします」

まずいな。総合科目は点数がそのまま戦闘力になる。 分が悪いか」

どうしてさ。 姫路さんだって元学年次席でしょ? さっき雄二が

言ったみたいにたいした差はないよ」

「だといいがな」

姫路さんと久保君が召喚して.....そして勝負は一瞬で着いた。

総合科目 F クラス 姫路瑞希 4409点 ٧ SAクラス V 83998点 久保利光

S

**6** 

「何だあの点数は?」

「霧島翔子に匹敵するぞ!」

「すごいよ姫路さん!」

驚い たよ。 しし つの間にそんなに強くなっ たんだい?」

「私、このクラスが好きなんです」

Fクラスがかい?」

のいるこのクラスが、 「はい。人のために一生懸命に慣れるこのクラスが。私の好きな人

好きなんです」

姫路さんが勝って、2対2。全ては次の最終戦で決着がつく。

「それでは、最終戦を始めます」

### バカテスト地理

問 日本国土で最南端の島の名前を答えなさい。

姫路瑞希の答え

『沖ノ鳥島』

教師のコメント

正解です。最東端の『南鳥島』 と間違える人が多いのですが、

姫路さんは引っかかりませんでしたね。

木下秀吉の答え

『南鳥島』

教師のコメント

見事に引っかかりましたね。

吉井明久の答え

『与那国島』

教師のコメント

それは最西端です。 沖縄県ということで、 南にあるというイメー

ジは分かります。

吉井君にしてはまともな間違え方で驚いています。

鮎川蓮の答え

竹島。

教師のコメント

......君からこんな救いようのない答えが出るとは思いませんでし

た。

第十三問 れど自分が体験すると自分だけ不幸なんじゃないかって思える。 世の中には理不尽なことがあふれている、なんていうけ

蓮Side

「それでは、最終戦を始めます」

Fクラスからは、 高橋先生の号令で、 Aクラスの代表者は学年主席の霧島翔子さん。 もちろん我らが代表坂本雄二だ。 最終戦の幕が開いた。

- 「ついに始まるね」
- 「うん。あの問題が出るといいけど.....」
- 確かに、その問題が出なければ勝てぬからのう」

雄二は運任せの勝負はしない、 負かせなのかもしれない。 って言ってたけどこの勝負も案外運

「教科はどうしますか?」

点の上限ありだ」 教科は限定テスト対決。 内容は歴史の小学生レベルで100点満

ざわつく。 雄二が勝負内容を伝えるとあらかじめ聞かされていないAクラスは

力の勝負になる。 小学生レベルならば両方100点を取って当たり前。 集中力の精神

視聴覚室の様子と、テストの問題はAクラスのプラズマディスプレ 高橋先生について雄二と霧島さんが視聴覚室へと向かう。 イに表示されるようになっている。 分かりました。 それでは問題を用意しますので付いて来て下さい」

関が原、 テストは進み、 応仁の乱、 年号を答える問題が表示される。 鎌倉幕府..... 大化の改新、 あった!

- · あったぞ!」
- 「うん」
- 「僕たちの勝ちだ!」
- 「これで僕たちの机は.....」

何度目か分からないFクラスの合唱。

雄二の作戦通りに事は運んだ。

あとは、結果を待つだけだ。

『歴史限定テスト対決 Aクラス代表 霧島翔子

97点。

やった! Aクラス代表は100点を逃したぞ!」

「そんな……代表が……」

霧島さんの点数が表示されると、 Fクラスは雄二の思惑通りに霧島

さんが満点を逃したので

歓喜に沸く。対するAクラスはあきらかに落ち込んでおり、 中には

絶望したかのように

ひざを着く生徒の姿もある。

『Fクラス代表 坂本雄二

5 3 点

Fクラスの卓袱台がみかん箱になった.....

Aクラス教室

何かいい訳はある?雄二」

.....雄二、私の勝ち」

.....殺せ」

い覚悟だ! 殺してやる! 歯を食いしばれ!」

' 落ち着いてください吉井君!」

どうして止めるんだ姫路さん! コイツには僕らの期待と信頼を

裏切った罰が必要なんだ!」

「で、雄二、この点数なんだけど.....

いかにも俺の全力だ」

「このアホがぁあああ!!」

明久が怒り狂ってる。 まあ僕も同じ気持ちだけど。

アキ、 落ち着きなさい。 アンタだったら30点も取れてないでし

ょうが!」

「それについては否定しない!!」

「いや、出来ない、の間違いじゃないかな?」

「だったら、坂本君を責めちゃだめです!」

「くっ、何で止めるんだ! このゴリラには喉笛を引き裂くという

体罰が必要なのに」

「それは体罰じゃなくて処刑です!」

「ねえ。僕はあのテストでも少なくとも雄二よりは点数取れるし、

代表戦でも勝ったから、

雄二にお仕置きしてもいいかな?」

そろそろ我慢の限界だ。

「そ、それは.....」

いけ、 蓮! そのゴリラに人の信頼を裏切った罰を与えるんだ!」

「りょ~か~い」

雄二? ちょっと寝てもらうよ?

「鮎川君、止めなさい!」

どうして止めるんだ木下さん! コイツにはお仕置きが.

木下さん?」

どうしてアタシだってわかった途端いやな顔するの

そりゃ 殺されかけたあああああああああああああああああああ

あああああっ!!」

Sid eOut

N o S i d e

応収集した。 優子による蓮へのお仕置き(折檻)が終わり、 Fクラスの騒ぎも一

「……雄二、約束」

「ああ。好きにしろ」

「どうしよう! 姫路さんの貞操が危ない!」

危ないといいながらカメラを準備するムッツリー ニとレフ版を持つ

明 久。

なんとも欲望に忠実な二人である。

.....雄二、私と付き合って」

- - - - え?」」」

空気が凍った。

「やっぱりな。お前、まだ諦めてなかったのか」

゙......私は諦めない。ずっと雄二が好き」

その話は何度も断っただろう? 他の男と付き合う気はないのか

?

....私には雄二しかいない。 他の人なんて興味ない」

「拒否権は?」

゙......ない。だから今からデートに行く」

**ぐあ!** 離せ! やっぱり約束はなかっ

翔子は雄二の首を掴んで持ち去ってしまった。

皆が呆然としている中、 Fクラスについての説明を始めようか」 さて、 Fクラスの諸君。 Aクラスの鉄人こと西村教諭が入ってきた。 お遊びの時間は終わりだ。 これから我が

「え? 我が?」

が福原先生から俺に代わるそうだ。 できるぞ!」 「おめでとう。 お前らの試召戦争敗北のおかげで、 これから一年死に物狂いで勉強 Fクラスの担任

『な、なんだって』

当然のことながら、 Fクラスは悲鳴を上げている。

といっても、 てではないからといって蔑ろにしていい理由にはならん」 しし いか、お前たちは良くやった。 人生をわたっていく中でそれは大きな武器となる。 しかし、「学力が全てではない」

もっともである。

処分者と、A級戦犯だからな」 「吉井に坂本は特に念入りに監視してやる。 なにせ開校以来の観察

でどおりの楽しい学園生活を送ってやる!」 「そうは行きませんよ。なんとしても監視の目をかいくぐって今ま

あったら何時までも学園位置の問題児ではいられまい。 ......お前らには悔い改めるという発想はないのか?」

う 「とりあえず、 明日から授業と別に補習の時間を二時間設けてやろ

Fクラスが悲鳴を上げる。

さあ、 アキ、 ウチらもクレープ食べに行きましょ?」

「え? それは週末のはずじゃ.....

だめですよ! 吉井君は私と映画を見に行くんです!

ちょっと待って それは話題にすら上がっていないよ!

「はい。今決めました!」

いやー! 僕の食費が一」

る影が。 その傍から見ればほほえましい光景を見ている蓮に後ろから接近す

- 「映画か.....それもいいわね」
- 待つんだ木下さん。 なぜに僕を見ながらそんなことを?」
- 「そりや一緒に....」
- れるいわれはない 「待ってくれ 僕は試召戦争で木下さんに勝った筈だ! 奢らさ
- での勝負の結果は関係ないわ。さあ、 「あら? 約束はAクラスとFクラスの試召戦争の結果よ? 敗者は勝者に従いなさい
- 「理不尽だああああああっ!!!」
- その場にいたAクラス全員が思った。  $\neg$ ああ。 これは復讐だ」
- そうね.....確かに鮎川君はアタシに勝ったから..... 暇なときの荷
- 物もちで勘弁してあげるわ」
- 「それは勘弁したとは言わないよ!」
- 「さあね? じゃあ、 今度暇なときに連絡するから。 覚悟しときな
- さいよ」
- 「そんな.....」
- この戦争で一番割を食ったのは実は彼かもしれない。 なぜなら....
- 「ただ今から異端審問会を開始する」
- 「え? どうして?」
- 被告鮎川蓮(このものを甲とする)はAクラス木下優子に対し、
- 我らが教示に反する行為を行った可能性がある。
- 甲はヘルソルジャーに対し、 脅迫、 およびわいせつ行為をしていた
- ところを目撃
- 現在に至る」
- 「ええい、御託はい いから結論を述べたまえ!」
- しいであります 楽しそうに話していた後、 デートの約束をしていたのでうらやま
- 「ええぇ~ちょっと待ってよ! 僕はデー の約束なんてした覚え

「判決、死刑!」

「ぼ、僕の話を聞いてくれ~」

西村先生、 明日からといわず今日やりましょう個人でいいで

すから!

思い立ったが仏滅です!」

「吉日だ、バカ。 お前がやる気になったのは嬉しいことだが無理す

ることはない。

今日だけは存分に遊ぶといい」

「おのれ鉄人! 僕が苦境にいると分かった上での狼藉だな!

ならば、卒業式、伝説の木下で釘バットを持ってお前を待つ!」

「斬新な告白だな、オイ」

「さあ、アキ行くわよ」

吉井君はどの映画が見たいですか?」

うわああるー僕の食費がー! 生活費がー!

一人の悲痛な叫びがAクラスに木霊した。

た蓮は、 ちなみに、 襲撃してきたFFF団44名を3分で沈めることとなっ

とになるのだが その光景を目撃していたAクラスの面々から畏怖の念を抱かれるこ

これはまた別のお話。

## 第十四問(その場のノリは結構大切)

バカテスト英語

問 私は何か悪いことが起きるのを知っている」を和訳しなさい。

姫路瑞希と鮎川蓮の答え

0 C C U r k n o W G. t h a t S O m e t h i n g b a d w i l

教師のコメント

正解です。君達には簡単でしたかね。

吉井明久の答え

٦ d o n t W a n t t o b a c k т У s i s t e

C

教師のコメント

君の願望は聞いていません。 それにしても、 姉や、 妹に帰ってき

てほしくないとはどういうことでしょうか?

坂本雄二の答え

ī k n o w t h a t Shok o c o m e S O 0 n ₽.

教師のコメント

か? 霧島さんがやってくることが悪いこととはどういうことでしょう

鮎川蓮のコメント

第十四問

その場のノリは結構大切

だいたい、 蓮Side Aクラスとの試召戦争が終結して、僕は家路についていた。 FFF団ってのはなんなんだろうね。 あんなに理不尽な

「明久君! これを見ましょう!」

襲撃を受けたのは久しぶりだよ。

### なんか姫路さん的な声が聞こえる。

明久、食費がピンチなのは分かってるけど、 じゃあ、 僕はいいから二人だけで行っ 二人は"君と一緒に" て来なよ」

映画を見に来てるんだからその提案は.....

「え~、じゃあアニメにする?」

「 いやそうじゃなくて.....」

覚悟を決めろ、明久。僕みたいにトラウマのある相手に理不尽な条

件突きつけられてないだけましだよ.....

アタシが何時理不尽な条件突きつけたかしら?」

え ?

木下さん? まさか僕の心を読んだの?」

「声に出てたわよ」

しまった。

っ で ? アタシが何時アンタに理不尽な条件突きつけたのよ

なせ 普通トラウマのある相手からいわれのない荷物もち宣告を

受けるのは十分理不尽だと思うけど.....」

「ふーん....」

ちょっと口角が上がっているところとか正に悪魔だよ!

「明久、諦めろ」

うん?なんか聞きなれた声が。

「 男とは、 無力だ..... 」

oid eOut

「 男とは、 無力だ.....」

雄二?

僕の目の前に、手枷をはめられている雄二と、 その手枷から伸びる

鎖を握っている霧島さんが現れた。

まるでゴリラとその調教師だ。

「おい明久。今なんか失礼なこと考えなかったか?」

「き、気のせいだよ」

このゴリラは侮れない。

で? 雄二は何しに来たの?」

翔子にデートに連行されてきたんだ.....

「.....雄二、何が見たい?」

「早く自由になりたい」

......じゃあ、地獄の黙示録完全版」

おい、それ3時間23分もあるぞ!」

「..... 2回見る」

- 一日の授業より長いじゃねえか!」

.....授業の間雄二に合えない分のう・ め・ あ・ わ・

「くっ、帰る」

......今日は、帰さない」

おい、まて翔子それは、 あ ば、ぎゃあああああ!」

逃げ出そうとした雄二が霧島さんのスタンガンによって眠らされた

:

「……学生二枚、二回分」

はい学生一枚気絶した学生一枚無駄に二回分ですね」

いいの?(気絶した学生はスルーなの?

「仲のいいカップルですね」

「あこがれるよね~」

姫路さん、美波、 あのカップルはちょっと違う気がする.

「覚悟を決める、明久」

僕の後ろからまた聞きなれた声が...

「男とは、搾取されるものだ.....」

蓮、止めてよ! 今の状況の僕にとどめの一言なんて!」

「いや、明久は別に搾取されてないだろ」

何処をどう見たらそうなるのさ! 明らかの僕の財布がピンチじ

やないか!」

り前々から約束していたじゃないか! いや、お前はまだそれなりに自分の意思でここにいるし、 僕なんて.....ただその場の なによ

ノリ的な要素でこの悪魔に

搾取されようとしているんだぞ!」

「誰が悪魔って?」

「あ、いやその別に木下さんのことを悪魔って言った訳じゃ あああ

ああああああああ!!」

断末魔が響き渡った。

き、木下さん。どうして蓮と一緒にいるの?」

· ふえ? ſί いやえっと.....そうノリよノリ! 別に一緒に帰る

うとあとをつけたわけじゃ.....」

「えっと、後半よく聞こえなかっ たんだけど?」

「別に何も言ってないわよ!」

こ、恐い....

Aクラスでの蓮の悲劇を目撃してるだけあっ て恐怖五割増だ。

木下さんは何の映画を見るんですか?」

「 え ? そうね、 あんまり考えずにきちゃっ たから特に決めてない

木下さん。 せっかくだから姫路さんや、 君が同意を求めている相手は既に戦闘不能だよ.... 吉井君と同じ映画にしましょうか」

「木下さんさえ良ければ一緒に見ませんか?」

「そうね。大勢で見たほうが楽しいし」

「そう? それじゃあー緒に.....」

「待つんだ。 そもそも僕は映画を見ることすら承認し ていない

\_

蓮も復活したみたいだ。

「ちょっとアキ、これは約束でしょ?」

約束は週末だったはずだろ? それにその約束の中に映画なんて

単語は一度も出てきていない!」

「そうだ! 明久は自業自得だからともかく、 僕はただ映画館の前

にいただけで

勝手につれてこられたんだ! 開放を要求する!」

「蓮! 今僕を売ろうとしたね!」

売ろうと何てしていない。 僕は事実を言っ たまでだ」

ほら。 鮎川だってこういってるんだから。 行くわよ、

「ぼ、僕の......食費が!!」

さあ。アタシ達も行くわよ!」

「ちょ、木下さん! どうして僕まで!」

「嫌なの?」

もちろんいやああああああああああああああああああああああ

! !

僕を追い かけるように、 二度目の断末魔が響き渡った。

### バカテスト日本史

問 次の( )に正しい年号を入れなさい。

『 ( )年、キリスト教伝来』

霧島翔子の答え

『1549年』

教師のコメント

正解。特にコメントはありません。

坂本雄二の答え

『雪の降り積もる中、寒さに震える君の手を握った1993』

教師のコメント

ロマンチックな表現をしても間違いは間違いです。

鮎川蓮のコメント

『無神論者にとってはとてつもなくどうでもいい』

教師のコメント

君の思想はともかく、 テストですので真面目にお願いします。

第十五話 は起こる不思議。 いことは起こらないくせに現実では起こってほしくないようなこと フィクションの中の出来事で、 リアルでも起こってほし

蓮Side

週末。僕は秀吉と買い物に出ていた。

「どうして僕が演劇部の買い物に付き合わされるのさ?」

· どうして?」

部長殿から頼まれたからかのう」

ないわけには行かない。 ワシも詳しくは知らんのじゃが゛転入してきた男の娘をゲットし とか言っておったのを聞いたぞ」

「 秀吉。 しの付かないことになりそうな気がする」 その部長さんの言うことを聞いちゃだめだ。 なんか取り返

というか、 いんだ? そこまで露骨に言われているのにどうして秀吉は気づか

- で? 買い物は終わったの?」
- なな 最後に駅前で小道具と衣装の下見を.....」
- 衣装ならさっき買ったし、 小道具だって部室にたくさんあるじゃ

ないか」

一応説明しよう。

である。 僕は今週秀吉に連れられて演劇部の部活見学に行っていたりし

甘い。 甘いぞ蓮!」

何故に怒られる?」

演劇の小道具や衣装というものは、 それこそ演目の数だけあるも

のなのじゃ!

決して似たようなものがあるから、とか、これで代用できるから、 などという理由で

125

妥協しては人々を感動させる演劇などできぬ!」

なんという情熱.....

ることもなかったのに。 その情熱を一割でもいいから勉強のほうに生かせばFクラスには

そういえばお主、この前姉上とデー トしたそうじゃな」

デート? そんなのしてないよ」

「そうなのかの? 姉上がおぬしと一緒に映画を見たといっておっ

たからてっきりデートをしたものじゃと.....」

確かに映画は見たけど……」

なんじゃ。 やっぱりデートしておるではないか!」

とをお勧めするよ あれをデートと呼ぶ人がいたらその人には今すぐ精神科へ行くこ

緒に映画を見るのは十分にデー トじゃと思うんじゃが..

だ あれはデートじゃない。 僕が君の姉から一方的に搾取されただけ

「随分な言われようじゃの……何があったのじゃ?」

まま無理やり奢らされた」 おまけに木下さんが僕の後ろにいて、それでよく理由も分からない 「中に明久たちがいて、面白そうだから眺めてたら雄二たちも来て、

「後ろに姉上が、のう。今のようにか?」

「そうそう。 今みたいに僕の後ろに立っていてえええええええええ

ええええ!」

「冗談じゃ」

冗談かよ!(本当にビビるからマジで.....

前方から土煙が近づいて来るのが見えた。 一応辺りを見回して、 木下さんの気配がないことを確認していると、

「秀吉!」

「なんじゃ明久!」

アキ、来るわよ!」

゙くっ、秀吉こっちに来て! 蓮も!」

明久たちにつれこまれた茂みの中

どういうことじゃ明久」

「えっと、これには深いわけが.....」

豚野郎

.....明久、一つ聞いてもいいかな」

「な、なに?」

「どうして僕たちまでこんなやばそうなことに巻き込んだの?

明久に質問する。もちろん笑顔で。

「れ、蓮? なんか笑顔が恐いんだけど.....」

「大丈夫。 納得できるように説明してくれればへし折ったりしない

から」

「それってムグゥ」

「アキ、静かにしなさい!」

がない。 島田さんに取り押さえられて、 明久には事情を聞けないし、

逃げる準備だけしておこうか。

「尾根い様に家畜のにおいを付けでもしたら火あぶりにしてやりま

す

.....どうしよう。 今すぐ逃げ出したい。 逃げないと拙い気がする。

うことかの?」 なにやらよう分からんが、 明久たちは追っ手に追われているとい

「そうなんだよ秀吉」

「なら、変装するというのはどうじゃろう?」

「変装?」

ここに丁度演劇部の衣装があるのじゃが、これを着て変装すれば」

ナイスだよ秀吉!」

#### 着替え中.....

「秀吉.....これ女物だよ?」

おかしいのう.....部員がワシ用にと渡したんじゃが」

「秀吉用のが男物のはずないじゃないか!」

明 久、 その突っ込みはおかしい! そして何で秀吉まで着替えて

るの!」

ムッツリーニ? 何故ここに。「......それはそれでいい (パシャパシャ)

「...... 自主トレ」

「心を読まれた」

「あ、明久君.....」

「えっと.....」

だめだ! 姫路さんと島田さんは使えない-

「とっても似合ってます.....」

「困っちゃうんだけど~」

゙あ、明久そんな大きな声出したら!」

「見つけました!」

ほら見つかった!

「美春とお姉さまの愛を冒涜する豚.....め?」

よし、敵は戸惑っている。今のうちに脱出を!

「ふ、不潔です! 女の格好をすればお姉さまが好きになってくれ

ると思ったら大間違いです!」

「「いや、君が大間違い」」

しまったあ! つい突っ込んでしまった!

「神聖な美春とお姉さまの愛を冒涜する豚共め、 許しません!」

豚.....共?

「いつの間にか僕までターゲットに入ってる!」

僕と明久の逃走劇が始まった。

「どうしよう?」

「こうなったら4方に分かれて逃げましょう」

「それって、僕か明久に生贄になれってこと?」

私にいい考えがあります! 文月学園に逃げましょう」

、そうか! 学園なら!」

試験召喚獣が使える!」

#### 路学園へ

いた 竹内先生だ!」

竹内先生は現国よ! ウチぜんぜん戦力にならない んだけど」

今はそんな贅沢言ってられる状況じゃない!」

竹内先生! 模擬試召戦争をしたいんですけど」

はい。 承認します」

試験召喚獣、 試験召喚!」」

召喚フィ ルドが展開され、 僕たちはいっせいに召喚獣を呼び出す。

現代国語 F クラス 姫路瑞希&島田美波&吉井明久&鮎川 345点&16点&68点&334点

ᆸ

美春たちの愛を邪魔する気ですか

けた 試験召喚!」 ひどいのは一緒にいただけで僕まで追い掛け 回す君だと思う。

9 現代国語 ロクラス 清水美春

32点

Dクラスにしては点数が高い。 文系、 てことか。

姫路さんと蓮の召喚獣がいれば恐くない この勝負もらっ

僕と姫路さんの召喚獣が先頭に立って突撃する。

「ごめんなさい

姫路さんの召喚獣が大剣を振りかぶる。

「そうは行きません!」

清水さんの召喚獣がジャンプした。

僕と姫路さんの召喚獣を飛び越える。 しまっ た! 狙いは.....

ウチ?

島田さんの召喚獣が清水さんの召喚獣に倒される。

けれど、 僕の召喚獣ががら空きの背中に剣を振り下ろし清水さんの

召喚獣を消滅させた。

0点になった戦死者は補習うー

何処からともなく現れた西村先生に、 清水さんと島田さんが担がれ

ていった。

「補習は嫌

美春はお姉さまと一緒なら鬼の補習も天国です

最初からこれが目的で召喚してきたのか.

二人を担いでいた西村先生がふと立ち止まる。

吉井、 目覚めたのか?」

「誤解です!」

大変だったね

蓮は途中参加だからいいじゃないか。 僕は駅前から追いかけられ

てきたんだよ?」

まず、 僕が追いかけられる理由がなかっ た気がするんだけど.....」

まあ、 終わったことだし気にしない」

はあ ... まあ、 無事に終わったことだし『無事?』

木下さん?」

吉井君と姫路さんは外してくれる? 今から鮎川君に大事な話が

うん。 わかったよ」

# 吉井君と姫路さんが階段を上がっていく。

「さて、それじゃあ、 大事な話をしましょうか」

「大事な話って?」

「さっきね、秀吉と会ったんだけど.....」

ヤバイ......木下さんの背後に鬼が見える。

「鮎川君には話したわよね? 秀吉に女装させないようにって」

「いや、今日のは秀吉が演劇の衣装を着ただけというか、不可抗力

というか」

「なんでメイド服だったのよ!!!」

無事に終わることは出来なかった。

# 第十六問 学園祭って一番テンションが上がるのは準備の時だったりするよね。

感謝の念を禁じえません。 こんな駄文に付き合ってくださる方がいることに 今日、PV5000突破を確認しました。

どうか、よろしくお願いします!!今後も一層精進していく所存ですので

# 第十六問 学園祭って一番テンションが上がるのは準備の時だったりするよね。

学園祭の出し物を決めるアンケー トにご協力ください。

『あなたが今一番ほしいものはなんですか?』

姫路瑞希の答え

『クラスメイトとの思い出』

教師のコメント

成程、 お客さんの思い出になるような、そういった出し物もいいか

もしれませんね。

写真館なども候補になると覚えておきます。

土屋康太の答え

『 日な本 (訂正) 成人向けの本』

教師のコメント

取り消し線の意味があるのでしょうか?

吉井明久の答え

『カロリー』

教師のコメント

この回答に君の生命の危機が感じられます。

鮎川蓮の答え

『平穏な日常』

教師のコメント

第十六問 学園祭って一番テンションが上がるのは準備の時だった りするよね。

を行っている。 今、文月学園の中は近日に迫った学園祭、 僕が文月学園に転入してから早一ヶ月が経った。 「清涼祭」 に向けて準備

そして、 文月学園一の問題児、 我らがFクラスはというと...

「来い、明久!」

勝負だ吉井! お前の球なんて場外まで飛ばしてやる!」

「言ったな! 勝負だ、須川君!」

野球をしてるんだよね.....。

四人だけだ。 今、Fクラス の教室にいるのは、 僕と秀吉、 姫路さんに島田さんの

当然、 知らずな行いをしているクラスメイトを眺めている。 の四人だけで何かが決まるわけもなく、 清涼祭に向けての話し合いをするつもりだったんだけど、 僕は窓からグラウンドで命

さあ、ホームルームを始めるぞ」

教室の扉が開き、 て固まっている。 西村先生が入ってきた、 が、 がら空きの教室を見

「他のバカどもは何処だ?」

「グラウンドで野球してます」

「何故止めなかった?」

止めましたよ。 止めて聞くようならFクラスじゃ ないでしょ

それもそうだ。 俺はあのバカどもを引っ張ってくるからお前たち

は少し待っておくように」

てた。 そういって西村先生は教室から出て行ったけど..... 怒りで声が震え

な~にをやっとるかバカ共!!」

グラウンドから怒鳴り声が聞こえる。 明久、 ご愁傷様。

委員の島田 「さて、 それでは清涼祭での出し物について意見を求めたい。

任せた」

帰って来たはいいけど雄二が完全にやる気なしモードなんだよね。 「ちょっと、ウチだけじゃ無理よ」

副委員にふさわしいと思う奴を推薦してくれ」 「じゃあ、 副委員を選出するからそいつと二人でやってくれ。

『やっぱり坂本がやるべきじゃないか?』

『いや、吉井だろ』

我らが蓮ちゃんでも..... ぎゃああああああああ

強硬手段に出たけど。 皆口々に意見を述べ始める。 最後の人は何度言っても聞かないから

. それなら姫路さんが適任じゃないの?」

させ、 姫路は全員の意見を丁寧に聞いているうちにタイムオーバ

た

「どういうこと?」

来ちゃうってこと」 ら、丁寧に話し合いをしているうちに何も決まらないまま清涼祭が 「要するに、姫路さんは誰かの意見を切り捨てられる人じゃないか

ここまで噛み砕いて説明すれば明久でも分かるだろう。

「ここまで噛み砕かれないと理解できない明久は本当のバカだな」

なんだとバカ雄ニ!!」

「落ち着け」

雄二もいちいち火に油を注がないでほしい。

言うわけだ。 島田、 さっき上がったやつの中から二人選んで

決選投票をしる。

それで選ばれた奴が副委員だ」

島田さんが黒板に書きは始める。

は須川君あたりを対抗馬にすれば明久が副委員に..... 島田さん個人の気持ちとして、明久は候補に上がるだろうからあと

『候補?.....吉井

候補?.....明久

「じゃあこの二人から選んで」

凄い。

まさかそう来るとは思ってなかったよ。

「待って、美波、 その候補の上げ方はおかしい気がする」

明 久、 気がする、 じゃなくて本当におかしい。

S ん、迷うな』

『ここは吉井じゃないか?』

どっちもクズだからな』

クラスメイトは真剣に悩んでいる。 演技だよね?

明久、それだと君はクラスメイトと自分の両方からクズのレッテルを 貼られることになるぞ。 クラスメイトをクズ呼ばわりする君は人間のクズだ!」 「こら、 君たちも真剣に考えるフリをするな! それと最後の人!

じゃあ、 アキに決定ね」

貴女の目論見でしょうが! 命の危険が少なくなるからいいか.....。 まあ、 島田さんの機嫌がいいと明久の

(ピッ) 文化祭の出し物で意見がある人は手を挙げて発表して」

, じゃあ、土屋」

「..... 写真館」

ムッツリーニ、君の言う写真館とは学校の、 それも一 般人も来る様

なところで

展示してもいいようなものなのだろうか.....

と、言うか危険な香りがぷんぷんする。

ふと黒板のほうを見ると、 していた。 書記の明久がムッ ツリー 一の意見を板書

『候補? 写真館「秘密の覗き部屋」』

明 久。 ないけど。 目で分かるネーミングだ。文化祭には適さないが。 ムッツリーニ主催の写真館がどういったものになってしまうのかー 僕は今君のネーミングセンスに感動して いる。 文化祭には適さ

大事なことなので二度言わせてもらった。

「じゃあ、他」

エディング喫茶を提案する」 メイド喫茶..... は使い古されていると思うので、ここは斬新にウ

クラスメイトの一人が提案する。 なんか下 心があるような気がする

けれど、斬新さ

という面では悪くない意見だと思う。

- ウエディング喫茶ってどういうの?」

別にやることは普通の喫茶店と変わらない んだが、 ウエディング

ドレスを着て接客するんだ」

「明久が?」

蓮 ! い姫路さんと秀吉に決まってるじゃないか!」 どうしてそこで僕の名前が出てくるの! 着るのはもちろん

「アキ? どうしてうちが入ってないのよっ-

から似合うと思うけど、 また明久が自爆した。 明久だってそれなりにかわいい顔してるんだ

だめだ。 ウエディング喫茶は回避せねば。 明久に着せると僕まで着せられてしまいそうな気がする。

『斬新でよさそうだ』

『女子も喜びそうだな』

でもウエディングドレスって動きづらくないか?』

それに男は嫌がらないか? 人生の墓場って言うくらいだしな』

また皆が好き勝手言ってる。 真面目に議論してくれるだけよしとし

『候補?.....ウエディング喫茶「 人生の墓場」

明久は真面目に書いてるよね? な単語が入ってるけど。 ウエディングと結びつかないよう

じゃあ、須川」

「中華喫茶を提案する」

今度は須川君だ。

「中華喫茶って、 チャイナドレスでも着るの?」

「いや、 俺の言っている中華喫茶はそんなイロモノ的なものじゃな

ιį

本格的なウーロン茶と軽い飲茶を出す店だ。

そもそも食の起源は中国にあるという言葉があることからも分かる

ように、こと『食べる』

という文化に対しては中華ほど奥が深いジャ ンルはない。 近年、  $\exists$ 

- ロピアン文化による

中華料理の淘汰が世間では見られるが本来食というものは

ᆫ

言ってることは半分くらいしか分からないけどとにかく何かしらの どうしたんだ? あの須川君が熱く語りだした!

候補? 中華喫茶「ヨーロピアン」 信念があることは良く伝わったよ。

明久は本当は天才なんじゃないだろうか.....

ドアから西村先生が入ってきた。 清涼祭の出し物は決まったか? 西村先生は僕たちを顔を一度見た

島田さんに声を掛けた。

西村先生は黒板に目線を移す。 「今のところ黒板に書いてある3つの案が出ています」 当然ながらその黒板には明久の天才

的ネー ミングセンスの

結晶が書かれているわけで

ウエディング喫茶「人生の墓場」 中華喫茶「ヨー ロピアン」 『写真館「秘密の覗き部屋

6

補習が倍? 補習の時間を倍にしたほうがいいかも知れ 今が毎日2時間だから4時間? んな..... 帰るのが8時近くに

なるじゃないか。

別に僕が遅くて困るような家族はいないからい いけど、 F クラスの

面々は

補習が増えることを必死で回避しようとする。

違います、 これは吉井が書いたんです」

バカなのは吉井であって決して僕たちがバカなわけではありませ

/\ !

皆が明久を売る。

どうしてこのクラスはこういう時だけ変な団結力を発揮するんだろ

だな。 おお! 「見苦しい言い訳をするな!」 西村先生が明久をかばったよ。 やっぱりこの人も教師なん

んだ」 「先生はバカな吉井を選んだこと自体が頭の悪い行為だといっ

こんな人が教師でいいのか!

稼ぎを出してクラスの設備を向上させようとか思わないのか?」 Fクラスが色めき立つ。その発想はなかったけど、 は認められるんだろうか? 「まったくお前たちは.....少しは真面目にやったらどうだ? この学校でそれ

- 西村先生、そんなことしていいんですか?」

りにもひどい。 ああ。本来は認められないことだが、 今のFクラスの設備はあま

学力によって差をつけるのがこの学校の教育方針だからといってそ の所為で体を壊しては

だけど.... うーん.....あのばあさんが一教師の言うことを聞くとは思えないん 本末転倒! 今回は俺が特別に学園長に掛け合ってやる

 $\neg$ 出し物どうする? 利潤の多い喫茶店がいいんじゃないか?』

『けど初期投資の多い写真館のほうが』

いや、 写真館は文化祭に出せないようなものになるに決まってる

でしょ」

『中華喫茶なら外れはないだろ』

『それだと目新しさに欠けるな。 ただでさえ旧校舎は汚いせいで人

が来ないんだ。

特徴のなさは致命的じゃないか?』

『ウエディング喫茶はどうだ?』

だろ』 『初期投資が大きすぎる。 たった二日間の清涼祭じゃ 儲けは出ない

『リスクが大きいからこそリター ンも大きいはずだ』

「いや、 そもそもうちのクラスは女子が少ない。 ウエディング喫茶

ドレスの着て接客する人数が少なくて人手不足は避けられない

だと

西村先生の言葉で一気に活気付いたFクラス。

っていることが意外だ。 さまざまな意見が飛び交っている。 それに何よりちゃ んと議論にな

`はいはい。ちょっと皆静かにして」

島田さんが皆を制止するがお構いなしに議論は続く。

『お化け屋敷とかの方が受けると思う』

『簡単なカジノを作ろう』

『焼きトウモロコシを売ろう』

島田さんが呆れ顔になっている。 スはまとまりに欠けるよ。 やっぱり雄二がいないとこのクラ

き上がった候補の中から選ぶからね!」 もうっ とにかく静かにして。 決まりそうにないから店はさっ

島田さんの一喝でようやくクラスが静かになった。

が、 島田さんの発言を聞いて今度はブーイングが飛び交ってい

手を上げること。 ほら! 言わないの。 この三つの中から一つだけ選んで

いいわね」

有無を言わさない島田さん。 のかもしれない。 彼女は意外と人をまとめる才能がある

「じゃあ、写真館」

手は余りあがらない。 のになると ムッツリー 二の写真館が文化祭では危険なも

皆良く理解しているようだ。

これは阻止しなければ。 次はウエディング喫茶」 僕や明久、 秀吉は確実に着せられてしまう!

「最後に中華喫茶」

僕はここに手を上げる。

というかここしかまともな利益を上げらえらそうな案がない。

島田さんが上がった手の数を数えている。 結果、

うに!」 「Fクラスの出し物は中華喫茶に決定します! 全員、 協力するよ

良かった。 ウエディング喫茶は回避できたようだ。

「それなら、お茶と飲茶は俺が引き受けるよ」

にはこのクラスー そういって須川君が立ち上がる。 さっきも熱く語っていたし、 中華

精通しているだろう。

「...... (スクッ)」

それと、 ける、 いう意思表示だろうけど、 ムッ ツリーニも立ち上がった。 きっと自分も厨房を引き受

「「ムッツリーニ、料理なんて出来るの?」」

僕と明久の声が重なる。

「..... 紳士の嗜み」

っているうちに 意外と立派な理由だ。 てっきりチャ イナ服目当てで中華料理屋に通

見よう見まねで覚えた、 とかそんな理由だと思っていた。

土屋のところに。 「まずは厨房班とホール半に分かれてもらうわね。 厨房班は須川と

ホール班はアキのところに行って頂戴」

いつの間にか明久がホール班筆頭に立たされているけどい しし のかな。

そして、 僕は厨房班に並んだけど、同じ列に姫路さんがいる

「それじゃあ私は厨房班に

「だめだよ姫路さん。君はホー ル班じゃないとし

姫路さんを厨房に入れると、 学園祭で使者が出かねない。

『明久よくやった』

『明久グッジョブじゃ』

『..... (コクコク)』

僕、秀吉、ムッツリーニは冷や汗をかきながら明久のファインプレ

にアイコンタクトをする。

どうして私はホール班じゃないといけない んですか?」

「それは姫路さんが厨房に立つと死nムグゥ!」

ほら! 姫路さんはかわいいからホー ルでお客さんと接したほう

が店として利益が痛ぁ!」

ころだった。 危なかった。 危うく姫路さんに本当のことを伝えてしまうと

かわい いなんて. .. 吉井君がそういうならホールでも (・

頑張りますね」

いや、ただでさえ女子が少ないんだからホールは専任のほうが効

率がいい。

姫路さんはホール専門で動いてくれないかな?」

「は、はい。そういうことなら」

これで危機は去った!

「じゃあ、 僕は厨房にしようかな(かの)」」

「だめだよ!」蓮も秀吉もそんなにかわいいんだからもちろんホー

ルに決まってみぎゃ!

み 美波様、折れます! 腰の骨が! 命に係わる大事な骨があ!」

.....うちもホールにするわ」

「そ、そうですね.....それが、いいと、 思います.

明久が死に掛けている中。 僕たちFクラスの人並みの学校生活をか

けた

学園祭の出し物は中華喫茶に決まった。

## バカテスト 世界史

問 エジプト第18王朝のファラオで、多神教を廃し、 世界初の一

神教を始めるなどの

『アマルナ改革』で有名な人物を答えなさい。

姫路瑞希の答え

『アメンホテプ4世』

教師のコメント

とも呼ばれます。 正解です。彼が崇拝した唯一神のアトンから、 7 イクナー

146

吉井明久の答え

『イエス・キリスト』

教師のコメント

り後のものです。 違います。キリスト教も一神教ですが、 エジプト宗教よりもかな

鮎川蓮の答え

『ルイ18世』

教師のコメント

そんな人物はいませんし、 そもそもエジプトの人物ではありませ

hį

『ハイデルベルク』島田美波の答え

教師のコメント

『ハイデルベルク人』は原人です。 古い人物を答えればいいというものではありませんし、

第十七問 いが命の危機をもたらすこともあると覚えておいてほしい..... 人間は些細なことで勘違いするって言うけど、その勘違

アキ、ちょっといい?」

帰 止められた。 们 の H Rも終わっ て 明久と帰ろうとしていたら島田さんに呼び

「ん、何か用?」

「用って言うか、相談なんだけど」

島田さんのことだから学園祭に関することだろう。

「相談? 僕でよければ聞かせてもらうけど」

うん。 ありがと。 アキが言うのが一番だと思うんだけど

その、 やっぱ り坂本をなんとか学園祭に引っ張り出せないかな?」

確か雄二がいればFクラスもまとまるし、 中華喫茶もいい方向に持

って行ってくれるだろう。

島田さん本人が無理に言うより、 仲が良い明久が行ったほうがい l1

と考えるあたり、

島田さんも賢明な人だと思う。

hį それは難しいかな。 雄二は興味のないことには徹底的に

(いれば) 無関心だし」

それは僕も思う。 前の試召戦争は雄二自身がやりたいと思っ てた

からあそこまで

皆を先導して突っ走ったけど、 興味のないこととか普段の生活では

ろくな事してないからね」

召戦争でのことも この一月、 明久たちと関わって分かったことだ。 ちなみに、 僕は試

てる。

関係あるのか、

明久たちと仲が良い。

明久の家には良く遊びに行っ

何故島田さんはそんなに確信を持っているんだろう。 アキが頼めばきっと動いてくれるよね

明久を期待をこめたまなざしで見ているし。

「 え ? 思うけど」 別に僕が頼んだからといってアイツの返事は変わらないと

るはず。 ううん。そんなことない。 だって きっとアキの頼みなら引き受けてくれ

「確かに良くつるんではいるけど、 だからとい って別に」

「だってあんたたち愛し合っているんでしょう?」

どうしてそうなった! 島田さんに何があったんだ!

僕が見る限り明久にも雄二にもBでLな趣味はないはずだ。 何

てことある訳ない。 というか、雄二は霧島さんって言う彼女がいるんだから明久と、

「もう僕お婿にいけない!」

明久はなんか想像してしまっ たのか絶望しているし。

「何で雄二なんかと! だったら僕は断然秀吉や蓮のほうがい いよ

<u>!</u>

「...... あ、明久?」

偶然近くにいた秀吉が立ち止まる。 さっきの明久の発言を聞い 7 61

たんだろう。

何処から聞いていたかは分からないけど、も しか聞いていなかったら、絶対勘違いする。 し明久のさっきの台詞

「そ、その、 おぬしの気持ちは嬉しい のじゃが、 お主とワシ の間に

は色々と

障害があると思うのじゃ .....その、 年の差とか」

だめだ! 秀吉が壊れている! 早く何とかしないと..

それと、 ひ、秀吉! 僕たちの間にある障害は決して年の差じゃないと思う 違うんだ!(さっきのはただの言葉のアヤで-

強いて言うなら性別の差だよね..... あれ? それじゃあ僕が上が

ったのは何故?」

明久まで僕のこと女の子としてみてるわけじゃないよね

しそうならちょっと、 お は な しないと。

「それじゃ、坂本は動いてくれないってこと?」

「う、うん。そういうことになるかな」

明久だけじゃなく、秀吉まで頭を振っている。

何とかできないの? このままだと、 喫茶店が失敗に終わるよう

た....

今回の清涼祭はFクラスにとってチャンスでもある。

利益を上げて設備を買うことが出来れば体の弱い人、 主に姫路さん

の負担も軽くなる。

出来れば成功させたい。

つめた顔をするところを見ると、 「ところで、おぬしらは何の話をしておるのじゃ? 深刻な話のようじゃが」 そこまで思い

こうとう こぼが アーラー

まだちょっと顔が赤い秀吉。

「深刻って程の話じゃないよ」

ちょっと清涼祭の喫茶店の経営やクラスの設備の話で

\_

「ちがうわ。アキ、鮎川。 本当に深刻な話なのよ...

「え? どういうこと?」

島田さんの台詞はなんか妙に現実味を帯びている。

何か、 僕たちにとって良くない問題が起こっているのか...

情が事情だし..... 「本人には誰にもいわないでほしいって言われてたんだけど..

い? これから話すことは絶対誰にも言っちゃだめだからね?」

「う、うん。わかった」

「 真剣な話みたいだしね。 他言はしないよ」

「実は、瑞希なんだけどね」

なるほど。大体分かった。

「姫路さんがどうかしたの?」

「あの子、転校するかもしれないの」

ほえ?」

明久が首をかしげる。 なんか頭から湯気が出てるし、 目が虚ろだ。

「いかん! 明久が処理落ちしておるぞ!」

もうっ! 本当に不測の事態に弱いんだから!」

落ち着くんだ。 まずは頭をはずして熱を逃がさないと!」

僕、なんかおかしいこと言ったっけ? 「アンタ ( お主 ) が一番落ち着きなさいよ ( 落ち着くのじゃ 機械が熱を持ったらまず熱

を逃がさないと.....

'明久、目を覚ますのじゃ」

明久の肩を持って揺らす秀吉。そうか! 明久は人間だから頭が外

れる訳ないよね。

「秀吉.....モヒカンになった僕でも好きでいてくれるかい?」

明久から異次元の反応が返ってきた。

......どういう処理をしたら瑞希の転校からこんな反応が返ってく

るのかしら」

「ある意味稀有な才能かも知れんのう.....」

確かにこのレベルのバカは世界中探してもなかなかいないよね

:

「美波 姫路さんが転校って、 どういうことさ!

明久が復活した。 急に島田さんを問い詰めるから、 島田さん顔が赤

いよ。

どうもこうも、そのままの意味。 このままだと瑞希は転校し

ちゃうかもしれないの」

「このままだと.....?」

多分姫路さんはまだ、 転校を勧められている段階だと思う。

から」 られている段階だと思うけどその理由は『Fクラスの環境』なんだ 「そうでもないでしょ。 島田よ、 姫路の転校とさっきの話がぜんぜん繋がらんのじゃが」 姫路さんが転校する、 多分まだ転校を勧め

「鮎川のいうとおりよ」

ってことは、転校は両親の仕事の都合とかじゃなくて

純粋に設備の問題になるわ」

「いや、それだけじゃない」

島田さんだけじゃなく、 明久と秀吉まで首をかしげている。

「それだけじゃないってどういうこと?」

姫路さんの両親が転校を勧めている理由は一つじゃない」

· だから、それはなんなのよ」

一つはさっきまで島田さんが言った『Fクラスの環境』。

振り分け試験で体調を崩す娘が最悪の設備で暮らしている。 普通の

親なら心配する」

「じゃあ、他には?」

「二つ目は『教室自体』」

- 教室そのものが問題、ということかのう?」

そう。 老朽化して汚れている教室。 隙間風も入るし、 衛生的とは

いえない」

なるほど」

「最後に『競争相手の不在』」

「競争相手?」

トはレベルが低い。 そう。 Fクラスは最低クラスだから、 当然姫路さんのクラスメイ

勉強だけじゃなく、 高めることが出来る生き物なんだ。 何事においても人は競争相手がい 競争相手不在のこの状況は姫路 てこそ自分を

さんの成績に悪影響を及ぼしかねない」

- 「え? でも、姫路さんの成績は.....」
- 「実際にはFクラスに来てから姫路さんの成績は上がってるけど、

それはFクラスの

影響だと姫路さんの両親は認めてない可能性がある」

- 「蓮。解決方法はないの?」
- 「一つ目はともかく、二つ目と三つ目は難しい
- 「いや、そうでもない」
- 「そうなの?」
- 「うん。 三つ目の『レベ ルの低いクラスメイト』 は島田さんがもう

手を打っているでしょ」

- 「あ、召喚大会.....」
- そう。 そこで優勝できれば、 Fクラスでも上位クラスと渡り合え
- るクラスメイトがいる、

という証明になる。それと、 二つ目の『老朽化した教室』だけど、

これは学園長に頼むしかない」

- 「それって難しくない?」
- 「いや、ここは教育機関だ。 いくら教育方針で設備に差をつけると

いっても、

勉学に支障をきたすならば改善する義務があるはず。 ていうのが僕

の考えなんだけど、

やっぱり僕だけじゃ一つ目のクリアは難しい」

- 結局は雄二を連れてこないといけないってことだね」
- そういうこと」
- 「アキ……瑞希が転校とか、嫌だよね?」

島田さんが聞くけど、 なんか他意があるような聞き方だ。

- もちろん嫌に決まってる! それが美波や秀吉であっても!
- 「アキ....」
- 明久? それって僕は転校してもいいってことかな?」

んだから転校なんていやだ!」 そういう意味じゃないよ! 蓮だってせっかく友達になれた

やっぱり明久らしい。 こういうところがもてる理由なんだろうね。

そういうことならなんとしてでも雄二を焚きつけてやるさ!

ワシもクラスメイトの転校と聞いては黙っておれん!」

「なら、まずは雄二に連絡を取らないとね」

明久が携帯電話を取り出して電話をかける。

「あ、雄二? え、ちょっと雄二?」

「どうしたんじゃ明久?」

「なんか『見つかっちまった』とか、  $\Box$ かばんを頼む』とか言って

ţ

霧島さんだね....

ちょっと美波! そんな使えないな、 見たいな目で見ないで!」

でもこれじゃ、坂本と連絡を取るのは難しいわね」

「いや、これはチャンスだ」

明久、どう見てもチャンスには見えないんだけど」

雄二を喫茶店に引っ張り出すにはちょうどいい状況なんだよ。  $\equiv$ 

人とも、協力してくれる?」

「それは別にいいけど、どうするの?」

人の考えを読めるのは雄二だけじゃないってこと」

「何か考えがあるようじゃの」

「まあね」

それなら僕も協力するけど、どうしたらいい?」

僕らに作戦を伝えた後、 明久はどこかへと去って行った。

さてと、 この後は明久から電話があるまで待機、 でよかったよね

'۔

「うむ」

「といっても、何かするのは木下だけだけどね」

今回の作戦は、 簡単に言えば雄二を脅すものだ。 その為に電話口で

秀吉が霧島さんの

声真似をすることになっている。

待機すること十数分。秀吉が持っている携帯電話に着信が入った。

· .....雄二、今何処?」

やっぱり秀吉の声帯模写は完璧だ。 面と向かって言われても気づか

ないくらいだし。

「人違いです」

すごい勢いで電話が切られた。

雄二に殺されかけてる明久が目に浮かぶ。

秀吉、 島田さん、 ちょっと明久が危なそうだから迎えに行ってく

るよ」

明久は確か体育館に向かったはずだ。

体育館に向かっていると、 した。 二階の空き教室から明久と雄二の気配が

「明久、生きてる?」

「ああ、 今から明久を殺そうとしていたところだが.....

お前も一枚噛んでたのか?」

雄二が鋭い目つきで僕に問いかけてくる。 「雄二、僕がそんなことに.....協力しないわけないじゃないか!」 一目で怒ってると分かる。

僕個人的には雄二は早く観念して霧島さんと結ばれるべきだと思う。

「そうか、なら.....お前からだあ!」

雄二が殴りかかってくる。

「甘いよ、雄二!」

雄二の右手を取り、 雄二が窓際まで吹っ飛び、 そのまま腰をひねって投げ飛ばす。 窓ガラスが大きな音を立ててゆれた。

「ここに誰かいるの?」

僕は最近何故か良く木下さんに会うし、絡まれるし心臓に悪い。 空き教室のドアを開けて入ってきたのは我が天敵、 木下さんだ。

「吉井君に坂本君.....鮎川君までどうしてここにいるのかな?」

ものすごい笑顔で木下さんが聞いてきた。

何故彼女はこんなに怒っているんだろう。

「れ、蓮! 頼まれた物は渡したから僕は行くね

「ああ。蓮また後でな!」

そういい残してすごい勢いで去っていった明久&雄二。

ものすごく嫌な予感を感じるのは気のせいじゃない。

『頼まれたもの』? 鮎川君は何を頼んだのかしら?

まず、なぜ木下さんが明久と雄二を追いかけていたのか聞かせて

もらえませんでしょうか?」

「あの二人が女子更衣室に忍び込んでいたんだけど、まさか鮎川君

も一枚噛んでたなんてね.....」

「き、木下さん! 僕はあの二人から何も貰ってないし、 そもそも

あの二人が

女子更衣室にいたことすら知らなかっ たんですが?」

「こんな状況でそんな言い訳が通じると思うの?」

ハハッ......今日が僕の命日のようだ。

## 第十八問)人は想像以上に打算で動いている。

清涼祭アンケート

『喫茶店を経営する場合、 どのような服装をするのが良いでしょう

姫路瑞希の答え

『可愛いエプロン』

教師のコメント

えです。 いかにも学園祭らしいですね。コストもかかりませんし、 良い考

土屋康太の答え

『スカートは膝上15センチ、 胸元はエプロンドレスのように若干

の強調をしながらも品を保つ。

色は白を基調をした薄い青が望ましい。 トレイは輝く銀で照り返し

が得られるくらいの物を用意し、

裏にはロゴを入れる。 靴は5センチ程度のヒールを...

教師のコメント

裏面にまでびっしりと書かなくても。

鮎川蓮の答え

『迷彩服』

教師のコメント

君は喫茶店で何をするつもりなんですか?

『ブラジャー』吉井明久の答え

ブレザーの間違いだと信じています。教師のコメント

明久&雄二に売られ、 ン地獄にいた。 十数分。 僕はいまだに木下さんのサブミッシ

うううう ちょ、 木下さん、 Ų 死ぬ、 それ以上やったら死んでしまう

もう限界に近い。早く脱出しなくては命が危ない。

「じゃあ、許してほしいんだ?」

こは素直に相手に合わせたほうがいい。 許してもらわないといけないようなことをした覚えはないけど、

「は、はい」

「じゃあ....」

あ、マズイ。この間はマズイ気がする。

そう、何か交換条件を言い渡されるような.....

「じゃあ、アタシのこと、名前で呼んで。 アタシも蓮って呼ぶから」

「な、なんでえええええええ!」

全部言う前に関節に痛みが!

「 何 ? 秀吉は名前で呼んでるくせに、 アタシのことは名前で呼ん

でくれないの?」

まず、 何処にも名前で呼ぶ要素が見当たりません

て、 んというか」 でも……女の子を名前で呼ぶのには抵抗があるというか、 な

別に何か特別な意味があるわけじゃない わよ

そ、 それに、 アタシだって結構恥ずかしいんだから..

木下さんが赤面しながら僕の腕を極めている! ようやく僕の腕が苦痛から開放される。 分かった! 分かったからもう放して!」

空気がする空間が出来上がっていた。 僕が腕の痛みから立ち直ると、空き教室に僕と木下さんの二人が 向かい合って座っているという、少々奇妙というか、気恥ずかしい

ね 「じや、 'n 蓮 ? 」 じゃあ、 アタシのこと、これから名前で呼ぶことでいいわ

言ったはいいけど絶対顔赤いよ僕!「分かったよ.....ゆ、優子」

木下さんも顔赤くて変な雰囲気になってるし。

じゃあ僕はクラスの展示物の打ち合わせがあるから。

「うん。じゃあね蓮」じゃあね木……優子」

もちろん明久と雄二には〇 木下さんもとい優子と別れ僕はFクラスに向かった。 H A N A SHIしないと。

F クラス

僕がFクラスに着くと、 込んでいた。 雄二&明久は島田さん、 秀吉と一緒に話し

「.....雄二、見つけた」

ギッと、 雄二は話しかけられた瞬間にビクウッ! 雄二の死角から気配を消して霧島さんの声で話しかける。 と大きく反応して、 ギギ

「な、何だ蓮か。脅かさないでくれ.....」

「とりあえず僕に何か言うことは?」

「あ、ああ。さっきは生贄にして悪かった」

「よろしい」

我ながら甘いと思う。 さっきの優子とのやり取りでちょっと気分が

浮かれてるのかな?

「明久....」

「ちょ、僕は雄二がいるところにいただけで元はといえば雄二の責

任なんだからね?」

「島田さん。 明久がさっき女子更衣室にいたらしい んだけど」

「れ、蓮! 何てことを言うのさ!」

「アキ? アンタウチ達が瑞希の心配してるときにそんなことして

たんだあ.....」

「み、美波様、雄二を捕まえるために仕方なくやっ たんですー

ど、どうかご慈悲をおああああああああああああああああああああ

ああああ!!」

明久への復讐完了。 島田さんのことだから生かさず殺さずで仕上げ

てくれるだろう。

. しかし、蓮の声真似は見事じゃったのう」

秀吉が声を掛けてくる。

「うん。人の真似をするのは得意だからね」

「どうじゃ? 演劇をする気はないかの?」

演劇も楽しそうだとは思うけど.....部長さんがね

「ま、前も言ったけど、 学校や周りに慣れるまでは部活は遠慮して

実際は生活費を稼ぐためにバイトしないといけないからだったりす

「で? 雄二は協力してくれるの?」

「ああ。 さっきまで島田から状況の説明を受けていた。

あるしな。 明久が大好き(・・・)な(・)姫路の(・)ため(・・)、 協力してやろう」 でも

明久は雄二の協力を取り付けられたらしい。 とか成功するだろう。 これで中華喫茶はなん

で、坂本? どうするの?」

姫路の転校か.....それだと設備だけでは不十分だな

「そ、それ蓮も言ってたよ.....」

明久が口を挟んでくるけど、まだ島田さんから受けたダメー ジが回

復してないみたいだ。

さすがに可哀想だからこれでさっきのことは水に流してあげよう。

お前らは今の状況を理解していると思って話を進めるぞ」 「さて、 本題に戻るが、俺が言ったことを蓮も言ってたってことは、

「うん。 については 「 あ あ。 それで、教室の設備のために中華喫茶を成功させたいんだ」 だが、それだけでは不十分だ。 レベルの低 いクラスメイト、

姫路と島田が召喚大会でいい結果を残せば何とかなる」

問題は教室の修繕、だよね?」

「そうだ。 こればっかりは学園長に直接掛け合ってみるしかない」

`じゃあ、ウチも行くわ」

俺たちに事情を話したと思われるからな。 姫路の事情を知っている島田が学園長室へ行ったら お前は残ってくれ」

僕たちは一路学園長室へ。

「ちょっと待って」

「蓮、どうしたの?」

学園長室から人の声が聞こえてきた。

『.....賞品.....として隠し.....』

勝手に.... 如月グランドパー

二人が言い争っているようだ。

「どうした?」

「いや、 学園長室の中から言い争うような声が...

「なら、学園長はいるんだね」

「ああ。 目的が中にいるんだ。 さっさと入るぞ」

明久と雄二がさっさと中に入っていってしまった。

「失礼しまーす」

「ちょ、明久つ」

「お主ら.....」

僕と秀吉の制止も何処吹く風と、 明久と雄二はずかずかと入り込む。

「本当に失礼なガキだねぇ。普通は返事を待つもんだよ」

た顔を持つ 部屋においてある立派な机に座っていたのは長い白髪に皺の刻まれ

文月学園の学園長、藤堂カヲルだった。

試験召喚システムの開発者でもあり、 システムの軍事転用に反対し

ている人物でもある。

話をするのもままならない......まさか貴女の差し金ですか?」 やれやれ、取り込み中だというのにとんだ来客ですね。 これ では

学園長と言い争っていたのは教頭の竹原先生のようだ。

あまり好きじゃない。 い目つきのクールな態度で一部の生徒からは人気らしいけど僕は

やれやれ、 取り込み中だというのにとんだ来客ですね。 これでは

話をするのもままならない......まさか貴女の差し金ですか?」 いといけな 「バカを言わないでおくれ。 いのさ。 何でアタシがそんなせこい手を使わな

負い目があるわけでもないのに」

「どうでしょうか。 学園長は隠し事がお得意のようですから」

当違いだよ!」 「さっきから言っているように、 隠し事なんてないね。 あんたの見

とにしておきましょう」 ..... そうですか。 そこまで否定されるのならこの場はそういうこ

を出て行く。 明らかに教育現場に似つかわしくない会話を終えた教頭が学園長室

じたけど。 最後に教頭が一瞬目を向けた場所を見てなにか引っかかることを感

**・んで、ガキ共、用件はなんだい?」** 

「今日は学園長にお話しがあって来ました」

のルールってもんだよ。 となら教頭の竹原に言いな。それと、まずは名前を名乗るのが社会 アタシは今、それどころじゃないんでね。 覚えておきな」 学校の経営に関するこ

「失礼しました。 俺は2年Fクラス代表の坂本雄二」

「僕は同じクラスの鮎川蓮です」

「同じくFクラスの木下秀吉じゃ」

るムッツリです」 そしてこちらの二人が.....2年を代表するバカと、 学園を代表す

雄二が、 明久とムッツリーニをちょっと失礼な方法で紹介する。

そうかい。あんたらが吉井に土屋かい.

ちょっと待って学園長! 僕らは一度も名乗ってませんよね」

「.....心外」

気が変わったよ。 話を聞いてやろうじゃ ない

「Fクラスの設備の改善を要求しにきました」

そうかい。それは暇そうで羨ましいね」

今のFクラスの現状は、まるで学園長の脳みそのように穴だらけ

隙間風が吹き込んでくるようなひどい状況です」

雄二のメッキがはがれはじめた。

「学園長のように戦国時代から生きているような老いぼれならとも

かく、現代の学生には

この状況は危険です。健康に害を及ぼす可能性が高いと思われます」

雄二の言動がだんだん通常時に近づいてくる。

「要するに、隙間風が吹き込むような教室の所為で体調を崩す生徒

が出てくるからさっさと直せ、クソババァということです」

「雄二が大変なしつムグゥ!!」

秀吉が謝ろうとしているのを僕が抑える。 交渉の途中で相手に謝る

のは愚の骨頂だ。

学園長のほうはなにやら考え込んでいるようだ。

「ふむ.....丁度言いタイミングさね」

「あの、学園長?」

なにやらつぶやいた学園長に、 明久が声を掛ける。

あんたらの言いたいことは良くわかっ たさね」

「じゃあ、直してもらえるんですね!」

明久が自分たちの要求が通ったと思い声を上げる。

「却下だね」

このババァをコンクリに詰めて海に捨ててこよう」

ここは僕も参加しておこうか。

明久、それじゃあ証拠が残る。 この学園には焼却炉があるんだから

そこに突っ込んで燃やしたほうがいいよ」

- 「お前ら、失礼だぞ!!」
- 「雄二が言えたことではないのじゃ」
- まったく、このバカ共が失礼しました。 ともかく理由を聞かせて

もらえますか?ババァ」

「そうですね。教えてくださいババァ」

「あんたらは本当に教えてほしいと思ってるのかね!」

学園長の怒りも、それなりにもっともだと思う。

理由も何も、設備に差をつけるのはこの学園の教育方針さね。 ガ

タガタ抜かすんじゃないよ、このなまっちろいガキ共」

「でも、それじゃ体の弱い生徒が.....」

「と、いつもなら言っているんだけどね、かわいい生徒の頼みだ、

こちらの頼みも聞くなら、相談に乗ってやろうじゃないか」

学園長はクロ確定だ。 教頭がらみで何かしらの問題を抱えているの

は確かだ。

となりで雄二も黙り込んでいる。

「その条件ってなんですか?」

「清涼祭で行われる召喚大会は知ってるね?」

「ええ。俺と明久で出ようと思ってました」

それは初耳だ。

「じゃ、その優勝賞品は知ってるかい?」

確か、トロフィ ا ك 白金の腕輪」 副賞に如月グランドパー

プレミアムペアチケット

だったと思う。

優勝賞品がどうかしたんですか?」

学園長が僕らに出した条件は優勝賞品の如月グランドパークの

プレミアムペアチケットの回収だった。

らうのもだめさね。 間違っても優勝者から強奪、 何てするんじゃないよ! 譲っ ても

あたしはアンタ等に召喚大会で優勝しろ、 と言ってるんだからね」

「俺と明久、蓮と秀吉でいいだろ」 「分かりました。 雄二、ペア分けはどうする?」

雄二は前回の召喚大会で一回も召喚してないから当然と言えば当然

だ。

「あ、 言い忘れてたけど鮎川は出場するんじゃないよ!」

「「どうしてですか?」」

僕と明久の声が重なる。

「アンタの召喚獣は刺激が強すぎるからだよ。

さきのAクラス戦でもアンタ、相手の召喚獣の頭を吹飛ばしたらし

いじゃないかい。

スポンサーも見に来る召喚大会でそんな戦いは見せられ な いさね

う~ん.....もっともだ。 召喚獣はデフォルメされてはいるけど人間

の形をしている。

その頭が消し飛ぶなんてあまり見せられる光景じゃ ない。

なら、 蓮が戦い方を自重すればいいんだなババァ?」

.....ま、まあそれならいいさね」

さっきの呟きとい い僕を出場させたがらないこととい い怪しすぎる。

よし、 それならさっき言ったようなペアで出るぞ」

「宜しく頼むぞ、蓮」

「うん。こちらこそ」

「用は済んださね?」

「いや、一つ頼みたいことがある」

「.....なんさね?」

の召喚大会は一回戦数学、二回戦英語.. といっ たように勝ち

進むごとに教科を変えてやっていくと聞いている」

「それがどうかしたさね?」

「組み合わせが決まったらその教科の指定を俺たちにやらせてほし

և

らいいさね」 「ふむ。点数の水増しとかだったら一蹴していたけどそれくらいな

学園長の発言で雄二の目が細くなる。

多分僕と同じことを考えていると思う。

「ここまでしてやるんだ。当然優勝できるんだろうね?」

「 当たり前だ。 俺たちを誰だと思っている」

「絶対に優勝して見せます。そっちこそ約束を忘れないように」

「明久たちには負けぬのじゃ」

「僕がいることを忘れないでよね?」

全員やる気はある。問題なく勝ち進めるだろう。

「それじゃ、坊主共任せたよ!」

こうして僕たちの召喚大会出場が決まった。

## 第十八問 人は想像以上に打算で動いている。 (後書き)

そろそろ、ストックがなくなってきたので

毎日、もしくはそれに近い間隔の更新が出来ない可能性が出てきま

した。

もちろん出来るだけ毎日更新していきますが、

更新できない日が出てきたときは暖かい目で見守っていただけると

幸いです。

更新が遅くなると宣言した途端に2日あいてしまいました。 すみません。

## バカテスト 現代社会

問『PKOとは何か説明しなさい』

姫路瑞希と鮎川蓮の答え

¬ P e a c e Keepin g O p e r a t i o n ( 平和維持活

動)の略

国連の勧告を元に、 加盟各国で行われる平和維持活動のこと』

教師のコメント

余裕があれば覚えておくといいでしょう。 acekeeping そうですね。 豆知識ですがUni O p e r а t t i o e d nとも呼ばれたりします。 Ν a t i 0 n S P

土屋康太の答え

スリー サイズを規定する下着メー P a n t s K o s h i -t u k i カーのこと』 O p p a i の略。 世界中の

教師のコメント

君は世界の平和をなんだと思っているのですか。

吉井明久の答え

『パウエル・金本・岡田の略』

教師のコメント

それはセ界の平和を守る人達です。

第十九問 内輪もめ。 謀略渦巻く清涼祭! ていうとカッコイイけど要するに

学園長との交渉を終え、 雄二たちが帰った後僕は学園長と話をして

- 学園長は何を隠しているんですか?」

が係わっている程度の問題で僕たちに協力を取り付けるはずがない。 まず目下の問題はこれだ。 この学園長がペアチケットに企業の陰謀

- 「何の話さね ? あたしは何も隠していないさね」
- 「ならどうして僕の出場を嫌がったんですか?」
- 別に、 アンタの戦い方が外部の人間に見せるに多少適さない だけ

やっぱり何か隠している。

さね」

僕は紙とペンを取り出し文字を書いてから学園長に見せる。

9 この部屋は盗聴されているのでここからは筆談で用件を話します』

『何時気づいたんだい?』

雄二とあなたが話しているときにちょっと調べてみたら盗聴の気配 教頭がこの部屋から出て行くときに植木鉢の付近を見てい ました。

がありました』

『まったく......あんたは本当に化け物さね』

いておきましょう。 『そんな化け物を入学させたのはあなたですよ..... 関係ない話は お

何 故 " 低得点者"に優勝してほしいんですか ?

雄一、 明久、秀吉の三人と僕の決定的な違いは点数。

雄二はちょっと予測できないけれど、 明久と秀吉は総合1 0 0点

行くか行かないかだ。

それに対して僕は4000点を超えている。

『本当に頭が回るね』

かもしれませんから そりゃどうも。 まあ、 本当の目的は僕が事前に聞くと影響がある

ば問題ないですね?』 良いとして......僕が決勝に進んだ場合は使う科目以外を0点にすれ

から』 雄二はもう気づいていますよ。 ......そこまで気づいているなら何故止めないんだい?』 それに.... あなたは一応恩人です

......それで良いさね。 くれぐれも他言は無用だよ』

7 了解.....あと、 盗聴器はそのままにしておきましょう』

『何故さね?』

曝すことになるかもしれません』 の行動を起こすでしょう。 その行動がFクラスのメンバーを危険に 盗聴器が外され れば教頭は自らの企みがばれたと思い、 何かしら

しまれないうちに 分かった。盗聴器はそのままにしておくよ。 用が済んだら怪

早く出て行くさね』

僕はそう書き残して部屋を出て行く。 分かりましたよ。 じゃ ぁ 召喚大会は期待していてください

清涼祭初日。 になった。 僕らの中華喫茶も雄二の指揮の下かなりまともなもの

店内 とは考えられない出来になっている。 の装飾もそれ なりのものになり、 あのFクラスの設備で作った

並べられたテー 何処からか持ってきたテーブルクロスをかけただけのもの。 「このテーブルなんて本物と見分けがつかな ブルはFクラスのみかん箱を並べて、 ١٠٫١ ょ

通りじゃ」 見掛けはそれなりになっ たがの。 その分クロスを捲るとこの

秀吉がテーブルクロスを捲る。

当然その下にはFクラスならではのみかん箱が鎮座しているわけで。

「これを見られたら、店の評判はがた落ちね」

はいないだろうし、 「大丈夫でしょ。 いちいち店のテーブルの下まで確認するお客さん

もし見られても心のうちに閉まっておいて貰えるって」

「そうですね。態々クロスの下をアピールする人はいませんよね」 おいおい姫路、 たかが文化祭で営業妨害する奴はいないって」

雄二の言うとおりだ。

そんなことしても何一つメリットはない。

思いのほかきれいにまとまった店内を、 いう希望で一杯の顔で見渡す。 姫路さんは成功するかも、

「..... 飲茶も完璧」

いつの間にかムッツリーニが加わっていた。

ムッツリーニ、厨房はどう?」

'..... 味見用」

そういってムッツリーニが差し出したのは小皿に盛り付けられた胡

麻団子。

゙おいしそうね。土屋、これ、貰っていいの?」

「......(コク)」

「では、遠慮なくいただこうかの」

言うが早いか秀吉がその中の一つを口へ運ぶ。

それに続くように姫路さんと島田さんも胡麻団子を頬張った。

お、おいしいです!」

本当! 表面はカリカリで中はモチモチで食感もい

「甘すぎないところも良いのう」

よほどおいしいのか、三人とも目を細めて幸せそうな表情をしてい

「それじゃ、僕も貰おうかな」

「 僕 も」

明久に続いて僕も皿に残った胡麻団子を口に入れる。

味わいがとっても..... 「ふむふむ。 表面はゴリゴリで中はネバネバ。 甘すぎず辛すぎる

ンゴパッ!!」」

胡麻団子にはありえないような味に、 僕と明久は天に召されたのだ

「......それは姫路が作ったもの」

「知ってたなら止めてよ!」

تے ! 「そうだよ! 僕も明久も危うく天に召されるところだったんだけ

改めて姫路さんの料理の威力を思い知らされた。

そこへ何も知らない雄二が帰ってきた。 うーっす。 帰ってきたぞ.....明久と蓮はどうして震えてるんだ?」

「あ、雄二お帰り」

「えっと、これはね」

ん ? なんだ、美味そうじゃないか。 どれどれ

雄二は皿に残った"明久の食べかけ"を躊躇なく口に運んだ。

`......大した男じゃ」

「雄二、君は今最高に輝いているよ」

「人の話は最後まで聞こうね?」

「 . . . . . 合掌 」

ンゴパッ!!」 ゴリゴリで中はネバネバ。 ? お前らが何を言ってるのか分からんが..... 甘すぎず辛すぎる味わいがとっても... ふむふむ。 表面は

あ、なんか既視感。

「雄二、大丈夫?」

明久が雄二を突きながら聞く。

「ああ。何の問題もない」

良かった。雄二も大丈夫だったみたいだ。

「.....あの川を渡ればいいんだろう?」

「「だめだ雄二! その川を渡ったら戻れなくなっちゃうー

思わず声が重なる。

明久が雄二に必死に心臓マッサージ。

もちろんちょっと遠くで話している姫路さんたちに怪しまれないよ

うに

口では「雄二起きろ~」なんて軽い言葉を吐いている。

「六万だと! 八ッ ! バカを言え! 普通渡し賃は六文と相場が決まって

こうして尊い命がまた一つ救われたのです。

ところで雄二は今まで何処へ行っておったのじゃ?」

「ああ。ちょっと話し合いにな」

ということは学園長に科目の指定をしてきたところだろう。

ちなみに作戦なども雄二任せなので科目も雄二に一任してある。

ご苦労様。喫茶店はいつでもいけるよ」

「ばっちりじゃ」

「.....お茶と飲茶も大丈夫」

唯一 る の心配事は姫路さんが本当に厨房に立たないかということであ

僕たちはともかく、 お客さんの口に入ったら.....考えたくない。

俺たちは先に 少し の間喫茶店は秀吉と蓮、 ムッツリー 二に任せる。 明 久 、

一回戦済ませるぞ」

「あれ? 坂本君と吉井君も召喚大会に出るんですか?」

「うん。あと、蓮と秀吉も出るって」

「折角だしね。 秀吉と雄二は召喚経験が少ないから僕と明久でその

サポー トをするんだって」

うだ。 僕も経験は少ないけれど、点数がある程度あるから何とかなる。 島田さんは姫路さんのために、ということを知っているので嬉しそ

ちなみに、 う緘口令が敷かれている。 学園長からは" チケットの裏事情は誰にも話すな" とい

姫路さんが聞く。 「もしかして、賞品が目的なんですか?」 賞品が賞品だから気になるよね。

「う~ん。そういうことになるかな」

チケッ トが目的といえば目的だけど、 ちょっと意味は違う。

「……誰と行くつもりなの?」

「え?」

私も知りたいです! 吉井君、 誰と行くのか教えてください

島田さんの目が一気に攻撃色を帯びる。

姫路さんまで明久に詰め寄った。

「え、ええっと.....」

明久は答えにくそうだ。

もともと誰かと行くつもりはないんだから当然といえば当然だね。

「明久は俺と行くつもりなんだ」

「待て! 雄二!」

突っ込みたい。突っ込みたいが、ここで出て行くと僕にまで雄二の

間の手が及びそうだ。

すまない明久! 君のことは忘れない.....多分。

「ちょっとアキ! どういうこと!」

「吉井君、男の子なんですから女の子に興味を持ったほうが..

明久がすごい勢いで誤解されていく。

「それが出来れば明久だって苦労はしないさ」

「雄二、もっともらしくそんなこと言わないで! ぜんぜんフォロ

ーになってないから!

それと蓮!なんか言ってよ!」

「僕は男色家じゃないんだ」

「蓮のバカ野郎・・・

もうここまできたら巻き込まれないようにするので精一杯だ。

「っと、そろそろ時間だ。行くぞ、明久」

「っく、と、とにかく誤解だからね!」

もう既に色々と手遅れになっている気がする。

明久と雄二が出て行った後。

「さて。僕たちも行こうか」

「そうじゃの」

「あの、鮎川君、木下君」

僕たちも召喚大会に行こうと思っていたところで、 姫路さんに声を

掛けられた。

- 「どうしたの、姫路さん?」
- 鮎川君と木下君はチケットはどうするつもりなんですか?
- 特に使い道もないから売るか、 誰かに譲るつもりだけど、まずは

姫路さん達も」

「そ、そうですね。頑張りましょう!」

召喚大会に勝たないとね。

- 危なかった。
- 「見事じゃったのう」
- 「秀吉も見てるだけじゃなくて何かフォローしてくれれば良かった
- 「お主ほど上手くあしらえる自身はなかったのでな。
- それにしても、姫路もだいぶFクラスに染まってきたのう」
- 僕らには召喚大会の勝敗よりも姫路さんたちの壊れ具合のほうが心
- 配だったりする。

召喚大会一回戦。 召喚大会はスポンサーへのアピー ルの目的もある

カ

それだけに良い試合を見せなくてはいけない。

そのため二回戦までは校内の人間だけの後悔に限られている。

く三上美子さんだ。

僕と秀吉の一回戦の相手は、

Eクラス代表の中林宏美さんと、

同じ

「あら。私達の相手はFクラスコンビみたいね」

中林さんが対戦表を見ながら言う。 次になんていうかは予想できる

楽勝ね」

けど....

秀吉、 召喚獣の練習にはちょうどいい相手だから、 頑張ってね」

実際ちょうどいい。

「はいはい」「何よ!」Fクラスの分際で生意気だわ!」

· はいはい」

# 中林さんは独りでにヒートアップしてるけど放っておこう。

「「「試験召喚」」」」では、始めてください」

先生の合図で一斉に召喚する。

僕の召喚獣はいつも通りの剣とよく分からない左手。

秀吉の召喚獣は着物に長刀を装備している。

僕達に相対する召喚獣は、

中林さんが野球のプロテクターにバットとグローブ。

三上さんが白いローブに分厚い本を装備した出で立ちだ。 どうして

本で戦えるんだろう。

数学 F クラス 鮎川蓮&木下秀吉×sEクラス 中林宏美&三

上美子

03点&69点 V S 94点&88点

ᆸ

何よその点数は!」

僕と数学で当たったのが運のつきだったね

別に数学以外でも負けないけど (保健体育以外)。

「じゃあ、 秀吉、そっちの三上さんの召喚獣の相手をしていて。

危なくなったら手伝うから」

僕は中林さんの召喚獣の前に立つ。 秀吉が三上さんと戦ってい る間、

邪魔されないようにしないと。

「点数だけじゃ勝負は決まらないのよ!」

さっきはFクラスの点数をバカにしたのに今度は点数だけじゃ決

まらない、 ねえ?」

うるさいっ!」

中林さんの召喚獣が突っ 込んでくる。

取り敢えず黙って」

倒してしまわないように注意しながら、 バッ トだけを斬る。

大いに驚いている中林さんから目を離し、 秀吉のほうを見てみると、

「八ッ、ホッ、八アッ!!」

三上さんの召喚獣と一進一退の攻防を繰り広げてい た。

点数は三上さんのほうが有利だけれど、 秀吉は前回の試召戦争の経

験から

三上さんと互角に渡り合うことが出来ている。

「無視すんな!!」

中林さんの召喚獣が、殴りかかってくる。

ちゃんと注意してるよ。 それに不意打ちしたいなら声は出しちゃ

だめだよ」

殴りかかってきた腕を取って壁に向かって投げ飛ばす。

僕の点数の召喚獣は思いのほか力が強く、 中林さんの召喚獣は壁に

すごい勢いで衝突した後、消えてしまった。

「セイヤアッ!」

秀吉も三上さんの召喚獣を切り伏せて、 僕らの勝ちに終わった。

勝者、Fクラス鮎川、木下ペア」

先生の勝ち名乗りも受け、 僕達は空けてしまった喫茶店へと戻った。

## 第二十問 クレームと逃走と召喚大会二回戦! (前書き)

自分の筆の壮絶な遅さが恨めしい作者です。

今後も、 います。 自分の予想以上に嬉しいものです。 話は変わりますが、初めて感想をいただきました。 より楽しんでいただけるようなお話を考えて行きたいと思 ありがとうございました。

#### 第二十問 クレー ムと逃走と召喚大会二回戦

#### 清涼祭アンケート

問 『喫茶店を経営する場合、ウエイトレスのリーダーはどのよう

に選ぶべきですか?

[ ?可愛らしさ ?統率力 ?行動力 ?その他

また、そのときのリーダーの候補も挙げてください』

#### 土屋康太の答え

『?可愛らしさ 候 補 : .... 姫路瑞希&島田美波』

#### 教師のコメント

甲乙つけがたいといったところでしょうかね。

#### 鮎川蓮の答え

9 ?統率力 候補.....島田美波』

#### 教師のコメント

クラスでの話し合いではリーダーシップを発揮したそうですね。

#### 吉井明久の答え

島田美波』 『?可愛らしさ 候補..... 姫路瑞希 (訂正)、 木下秀吉(訂正)、

#### 教師のコメント

用紙についている血痕が気になるところです。

#### 坂本雄二の答え

教師のコメント

うか。どうしてAクラスの霧島さんが用紙を持ってきてくれたのでしょ

僕と秀吉は、 てきていた。 召喚大会一回戦を終わらせると、 すぐに喫茶店に戻っ

こんなテーブル で人に物食わせてんのかよ!

喫茶店から叫ぶ声が聞こえる。

「どしたの?」

あっ! 鮎川、 あいつ等を何とかしてくれない? 営業妨害よ

<u>.</u>!

僕が思わず声を上げると、 島田さんが近づいてくる。

「何があったの?」

姫路さんの転校阻止がかかっている分、島田さんの怒りは平常時の 中にいるお客さんに聞こえるように大声で話し始めたのよ!」 知らないけど、いきなりあの二人がテーブルのクロスはがし

取り敢えず、雄二が帰ってきたらすぐに連れてきて。 あと、

5割増しになっている。

は ... ...

秀吉に耳打ちをする。

用意できんこともないが、 あっても二つ程度じゃぞ」

構わないよ。それじゃあ宜しく。 僕はあの二人と話してくるから」

まったく、 責任者はいないのか! このクラスの代表は

代表はただ今召喚大会で不在ですので、 代わりに私が承ります」

「なんだてめぇ?」

この2・Fの代表代理、 とでもお考えください

そうか、 ならこの机はどういうことだ! 汚ねえ机に食い 物はま

りし、

どうなってんだこの店は!」

声が上がる。 目の前の坊主が大声でまくし立てると、 店の中からそれに同調する

のです。 この机に関しましては、 こちらの手違いにより急遽使っ てい

本来の机が届き次第、そちらに入れ替えて営業いたします。

料理の味のほうですが、 持ってお客様にお出ししております。こちらと致しましても、 などといわれるのは心外なのですが?」 私どもは味見と衛生管理をした上で自信を まず

机に関しては嘘だ。 この場合はこうするしか切り抜ける方法はない

雄二が来たらまた調達に行けばいい。

出されると迷惑だって言ってんだよ!」 そんなことで納得できるか! とにかくこんな汚い店を学園祭で

迷惑だと思うのですが?」 お客様の迷惑を考えずに、 大声で怒鳴り散らすあなた方も相当に

「なんだとっ!」

坊主頭が僕に殴りかかってくる。

僕が殴り飛ばされたのを見て、 僕はその拳をあえて避けずに、 るような目で見る。 お客さんは坊主とモヒカンを非難す 打点をずらしながら殴り飛ばされる。

で個人的にお話しよう。 僕にさも「自業自得だ」 的な視線を向ける奴がいるので、 後

か? お客様、 このような公の場で暴力行為とはどういうことでしょう

ける。 いつの間にか雄二も近くに来ていて、 「こんな大勢の前でやったんだ。 言い逃れは出来ねえよな? 威圧するような声を二人に向

たい店員の教育も出来ねえのかよ!」 これはそのウエイトレスの態度がむかついただけだ! だい

「ウエイトレス?」

題だ。 坊主が苦しい言い訳を並べてくるが僕にとっては最初の言葉が大問

だけど、 僕は女の子って思われてるとしたら...

うな方なのですね?」 「それではあなた達はムカついたから、 という理由で女性を殴るよ

それを利用させてもらおうか。

る 僕の言葉に店内からは一層冷たい視線が坊主とモヒカンに突き刺さ

この隙に雄二が迷惑コンビを脅す。 「うちの店員に手を出しておいて、 無事で帰れるなんて思うなよ

「う、うるせぇ! 俺達は客だぞ!」

「そうですか『グヘェ』」

雄二がモヒカンを殴り飛ばす。 そうですか、 解禁ですか。

「あなたはどうしますか?『ブベラッ』」

僕も坊主を殴り飛ばす。

「お、お前ら、何の真似だ!」

それは私どもの『パンチから始まる交渉術』 に対する冒涜ですか

すごい台詞だ。

それ以上に、これだけやってまだ交渉しているつもりなんて。 「パンチから始まる交渉術」 なんて言葉も聴いたことないけれど、

「ふ、ふざけるなよ手前ら.....グフォッ」

ちなみに坊主は宙に舞った後床に倒れて悶えている。 坊主がまたしゃべったので、 僕がアッパー カットを入れておいた。

次に『キッ クでつなぐ交渉術』 です。 最後には『 ス技で閉

める交渉術』

か待っておりますので」

「わ、分かった。もう十分だ退散させてもらう」

「そうか、ならこれでおしまいだっ!!」

そういって雄二がモヒカンの腰に手を回す。

ちょっと待て、もう帰ろうとしているのにそんな大技を....

アア!

「じゃあ、僕も.....」

「ま、待ってくれ! 反省しているからもうグフアッ

皆まで言わせずに坊主の首に足を掛け、 体重移動の勢いで投げ飛ば

した。

いわゆる首投げ、という奴だ。

「な、夏川!」

雄二にバックドロップを掛けられて悶絶していたモヒカンのほうが、

僕に投げ飛ばされた坊主を見て叫ぶ。 あの坊主は夏川とか言うらし

l į

クソッ・てめえら覚えてろよ!」

モヒカンが気絶した坊主を背負って店から出て行く。

最後の覚えてる、 て言う台詞は忘れていいって相場が決まっている

から忘れよう。

こうして常夏コンビ (雄二命名) による営業妨害は幕を閉じたわ け

だが、

それでも迷惑コンビが店に及ぼした影響は大きく、 既にお客さん の

何人かは席を立って移動しようとしている。

あっお客さん!」

明久が必死で客を呼び止めようとしている。 座っていた客の中で一

番最初に席を立ったのは紛れもない教頭だったりする。

あの教頭が常夏コンビに一枚噛んでいると見てよさそうだ。

雄二

『なんだ』

お客さんに聞かれないように雄二とアイコンタクトで意思の疎通を

雄二が声を上げるのとほぼ同時に、秀吉とFクラス数名がきれいな テーブルを運び入れた。 たった今本来のテーブルが到着しましたのでご安心ください」 いたために暫定的にこの様なものを使ってしまいました。ですが、 お客様、 失礼しました。 此方の手違いでテーブルの到着が遅れて

た。 新しいきれいなテーブルに入れ替えることでこの場は何とか収まっ

な 助かった。 あらかじめテーブルを用意していてくれるとは

たからね。 「常夏コンビだっけ? そいつらが汚いとか言ってたのは聞こえて

けじゃ 少なくてもきれ 「でもどうするの? いなテーブルを用意しておいたほうがい 秀吉が持ってきてくれた演劇部のテーブルだ いと思って」

喫茶店には足りないと思うんだけど」

明久が聞いてくるがそれは心配無用。

「それについては考えがある」

「そうなの?」

「蓮、お前達次の試合は何時からだ?」

大体11時過ぎくらい の予定だから小 時間あるかな」

「よし、ならお前も手伝え。明久行くぞ」

「何処に行くの?」

「「もちろん、テーブル調達だ」」

それってまさか!」

僕と雄二、明久はただ今教師に追い掛け回されている途中である。 達できるわけなく、 もちろん清涼祭が始まっているので、まともな方法でテーブルが調 こら、 坂本君に吉井君、 鮎川君まで、 待ちなさい!」

ぞ!」 応接室からテー ブルをパクッて、 「明久、もっとスピードを出せ! 現在運んでいるところなのだ。 つかまったら生活指導室行きだ

「鉄人の根城!? 冗談じゃない!!」

「現在の状況が分かったら全力で走る! 先生はそんなに早くない

から!」

追ってきている化学の布施先生は運動不足なのかそこまでのスピー ドはない。

「どうして机を背負ってそんなに早く走れるんですか.

こうなったら西村先生に応援を」

布施先生はそうやって携帯電話を取り出す。 マズイな。

机を背負って鉄人こと西村先生から逃げ切るのは至難の業だ。

「明久!!」

「おうよっ雄二!」

合わせたようだ。 鉄人乱入を阻止する手段を考えていると、 明久と雄二が何かを示し

右手、 雄二がそれを空中で蹴り、 明久が自分の上履きを脱ぐと、 蹴った明久の上靴はそのまま布施先生の そのまま雄二に向かっ て蹴

「流石雄二!」正しくは手に持った携帯を寸分違わずに弾い

た。

「雄二! 連絡は!」

運んでくれるらしい。 教室に運んでくれる手はずになっている」 Fクラスの別働隊、 「この先の空き教室に机を置いていくぞ! 回収部隊が僕達がかっぱらった机を喫茶店まで そこからは回収部隊が

「八ア、 「仕方ないでしょ。 蓮はともかく僕と雄二はいつか停学になる気がするよ」 次は職員室そばの休憩室を攻めるぞ!」 机を手に入れるにはこれしか方法がないんだか

汚れたテーブルは新しいテーブルへと全て入れ替えることができた。 こうして、僕達の必死のダッシュのおかげか、 Fクラスの悪評の元、

そして次は召喚大会二回戦。

「雄二、次の教科は英語でよかったよね?」

ああ。 お前の点数なら誰が相手でも何とかなるだろう?」

「英語ならね。それより、雄二と明久は大丈夫なの?」

ああ。 問題ない。 次の対戦相手はあのカップルだからな

あのカップルといえばおなじみ卑怯者とヒステリックさんです。

あの二人、 特に根本もとい外道はFクラス(特に雄二と僕)に弱み

を握られている。

汚い手も容赦なく使う雄二のことだ、 外道は悲惨な末路をたどるだ

そして二回戦

ここでもBクラスと当たるなんて。僕と秀吉の相手は3年Bクラスのペア。

変わらないのに。 この二人は更にムカつく。 なんだろう。 当たり前だろ。 なんだ? 相手は2年でしかもFクラスかよ? 一回戦の中林さんも結構イラっとしたけれど、 俺達のコンビの前に敵はいない 3年はテストが難しいから2年と条件は いっての」 楽勝だな」

「それでは、始めてください」

「「「試験召喚」」」」

先生の合図で四人全員が召喚獣を呼び出す。

僕と秀吉の召喚獣はいつもどおり。

敵さんの召喚獣は、 最初に2年Fクラスをバカにした短髪が

特攻服にハンマー。

相方の髪にウェーブがかかったセミロン毛男が西洋風の鎧に剣だ。

僕も秀吉も召喚獣が防具をつけていないことからこんな台詞が出て くるんだろう。 流石最低クラス、 召喚獣の装備も貧弱だなあ

てか、 アンタの召喚獣も防具つけてないでしょ

「そうやって舐めてると足元すくわれますよ、 ţ ン パ、

続いて彼我の点数が表示される。

『英語 2年Fクラス 鮎川蓮&木下秀吉

633点& 79点

V S

3年Bクラス 鯖島健&石田爽一

167点&201点

6

『なにっ!』

僕の点数を見て会場全体がざわめく。

なんて夢にも思ってない 600点なんて教師並みの点数らしいからFクラスの生徒が取れる

だろうから。

「て、てめえみたいな奴がなんでFクラスに!」

「その台詞はもう聞き飽きました。 じゃあ、 さよなら先輩」

に反応できていない 召喚獣を鯖島とかいう先輩の下に走らせ、 動揺と点数差からまとも

先輩の召喚獣を一閃する。

『英語 鮎川蓮VS鯖島健

ᆸ

悪運が強いのか、 両断されるすんでのところで防御されてしまった。

もう一人のほうは、

だが、

もう点数は無きに等しい。

「くっ、意外としぶといな」

秀吉が粘ってくれている。

秀吉の点数ならすぐに方が着くと思っていたのだろう。

だけど、 相手も三年生。 点数はおろか召喚獣 の扱いでも石田先輩の

ほうが上だ。

英語 木下秀吉 > 5石田爽一

8点Vs188点

Ь

「くつ、蓮!」

「りょーかーい」

やられそうになっている秀吉のもとへ走る。

石田先輩は僕が援軍に来ることも想定していたようで、 短髪よりも

反応が早い。

だが、彼我の点数差は3倍以上。

突き出される相手の剣をいなして、 左手で切り裂く。

体勢が崩れたところに右手の剣を突き出し、セミロン毛の召喚獣は

消滅した。

達の勝利となった。 ようやく此方に追いついた短髪の召喚獣もあっという間に沈めて僕

更新も急激に間が空きだしましたね。 最近、何かを続けるのはとても難しいと身をもって実感しています。

努力します.....

#### バカテスト 化学

問『ハーバー法と呼ばれる方法にてアンモニアを生成する場合、 いられる材料は塩化アンモニウムと(゜)である』 用

姫路瑞希の答え

『水酸化カルシウム』

#### 教師のコメント

内容なので、 正解です。 確実に覚えておいてください。 アンモニアを生成するハーバー 法は工業的にも重要な

#### 鮎川蓮の答え

直接反応させてアンモニアを生成する手法である』 『ハーバー法とは、 400度~600度の高温下で、 窒素と水素を

#### 教師のコメント

ですが、 ったです。 どうやら、 できれば塩化アンモニウムと反応する物質も書いてほしか 問題の記述に誤りがあったようですね。

#### 土屋康太の答え

『塩化吸収剤』

#### 教師のコメント

勝手に便利な物質を作らないように。

『アンモニア』吉井明久の答え

それは反則です。教師のコメント

りするけど結局頭悪い人ばかりだよね。 第二十一問 物語に出てくる悪役って、 色々な策をめぐらせていた

教師くらいじゃろ」 しかし、 蓮の英語は流石の点数じゃの。 それ点数に勝てるものは

はあるし」 その辺の教師には負けたくないけどね。 それに僕にも苦手な教科

「あれかの?」

「あれです」

あれ、というのはもちろん保健体育のこと。

ないんだけどね。 ただ苦手なんじゃなくて僕はある理由で保健体育の内容を覚えられ

その理由は万が一機会があれば。

鮎川蓮君だね?」

僕に声を掛けたのは今回の清涼祭での第一級要注意人物、 というか僕の見立てでは黒幕の竹原教頭だった。 秀吉とFクラスに戻る途中で、後ろから声を掛けられた。 「はい。僕が鮎川蓮ですが、何か用ですか、 教頭先生?」

おいて」 秀吉、 召喚大会の件で少し話しがある。 僕は教頭先生と話してから戻るから、 時間は大丈夫かね?」 先に喫茶店に帰って

秀吉に先に戻らせる。 分かったのじゃ。 お主も遅くならんようにの」 これで僕と教頭の2人だけがここにいる。

「......付いてきなさい」

教頭は短く僕にそういうと一人で歩き始めた。

終始無言に見えるけれど、 これが学園長の.....」

「捨て駒にはちょうどいい」 とかぶつぶつ独り言を言ってる。

特に二番目は気にくわない。僕を捨て駒扱いか。

「入りたまえ」

通されたのは教頭室。

教頭は僕を無視してさっ さとソファ に座ってしまった。

「話ってなんですか?」

「まずは座りたまえ」

そういわれて、僕もソファーに腰掛ける。

「それで話というのは?」

まあ、そう急かさないでくれないか」

「僕はクラスの出し物もあるので、 出来れば手短にお願いしたい の

ですが」

ふむ.....ならば単刀直入に言おう。 君 私の下に付きなさい

「単刀直入ですね」

「君にはもう察しが着いているのだろう?」

「隠す気はない、ということですね?」

「まあ、そういうことにしておいてくれ」

「それで?」下に付け、とは?」

ああ。 簡単なことだよ。 この清涼祭期間中、 私の命令に従って動

いてくれればいい」

うか。 教頭は僕が一般性とのカテゴリに入っていることを知らない

一般生徒とこんな取引のようなことをするなんて教育者として失格

だ。

しませんよね?」 まさか、ただでこんな危険性のあることを生徒にやらせようとは

る上で 「もちろんだよ。 君が私の下についてくれるならば、 学校生活を送

A クラスにも あらゆる君への高待遇を約束しよう。 君の本来の振り分け先である

入れるように手配しよう」

鎌をかけただけのつもりだったのだが、 べらべらと話してくる。 教頭はまったく気づかずに

あなたにも都合が悪いはずですが?」 教頭先生の目的はなんですか? こういった取引は表沙汰になれば

「ふふ、聞いたとおり聡明だな。 私の目的か、 そうだな、

『駒を最適なところに置く』かな」

なるほど。

こいつは試験召喚システムが目的か。

それも、誰かに雇われているのだろう。

成る程。 大体の条件は分かりました。 確かに僕にとってはい い条

件のようだ」

「そうか、ならば」

「お断りします」

つ !

な、何故だね!

僕は自分ひとりのためにその他大勢、 今回はこの文月学園全体を

危険に曝すことはしたくないんですよ。 それに.....」

「それに、何かね?」

「僕はそれなりにFクラスが気に入ってますし」

· だが、私の計画が成功すれば」

『文月学園は乗っ取られる』もしくは『文月学園はつぶれる』 で

すか?

そんな大それた事あなたに出来るわけないでしょう?

それに、 人を捨て駒扱いするような人間に付いていけるほど甘い環

境で育ったわけではないので」

捨て駒発言。 驚いている。 教頭はこれを聞かれているとは思わなかったのか大層

だ! 何故それを聞いている! 君は私から10 m以上離れていたはず

普通の学生ならあの距離の独り言など聞き取れるわけが な

「まあ、 "普通の学生なら" 聞き取れないでしょうね」

「な、なら君は」

「はい、 今日はそこまでにしましょうか。 僕もクラスに戻らないと

いけないので」

るよ」 くっ ... まあいいだろう。 だが、 私の誘いを断ったこと、

教頭が言い終わる前に部屋を出て行く。

そのときの僕はきっとこう呟いていただろう。

そういう台詞は死亡フラグだぜ、三下」

僕はFクラスの喫茶店に戻ってきた。

「あ、お帰り蓮」

明久が声を掛けてくる。

「ただいま。って、皆どうしたの?」

僕が入ってこなかったほうの入り口近くでFクラスの皆が人垣を作

っている。

ちゃって」 「うん。なんか小さな女の子が来て、 皆そっちにかかりきりになっ

なんともFクラスらしい理由である。

いうかあいつらは女なら年は関係ないのか?

「で? 探してる人はどんな人なんだ?」

「はい。バカなお兄ちゃんでした」

とんでもない会話が聞こえてくる。

雄二が皆を見回す。 "バカなお兄ちゃ という特徴に当てはまる

人を探しているんだろう。

「そうか.....沢山いるんだが」

否定できない。

「他に何かないか?」

「えっと……とってもバカなお兄ちゃんでした」

「「「吉井だな」」」」

クラスの声が一致する。 明久を見ると、 哀れだ。 ちょっと涙目にな

ってる。

僕に小学生の知り合いなんていないよ?きっと人違い」

゙あっ! バカなお兄ちゃんだ!」

「人違い.....ねぇ?」」

人違いだと.....いいなあ」

明久、 そろそろ腹を括ろう。

君の特徴は良くも悪くもその頭から来ている。

で? その子は誰なの?」

いかな?」 「うん… 僕に君みたいな知り合いはいないよ?

明久はこの期に及んでまだ思い出していないらしい。

「知らないってひどい! 葉月一生懸命『バカなお兄ちゃ んは何処

ですか』 って

いろんな人に聞い て来たのに!」

こ、この子何者だ! 明久の急所を無意識ながら的確に攻撃し てい

爆弾を投下した。 「そうか.....バカなお兄ちゃんがバカで悪かったな」 バカなお兄ちゃんはバカなんじゃ。 でもでも、葉月はおにいちゃ んと結婚の約束もしたのに 許してやってくれんかのう」

瑞希

美波ちゃん

「殺るわよ

「ごぶわぁ!

流れるような、 端から見れば美しいような動きで

姫路さんと島田さんは明久の首を絞めていた。

姫路に島田、どうやら勝ったようだな

雄一、 今心配するのはそこじゃ ないでしょ

瑞希、 首をそのまま捻って! ウチはひざを逆方向に曲げるから

イカン。 は い ! このままだと近いうちに死人が出かねない。 えっと、 こうですか?」

「ふえええええ ちょっと待って! ん ! 僕は結婚の約束なんて全然 酷いです! ファ ーストキスまであげたのに

これは 明久の自業自得だな。

· 坂本! 吉井君! 包丁持ってきて! こんな悪いことするのはこの口ですか!」 5本あれば足りると思うから!」

「ほへはいへふ! ははひほひひへふははい! (お願いです! 話

を聞いてください!)」

二人はヒートアップしちゃってるし。

仕方ないわね、 2本刺したら聞いてあげるわよ」

島田さん、包丁は1本刺さるだけで十分に致命傷だと思うんだ。

「ちょ、美波! 包丁は一本刺さるだけでも致命傷なんだよ!

お願い助けて! 雄 二 ! 蓮 ! 」

仕方がない。明久が殺される前に止めるか。

いよ!」 明久を拷問するのは清涼祭が終わってからでもいいでしょ!」 「待って蓮! 「二人とも、それ以上やったら本当に洒落にならないから それだと根本的に僕の危機が回避されたわけじゃ

止めないで! ウチはこいつを殺さないといけないのよ! 一日でも寿命が延びたんだから後は自分で何とかしてよ。

ゴメン明久」

ここまで僕の話を聞いてくれないとちょっと凹む. 諦めるの ! ? もうちょっと粘ってよー

「あっ、お姉ちゃん! 遊びに来たよ!」

あれ? 葉 月 ? え? 葉月とアキって知り合いなの?」

「う~ん.....あっ、思い出した!」

「 何 ? 結局、明久と葉月ちゃんは前に会っていたってことでいい

の ?

「うん。 去年ちょっとね。 それより、 美波は何で葉月ちゃんを知っ

てるの?」

「何でって、ウチの妹だもの」

ほぅ..... それはつまり

島田さんは自分の妹の声も分からずに明久を殺しかけたってこと

だね

「うっ まあ、そういうことにしておこう。 ......クラスの人ごみで声が良く聞こえなかったのよ-

「吉井君はずるいです、どうして美波ちゃんとは家族ぐるみの付き

合いなんですか?

もしかしてもう『お義兄ちゃ hになってたりして...

「姫路さん、取り敢えず戻ってきて.....」

本当、事態の収拾が追いつかなくなってきた。

「ところで、この客の少なさはどういうことだ?」

雄二の言葉で、皆は辺りを見回した。

僕が帰ってきたときにはもう、店は閑古鳥が鳴いていた。

「そういえば葉月、ここに来る途中でいろんな話を聞いたよ」

「ん? どんな話?」

葉月ちゃ んの言葉に一番早く反応したのは明久だった。

えっとね、 中華喫茶は汚いから行かないほうがい って」

唯一"汚い"のは、 のに替えたから 店内は掃除もいきわたっているし、 テーブルだったけど、 装飾もしっかりして そのテーブルは新し いも

そんな噂が立つ原因がない。

てシバキ倒すか」 「ふむ.....例の連中の妨害がまだ続いているんだろうな。 探し出し

「常夏コンビってそこまで暇なの?」

「まあ、 後輩の店を営業妨害するような人間だから、

十中八九自分のクラスでもお荷物扱いでしょ」

もしかしたらそれ以外の理由があるかもしれないけど。

聞いたんだ?」 まず、 様子を見に行く必要があるな。 チビッ子、 その話は何処で

「チビッ子じゃないです、葉月です!」

「はい。えっと、短いスカートの女の人がいっぱいいるお店でした 「じゃあ、葉月ちゃん、その噂は何処で聞いたか教えてくれない?」

!

言ったら真っ先に反応するのが..... 多分何かのコスプレをしているお店なんだろうけど、そんなことを

何だって! 雄二、それはすぐに向かわないと!」

そうだな明久! 店のために (低いアングルから) 綿密に調査し

ないとな!」

そんなことを口走りながら、 そんな中、 残されたメンバーは、 明久と雄二は走り去ってしまっ

「アキ、最低」

「吉井君、酷いです.....

「お兄ちゃんのバカ!」

僕達もお昼の休憩をかねて行ってみようか?」 「取り敢えず、明久たちだけに任せておくのも不安だし、

・.....そうじゃの」

僕達も明久と雄二の後を追う。

厨房からムッツリーニの気配が消えているのが気になるけど。

が、

蓮の素は案外黒かったりします。

次回も出来るだけ早くに.....

### 第二十二問 女装が似合う男って女性から見てどうなんだろう..... (前書き)

P V 1 0 ,000アクセス突破を確認しました!

どんどん書いていけたら、と思っています。 ものすごい速度で更新が滞り始めた気がしますが、これを糧にまた

## 第二十二問 女装が似合う男って女性から見てどうなんだろう...

バカテスト 日本史

問『冠位十二階が制定されたのは西暦( )年である』

姫路瑞希の答え

<sup>₽</sup> 603<sub>3</sub>

鮎川蓮の答え

<sup>₽</sup> 603<sub>□</sub>

坂本雄二の答え

<sup>6</sup> 60 3<sub>3</sub>

教師のコメント

いったいどうしたのですか? 驚いたことに正解です。

吉井明久の答え

603<sub>1</sub>

教師のコメント

君の名前を見ただけでバツをつけた先生を許してください。

第二十二問 女装が似合う男って女性から見てどうなんだろう.....

僕達が葉月ちゃんの案内のたどり着いたのは 2.Aクラスのメイド喫茶『ご主人様とお呼び!』 明久、 僕は雄二に同感だ。 ここだけは止めよう. だった。

どう突っ込んで良いか分からないネーミングだよ。

そっか、ここは雄二の大好きな霧島さんのいるクラスだもんね」

だめですよ坂本君、女の子から逃げ回ったりしちゃあ」

゛でも、どうして蓮まで嫌がってるのさ?」

.....優子と一緒にいると何時関節技をかけられるか分からない恐

怖で

まともに座っていられないんだ.....」

......蓮、お前も苦労してるんだな」

···· 雄

なんか、雄二に女性関係でこんなにも癒される日が来るなんて。

゙......(パシャパシャパシャパシャ)」

ものすごい連続したシャッター音が聞こえる。

「……ムッツリーニ?」

「...... 人違い」

どう見てもムッツリーニだろ! 厨房責任者が何してやがる!」

「..... 敵情視察」

たからまさかとは思ったけど、本当に付いてきたんだね 喫茶店から出てくるときにもうムッツリーニの気配を感じなかっ

ムッ ツリー 盗撮はだめじゃないか。 そんな事したら

撮られている女の子が可哀想だと.....」

「.....1枚100円」

「2ダース買おう……可哀想だと思わないのか

明久、普通に注文してるし、説得力皆無だぞ。

「アキ、普通に注文してるわよ」

「はつ、何時の間に!」

んだね.....」 「 明久がムッツリー 二から写真を買うのはもう条件反射になってる

「 ..... そろそろ帰る」

「 全く、ムッ ツリー ニにも困ったものだね」

少なくとも、さっきムッツリーニの写真を買っていた明久にはそ

の台詞いえないと思う」

「明久君、その写真どうするんですか?」

そろそろお店に入ろうよ。 「いやだなあ、姫路さん。 僕もうおなか減っちゃったよ」 もちろん捨てるに決まってるじゃ ないか。

見事に話題をそらせたな。

それもそうね。 ほら、 坂本、 鮎川、 覚悟決めなさい」

「「くそつ」\_

仕方がない。 多分優子も衆人環視の中で関節技はかけてこないだろ

う.....多分。

あつ! 映ってるの男の足ばかりじゃないか畜生!

「しっかり見てるじゃないか (見てるじゃないですか)

「ご、ごめんなひゃい。 くひをひふぁふぁふぁいで」

明久は姫路さんに口を引っ張られながらの入店となった。

じゃあ、入るわよ」

出迎えるのは、学年主席美人メイド霧島翔子さん。 島田さんが一番手となって、 店の中に入ってい

僕はこういうのに慣れていないけれど、 わぁ、 きれい.....」 それでも霧島さんがきれい

「それじゃ僕らも」

だってことは分かる。

「流石Aクラスじゃの。 店内の装飾も桁違いじゃわい」

「失礼します」

「お姉さん、きれいですっ」

続いて明久たちが入っていく。

お帰りなさいませ、ご主人様、 お嬢様」

霧島さんは模範的な礼儀(ver.メイド喫茶)で出迎えた。

僕と雄二は乗り気じゃない為最後尾で入っていく。 霧島さんはかなりアレンジを加えた台詞で雄二を出迎えてくれた。 ......お帰りなさいませ。 お帰りなさいませ。 今日はへし折らせていただきます」 今夜は帰らせません、ダーリン」

......ナンテイッタ? ヘシオル? ナニヲ?

ボクノウデヲ。

ダッ! (僕が全力で走り出す音)

ガシッ ! (優子が僕の腕をとる音)

ボキュメキュ (僕の腕が粉々になる音)

(声にならない悲鳴)」

全く、 同じ服を着ているのにどうして代表ばかり見ていたの

かしら?」

.....優子、 居たの?」

.....へえ、 アタシは眼中になかったってことね!!」

地獄を見た。

優子にサブミッション(と呼べるかどうかも怪しいレベルのやばい

もの)を

散々喰らった後、 僕はようやく明久たちが座っているテーブルに行

くことができた。

ぁੑ お帰り蓮」

....ただいま」

今日の姉上はすさまじかったのう」

なきゃならないのさ」 本当だよ。どうして優子に気づかなかっただけで地獄を見せられ

姉上も大変そうじゃのう」

秀吉、 この状況で大変なのは天に召される危険もある僕だ。

確かに優子も殺人犯になる危険はあるけど。

「それで? 常夏コンビはいた?」

雄二に尋ねる。 Aクラスまで来た目的は、 僕らへの営業妨害を止め

ることだ。

雄二の視線の先をたどると、見覚えのある汚物が二つ目に入った。 「ああ。今注文したところだが……あの中央の奴らがそうだな」

「それにしても、 この喫茶店はきれいでいいなあ!」

そうだな。さっき行った2.Fの喫茶店は酷かったからな!」

テーブルは腐ってたし、虫もわいてたもんな!」

わざとらしい。 こんなわざとらしい営業妨害なのに誰一人として注

意しないのか。

明久と蓮。 とりあえず落ち着け」

「雄二、どうして止めるのさ!? あの連中を早く止めないと!」

「落ち着け、こんなところで騒ぎを起こしたら更に悪評が広まるだ

言われてみるとそうだ。

けだ」

あの店、 出してるものもやばいんじゃないか?」

言えてるな。 食中毒でも起こらなきゃいいけどな!

2.Fには気をつけろってことだな!」

僕もう限界なんだけど」

ちょっと待て。 翔子!」

雄二が霧島さんを呼ぶと、すぐに現れた。

彼女は雄ニセンサー でも付いているんじゃ ないだろうか。

「メイド服がほしいんだが」

......分かった」

その場で自分が着ているメイド服のボタンを外し始める霧島さんって

うわあああああ! な、何してるの霧島さん!」

明久は隣で鼻血を出している。

「.....雄二が私をほしいって言ったから」

余ってる予備のメイド服があれば貸してほしいって意味

だ!

「……そう。今持ってくる」

露骨にがっかりするな!」

雄二も苦労してるな....

雄二?
メイド服なんて何に使うの?」

「着るに決まってるだろう」

「そうか、姫路さんが着るんだね」

「いや、それはないでしょ」

「どうして?」

姫路さんが着たとして、 常夏コンビを撃退なんて出来ないだろう

L

「それもそうか、じゃあ誰が着るの? 秀吉?」

「ああ、着るのは明久、お前だ」

「いいやあぁぁぁぁぁ!」

雄二から事実上の死刑宣告。

僕も女装はいやだからね。 明久の気持ち本当に良くわかるよ。

雄二が着ればい いじゃないか! 無理をしたら着られるはずだよ

<u>.</u>!

させ、 雄二のメイド服姿は出来れば目にしたくない。

ないか?」 「やれやれ、 わがままを言う奴だな。 ならあっち向いてホイで決め

雄二が提案する。

おそらくは試召戦争の宣戦布告のときみたいにまともじゃない戦法 を思いついたんだろう。

「よし、その提案受けるよ」

......さよなら。明久。

雄二が勝利を手にした。 明久の顔が向いている方向を指すというとてつもなく卑怯な方法で 雄二が明久の目に指を突き入れ、 明久が悶えているうちに

「あの、吉井君。大丈夫ですか?」

明久が感じている痛みは普段の比じゃないだろう、うん。 姫路さんが心配している。 霧島さん並の目の潰し方だったからね。

ありがとう。 まったく、 雄二の卑劣さには驚かされるよ」

「あ、あはは……でも、きっと大丈夫ですよ」

「そうだよね。きっとこんな勝負は無効

「吉井君ならきっと可愛いと思います!」

そういう問題じゃない。

くっ、この上ない屈辱だ.....」

秀吉のメイク技術によって明久はそこらへんのメイドに負けないく らいの見栄えに仕上がっ

「明久、存外似合っておるぞ」

「 うん。 僕もそう思うよ」

「ああ、そうだ」

罪悪感は全くないらしい。 雄二が声を掛けてきた。 どうやら彼には明久を無理やり女装させた 秀吉と共に、明久の女装姿にそれなりの驚きを示してい ると、

メイド服は後一着余ってるらしいから蓮、 お前も着ろ」

「何でええええええええ!!」

いや、明久のバックアップというか、 明久が失敗したときの

保険のつもりだったんだが.....」

「雄二! それ良いよ! 蓮なら絶対似合うよ!」

雄二の爆弾発言。

それに加えて明久まで雄二に乗っかってきやがった....

「僕は女装は遠慮したいんだけど.....」

そうか、 別に明久だけでも事足りるしい ĺ١

「そう? 蓮なら似合うと思うんだけど」

明久、 女装とは似合えばいいというわけではない。

「あんた達、何の話をしてるの?」

廊下で騒いでいたためか優子がひょこっと顔を出した。

いや、 明久の女装が似合っていたからそれについて話をしていた

だけだよ」

ねえ、木下さん。 蓮のメイド服姿、 見てみたくない?」

何故明久は優子にそんなことを言うんだよ?

優子は僕に何の興味もないんだからそんなこと言っても無駄

「それは是非見てみたいわね!!」

何でええええええええ!! ( 本日二回目)

ホラ、 木下さんもそういってることだし、 蓮、 着替えてよ」

いやいや、別に優子がなんと言おうが僕は着替えない

着替えなさい」

^?

蓮、メイド服に着替えなさい。 あたしも見てみたい わ

ちょ、 それは理不尽『じゃあ行こうか』理不尽だああー

蓮、強制連行&着替え

..... 明久よりも似合っておるではないか」

ああ。 俺も勧めては見たがまさかここまでとは」

..... もう、 蓮が常夏を懲らしめればいいんじゃないかな?

...見たいって言ったけど、これは女として自信をなくすわ

強制的に着替えさせられたわけだけど、 僕以外の四人が固まってる。

......。 (パシャパシャ)」

いつの間にかムッツリーニまで来てるし。

「ハァ、結局着るはめになったよ.....」

「似合っておるからいいのではないかの?」

そんなわけないだろ! これかなり恥ずかしいんだよ!」

からな」 あんまり遅くなると常夏がAクラスを出て行っちまうかもしれない ......二人とも、 盛り上がってるとこ悪いがそろそろ戻るぞ。

雄二にせかされて、Aクラスに戻る。

心 僕は明久が失敗した時用のサポー

『とにかく汚い教室だったな!』

教室のある旧校舎自体も汚いし、 当然だよな!』

常夏はまだそんな会話を続けていた。

僕らの営業妨害が目的なのだろうけど、 に教室があるクラス全部に影響がある。 そんな会話をしたら旧校舎

「お客様」

常夏と明久が接触した。

案の定、 常夏は今近づいてきたメイドが明久だと気づいていない。

お客様、 足元を掃除しますので少々よろしいでしょうか?」

掃除? さっさと済ませてくれよ?」

その足元を汚した張本人であるお前らにそんなこと言う権利はない。

ありがとうございます。 それでは

ん ? 何で俺の腰に抱きつくんだ?まさか俺にほれて」

天地がひっくり返ってこむら返りを起こして七つに分かれたとして もお前に惚れる女はいないから安心しろ。

「くたばれえぇ!!」

「ごばああつ!!」

明久が坊主 奴には首投げのダメージが残ってるはずだ。 確か夏川だったと思う にバッ クドロップを決めた。

生きてやがったか。 「き、貴様、Fクラスの吉井.....まさか女装趣味が どこぞのGなみのしぶとさだ。

「こ、この人今私の胸を触りました!」

「ちょっと待て! バックドロップをするために当ててきたのはお

前だし、そもそもお前は男だと ぐぶぁっ!」

「こんな公衆の面前で痴漢行為とは、 このゲス野郎が!」

そういって坊主を殴り飛ばしたのは我らが代表の雄二だ。

らもう手遅れの気がするけど。 その間に明久が坊主の頭にブラジャー を接着剤でくっつけていたか 倒れている坊主に代わってモヒカンが雄二に抗議している。

「さて、 痴漢行為の取調べのため、 ちょっと来てもらおうか?」

「くっ! 行くぞ夏川!」

流石にこの状況を不利と感じたのか逃げ出すモヒカン。

坊主にいたっては頭にブラジャー 「こ、これ、 外れねえじゃ ねえか! つけたまま逃走を図っている。 畜生! 覚えてろ変態め!」

「逃がすか!」追うぞアキちゃん!」

· その必要はありませんよ、お客様」

「何だ貴様! どけ!」

あら、 目の前の痴漢犯を見逃すほど私達は甘くないわよ?」

だかっ 口調が変わってるから分かりづらいと思うけど、 ているのは僕だ。 常夏の前に立ちは

「くそっ! いいから退け!!」

痺れを切らしたモヒカンが僕に掴みかかってくる。

「現行犯ですね」

掴みかかってきた手を捻り、 モヒカンの顎に拳を叩き込む。

意識を刈り取った。 まだ意識があったようなので、眉間、 顎 鳩尾に追撃をねじ込んで

「つ、常村ぁ!」

お連れのことよりも、 まずはご自身の身の心配をされたほうがよ

ろしいのでは?」

完全に隙だらけな坊主の手を取って一本背負いを決める。

叩きつけられた坊主の眉間に掌底を叩き込む。

「ぐぼらぁっ!」

明久と雄二によるダメージもあってか、 坊主も沈黙した。

「.....お前容赦ないな」

「そう思うならまず逃がさないようにしてよ」

常夏の首根っこを掴み、 Aクラスの奥に連行する。

常夏コンビはどうするのさ?」

雄二も、 特に考えてはなかったがな。捕まえた以上何かしらしないとな」 常夏をどうするかまでは考えてなかったらしい。

...考えてないなら、 あたし達が証言するから西村先生にでも引

き渡せば?」

「「「それだつ!」」」

優子の案に皆が賛同する。

他クラスへの営業妨害ならきっと鉄人が連行してくれるだろう。

「そうか、ならこの二人は俺が預かっておく」

思いのほかあっさりと、鉄人は常夏を担いでいった。

AクラスとFクラスの証言ではここまで対応が変わるのか.....

また遅くなってしまいました.....。

週末のほうがPCに触れないってどういうことよ (汗)

### バカテスト 英語

?と?に当てはまる語を答えなさい。

『マザー (母)から[?]を取ったら[?] (他人)です」

### 姫路瑞希の答え

『マザーから[M]を取ったら[other] (他人)です」

### 教師のコメント

その通りです。 MotherからMを取るとother

という単語になります。

こういった関連付けによる覚え方も知っておくと便利でしょう。

### 土屋康太の答え

『マザーから[M]を取ったら[S]です』

### 教師のコメント

ョンに困ります。 土屋君のお母さんが『MS』でも『SM』 でも、先生はリアクシ

### 吉井明久の答え

です。 『マザーから[お金] を取ったら[親子の縁を切られるの]

### 教師のコメント

英語関係ないじゃないですか。

『マザーは[故人]です』鮎川蓮の答え

......済みません。 教師のコメント

「で? 三回戦は不戦勝だったのね?」

「うん。対戦相手が食中毒で棄権したんだ」

「僕と秀吉の対戦相手もそうだったよ」

Aクラスで時間を喰ったため、急いで召喚大会の三回戦に向かった

のだけど、

待っていたのは不戦勝の勝ち名乗りだった。

9 ムッ ツリー 姫路さんは厨房に立ってないんだよね?』

『......問題ない』

小声でムッツリーニに確認を取る。

姫路さんが厨房に立ってしまったら十中八九瀕死の重傷者が出る。

のう 「時間が出来たようじゃから、 喫茶店の立ちなおしもせねばならぬ

常夏の所為で喫茶店は閑古鳥が鳴いている。

ものをやる必要があるだろうな」 「そうだな。 一度失った客を取り戻すため、 何かインパクトのある

「流れちゃった噂はもうどうにもならないだろうからね

早いとは思わなかった。 人の口には戸は立てられぬ、 って言うけど、 ここまで噂の広がりが

「ふむ。それで何をするかじゃが.....」

秀吉と明久が教室内を見回す。

狭い上にボロい教室だから出来そうなことは特に何もない。

「特に出来そうなことはないね」

「雄二、何かアイデアはある?」

任せておけ。 中華とコレでは安直過ぎるだろうが効果は絶大なは

そう言って雄二が取り出したのは、 確かに、それならインパクトはあるね」 白と水色のチャイナドレス。

ああ。コレを明久が着る」

すごいインパクトだ。

やめて雄二。メイド服の次にチャイナドレスまで着たら、

僕は本物だって認識されちゃうよ!」

「もう、僕も明久も手遅れ気味だと思うけど.....

まさか僕までメイド服を着るはめになるとは思わなかった。

冗談だ。 コレを秀吉と姫路と島田と蓮にきてもらう」

「そっか~よかった~」

「僕が着るのは冗談ではないの(かのう)?」

僕にまでチャイナドレスが回ってきた。

何言ってるのさ。 秀吉も蓮もそんなに可愛いんだから着なきゃだ

めだよ」

「秀吉はともかく、 明久が着ないなら僕も着ないからね」

「ちょっと待ちなさいよ! なんでウチたちが!」

島田さんも便乗してくる。

まだ島田さんたちは性別があってる分いいんじゃないかな? 確かに須川君はチャイナドレスを着たりはしないって言ってたけど、

だよな?」 「店の宣伝のためと、 明久の趣味だ。 明久はチャイナドレスが好き

雄二は明久を利用するつもりらしい。

ここで明久が嘘をついてくれれば

「大好 愛してる」

明久に期待した僕がバカだったよ。

「お前は本当に嘘がつけない奴だな」

「し、仕方ないわね。 お店の売り上げのために、 仕方なく着てあげ

るわ!」

「そ、そうですね! お店のためですしね!」

姫路さんと島田さん陥落。

お兄ちゃん、葉月の分は?」

「え? 葉月ちゃんも手伝ってくれるの?」

「お手伝い? うん。 お手伝いするから葉月にもそのお洋服頂

萬!

..... チャンス!

なら、僕が押し付けられた分を上げるよ」

「本当ですか! ありがとうです!」

僕が持っていた分のチャイナドレスを葉月ちゃ んに手渡す。

本人も喜んでいるようだしコレで一件落着だ。

ちょっと! 蓮も着なきゃいけないのに!」

明久は葉月ちゃんのお願いを聞いてあげないのか~」

「うっ! 分かったよ.....

ガシッ!

止める。 ついでに、 い つの間にかやってきて裁縫をしていたムッツリーニを

「......何故っ」

「僕が着たら全力でムッツリー 二の撮影を妨害することになるけど、

良いの?」

「......仕方がない」

どうやら諦めてくれたようだ。

それじゃあ、三回戦が終わったら着ますね?」

でも、多分雄二は

姫路さんが時計を確認しながら話す。

「いや、今着替えてもらいたい

「「え?」」

. 宣伝のためだ。そのまま召喚大会に出てくれ」

でも、 この格好では恥ずかしいというか.....」

三回戦からは一般公開が始まる。

そこにチャイナドレスを着た美少女が出れば嫌でも注目を集める。 雄二は考えるだろうから僕は意地でも回避したのだけれど。

「二人とも、お願いだ」

明久が二人に頭を下げる。

というのもあるだろうけど、 姫路さんの転校を防ぐために喫茶店を成功させないといけない、 気がする。 今の明久からはなんか邪な目的がある

雄二がフォローすべきはそこじゃないと思う。

もしかして吉井君、 私の事情を知って

瑞希?」 「仕方ないわね。 クラスの設備のためだし、 協力してあげるわ。 ね

明久のいつもと違う態度に、 おうとするけど、それを島田さんがフォローする。 何かを感じたのか姫路さんが何かを言

'あ、はい。これ位お安い御用です!」

どうやら姫路さんも快諾してくれたよう。

の所属がFクラスであることを強調するんだぞ」 「それなら、すぐに着替えて会場に向かってくれ。 大会では自分達

全校の生徒 + 外部の人間も見に来る召喚大会でのPR効果は計り知 れないものがある。

とは思わないだろうし。 まさかお客さんもPRに出てきた二人がクラスでただ二人の女子だ

「オッケー、任せといて。行くわよ、瑞希」

「はいっ」

チャイナ服を片手に教室を出て行く二人。

あの二人はよっぽどのことがないと負けないだろうし大丈夫だと思

しょうがない。着替えるとするかの」

なきゃだめだよ」 ちょ 秀吉、 ここで着替えるの? ちゃ んと女子更衣室で着替え

チャ イナ服に着替えようとした秀吉を明久が必死で止めている。

最近、 明久がワシのことを女として見ておる気がするのじゃ

僕には最初から女扱いに見える。

「気のせいだ。秀吉は秀吉だろう」

「うん。 雄二の言うとおりだよ。秀吉は性別が『秀吉』 でいいと思

う。男とか女とかじゃないさ」

「.....俺が言ったのはそういうことじゃない」

.....明久? 性別の問題は結構大きいって口をすっぱくして

いってきたよね?」

ちょっと待って、 蓮 ? いせ、 じょ、冗談だって..... ぎゃあああ

あああ!!」

明久には、男が女と間違われるつらさを教えてあげないといけない。

「だんだんお客さんも増えてきたね」

「ああ。流石雄二だよ」

姫路さん達が召喚大会に出向いてからしばらくして、 お客さんが増

え始めた。

もうだいぶ席が埋まっている。

「たっだいまー」

「ただいま戻りました~」

噂をすれば姫路さんと島田さんが戻ってきた。

回ってくれる?」 丁度良かったよ。 二人とも疲れているところ悪いけど、 ホールに

厨房班はムッツリーニが何とかしてくれてるけど、 ホー ル班はち

## ょっと人手が足りないんだ」

女性客に声を掛けるウエイター (変態)を増やすわけにもいかない

「良かった。 だんだん持ち直してきたのね」

「良かったです」

めたんだろうね」 女性客も増えてきているんだよ。きっと味についての噂も流れ始

僕と明久はハズレを引いたから良くわからないけれど、 反応を見ている限り、 飲茶の味は相当なものらしい。 お客さんの

女性客が増えた所為でウエイターを選ばなくちゃいけなくなった。

「じゃあ二人とも、 ウエイトレスをやってくれる?」

「はいつ」

「オッケー」

ろう。 噂の元になっている二人が加われば、 更にお客さんも増えていくだ

君い、注文いいかな」

`はい。かしこまりました」

人の後姿を見ていると、後ろから声がかかった。

「ねえ君」

にはい

. 君はチャイナドレス着ないの?」

「.....は?」

だって、君も可愛いじゃないか。 てくれよぉ~」 早くチャ イナドレス着てご奉仕

.....何を言ってるんだコイツ?

ないかがわしい店ではありません」 お客様。 ここは中華喫茶であっ て お客様が想像されているよう

でも、 あれは『女子』の制服です」 あっちの三人はチャイナドレスを着てるじゃないか~」

約一名性別があってないのもいるが。

なら君だってチャ イナドレス着なきゃだめだろぉ~」

シケイ

はぁ .....ったく何処にいてもこういう馬鹿はいるんだな」

「......え?」

自覚がないのがバカの証拠なんだよこの変態野郎

ぎゃああああああああああぁぁぁぁぁぁ

呼びかける。 中年小太りの いかにもな感じの変態を処理し、 お客さんに向かって

だきますのでお気をつけ下さい」 をされたお客様につきましてはこの変態と同様の末路を歩んでいた 当店は喫茶店であり、このような迷惑行為及びそれに類する行為

店内の息が荒い奴らが静まり返った。

だって」 厨房の土屋から伝言。 茶葉がなくなったから持ってきて欲

明久に伝言を伝えているところだった。 ふと島田さんの声が聞こえたのでそちらを見てみると、 島田さんが

構わんよ。 わかっ たよ。 特に用事があったわけではないのでね」 先生、 ちょっと行ってきてもいいですか?

? そうだったんですか?」

明久と話しているのは.....教頭?

あの狐また何か企んでるのか?

向かおう。 とにかく用心するに越したことはない。 明久を追って空き教室へと

「ちょっと良いかね?」

「.....はい

教頭から声を掛けられた。 僕を明久のところに向かわせない気だな。

'君、さっきはどういうつもりなのかね?」

「さっきとは?」

る行為ではない」 君は先ほど外部のお客さんに暴力を働いただろう。 とても許され

うな変態に生徒が襲われてもい それでは、 教頭先生はちょっと露出の多い服を見ただけで盛るよ いとおっしゃるのですか?」

·..... いや、そういうわけではないが」

得ずご退席(処刑)いただいまたでです。 い噂を流されても困りますので」 口頭で注意しても全くといってお聞きにならなかったのでやむを 逆恨みされて根も葉もな

....

結局インテリ気取ってても所詮は期を誤りうかつな行動を取る三下

### ということだな。

急げばまだ間に合うはずだ。急いで喫茶店から離れる。「では、お客様を待たせておりますので」

「逃げんなこら! 大人しくしてろ!」

「いや、そんな事言われても」

倉庫代わりの空き教室へ着てみると案の定明久と柄の悪い声が聞こ

えた。

時間を掛けるのがもったいないのでさっさと済ましてしまおう。

ころだからもって行ってあげて」 明久、早くしないと料理が滞るよ。 あと、 そろそろ餡子も切れる

「え? あ、蓮! えっと.....」

「後は任せておいて大丈夫だから」

`分かった! じゃあ宜しくね!」

明久と入れ違いになるようにして教室の中へと入る。

何だテメェは! 俺は吉井って奴に用がアンだよ!」

彼はまた別の仕事がありますので僕がお話をお聞きします」

んだと! さっさと退けよ! お前に話す事なんかねえよ!」

「......話しがあるのはこっちだバカ」

掴みかかってきたピアスを蹴り飛ばす。

少々荒っぽいけど、 もらおう。 力づくで黒幕(おそらく教頭) の名前を吐いて

しばらくお待ちください

「 うう.....」

「.....クソオ.....」

ヤンキー気取ってる割には根性もないやつらだ。

分かからずにボロボロのヤンキーモドキが三つできた。

さて、 誰に頼まれてこんなことしたのか吐いてもらうよ」

番元気そうな奴の胸倉を掴んで問いかける。

「し、知らない!」

本当の事言わないとへし折らなきゃいけなくなるんだけど」

「ほ、本当に知らないんだ!」

男に嘘をついている様子は見られない。

·.....ふ~ん」

「ヒイツ」

僕が何か言葉を発するたびに情けない声を上げておびえている。

ってるかに関らず問答無用で半殺しだから。 いいた。 さっさと帰れ。次に校内でお前らを見つけたら何や O K ?

「は、はいっ」

これ以上尋問しても無駄っぽいので三人を解放する。

後ろから明久の声がするので振り向いたら、 改めて思うけど、 蓮って強いよね」 明久が立っていた。

こう、『ふちこ又聲食のではかっこういや、三人相手するのは難しいんだよ』

. え ? でも特に攻撃喰らってなかったし.....」

......口が聞けるように手加減するのも難しいんだ」

....

明久が半笑いの顔で固まっている。

「とにかく、あんまりお店をあけるわけには行かないから戻ろう」

「う、うん」

僕と明久は茶葉と餡子を抱えて教室に戻った。

# 第二十四問 恋する人の思考回路はどこか狂ってると思う...

バカテスト 物理

問。 担っている電荷がゼロの粒子の名前を答えなさい』 原子核において、 プラスの電荷を持つ陽子を結びつける働きを

姫路瑞希の答え

『中性子』

教師のコメント

子核には中性子はありません。 正解です。ちなみに、 原子核に陽子を一つしか持たない水素の原

吉井明久の答え

重力子』

教師のコメント

もまだ見つかっていない理論上の素粒子です。 ですが重力子は、 物体を結びつける 重力の伝達を担うとされている素粒子で、 重力と、吉井君にしてはまともな答えですね。 現在で

鮎川蓮の答え

「反陽子」

教師の答え

なります。 そんなものが原子核の中に存在していたら、 地球は大変なことに

### 『故障したコピー機』土屋康太の答え

教師のコメント

甘かったようです。 最近土屋君の考えが読めるようになってきたと思っていた先生が

陽子 用紙、電荷 電化 (製品)鮎川蓮のコメント

第二十四問 恋する人の思考回路はどこか狂ってると思う.....

明久を襲っていたチンピラをボコボコにしてから二時間がたった。

明久、 そろそろ四回戦だ

「 え ? もうそんな時間なの?」

もう時刻は午後二時を回っている。

喫茶店での仕事が忙しくて、あっという間に時間は過ぎていた。

あれ? アキたちもそろそろなの?」

なら明久と裕二の次の対戦相手は島田さんと姫路さんペアだったは 島田さんの姫路さんがこんなことを言ってるけど、僕の記憶が確か そうなんですか? 実は私達もそろそろ出番なんですよ

お兄ちゃん、 葉月を置いてどこかいっちゃうの?」 ずだけど.....。

葉月ちゃんが明久のズボンの裾を握っている。

だから大人しく待っていないとダメだ」 「チビッ子。バカなお兄ちゃんはこれから大事な用事があるんだ。

雄二が葉月ちゃんを説得している。 意外と子供の扱いに慣れているところがある。 前から思っ ていたけど、 雄二は

葉月ちゃんはそれでも頬を膨らませている。 う~でも~

その代わり、

いい子にしていたら

かだと 雄二は何か交換条件を出すようだ。 多分胡麻団子をサービスすると

明久を生贄にしやがった。 「 バカなお兄ちゃんオトナのデー トを教えてくれるからな」

「葉月お手伝いしてくるですっ」

ないんだ! 「ち、違うんだよ葉月ちゃん! ねえ、 聞いてる?」 僕には君が期待するほどの財力は

明久の静止も聞かずに早速喫茶店の仕事に戻る葉月ちゃ

ちょっと校舎裏まで来て」

島田さんが怖い声を出して明久の肩を掴んでいる。

傍から見れば妹を守る立派な姉に見えるのだろうけど、 の実態は自分の妹にすら嫉妬をするような恋する乙女(般若?)だ。 おそらくそ

「美波ちゃん、ちょっと待ってください」

姫路さんが割り込む。 明久は助かったと思っていそうな顔だけれど、

おそらくその逆だ。

たほうが遠慮なく出来ますよ?」 次の対戦相手は吉井君たちのようですから、 召喚獣でお仕置きし

笑顔での死刑宣告。 見ているだけでも怖い。

なんだよ!? ちょっと待って! 姫路さんの召喚獣に攻撃されたら僕自身も酷い目に 僕の召喚獣はダメージのフィ ドバック付き

「フン、

望むところだ」

勝手に僕の生命を左右しないで!」

ここで明久が死んだら喫茶店にも影響が

明久なしでも店が回るようにシフトは考えてある」

なら別にいいか」

「蓮! そこは僕の味方をしてぇ!」

か楽しみだわ」 上等よ。早く会場に向かいましょうか。 アキがどんな声で啼くの

島田さん。 その発言はぎりぎりだと思う。 いろんな意味で。

げさせられるのか、じっくりと見せてもらおうか」 「いいだろう。そこまで言うなら、明久に何処まで大きな悲鳴を上

雄一、 いけど、 早々に明久を見捨てた僕が言えることじゃない そんなにあおると本当に明久が死んじゃうよ....... かもしれな

#### 時は流れて

戦の時間が来たようだ。 明久たちが出て行ってからおよそ10分。 「蓮よ、そろそろワシらも四回戦の時間じゃぞ」 僕と秀吉のペアにも四回

次の四回戦に勝てば準決勝じゃったのう」

「うん。 もいいはずだし、 そうだけど相手も四回戦まで来るような人だから相当成績 気を引き締めていかないとね。 教科も古典だし」

説明すると、 国と古典の点数は余りよくない。 僕は数学や英語が得意なんだけど、 せいぜい350点くらいだ。 国語系、 つまり現

#### 召喚大会会場

やあ。 君達が勝ちあがってきたのかい?」

久保君?」

意外だ。 たのに。 久保君はこんなイベントごとにあまり興味はなさそうだっ

えないけど」 「どうして久保君はこの召喚大会に? あまり目立ちたがりには見

.... 賞品がね」

明久のためにも勝ってあげないと。

しかし、

久保のペアは誰じゃ?

同じAクラスかの?」

ちのときに明久を物理でボッコボコにした」 秀吉、Aクラスの佐藤美穂さんだよ。 ほら、 Aクラスとの I 一騎討

「ああ。 そうじゃったの」

どうも佐藤さんは影が薄いようだ。

でも、 確かにい いチームを組んだね

? 何故じゃ? そこまで仲が良いようには見えんのじゃが」

久保君は文系の教科が得意だよね」

ああ、 そうだね」

秀吉、 佐藤さんは物理の点数が良かったよね」

そうじゃが.....まさか!」

佐藤さんが補って、 そういうこと。 する。 コレが久保君たちのペアの戦い方だね」 久保君に不足している理系の点数を理系が得意な 佐藤さんが苦手であろう文系教科を久保君がフ

仲のいい人とペアを組んで、 方法もありだ。 アもいれば、 こういう風に自分の穴を埋めてくれる人とペアを組む チー ムワー クで勝ちあがろうとするペ

立会いの先生の声がかかる。「では、始めてください」

「「「試験召喚」」」

四人全員がいっせいに召喚獣を呼び出した。

『古典 Fクラス 鮎川蓮&木下秀吉

311点& 64点

V S

Aクラス 久保利光&佐藤美穂

396点&224点

ᆸ

僕と秀吉の点数を足しても、 久保君一人にすら届いていない。

「そうは行かんのじゃ!」「済まないけど、ここは譲ってもらうよ!」「ここまで点数差があるとは思わなかったよ」

それぞれが不利な戦いを強いられる上に秀吉は佐藤さん相手でも勝 二回戦のときみたいに一対一に持ち込むことは出来ない。 つことは出来ない。

「!?」」「秀吉!」

秀吉が相手の召喚獣に突撃する。

保君、 まさかここまでバカ正直に突進してくるとは思わなかったのか、 佐藤さん二人とも反応が遅れた。 久

「くっ」「セイヤッ」

佐藤さんの召喚獣の得物は鎖鎌。 生かし辛い。 秀吉の召喚獣は佐藤さんの召喚獣に切 距離を詰められると武器の特性が りかかる。

「勝負だ、鮎川君」「よそ向いている暇はないよ!」

僕と一対一に持ち込むつもりらしい。 久保君も、 僕の召喚獣は、 いえば当然。 無理に佐藤さんと対峙している秀吉を狙おうとはせずに、 久保君の召喚獣に向かって走り出す。 点数には開きがあるし当然と

こっちは一対一に持ち込むつもりはないけどね なにつ!」

態勢が崩れた久保君を放って、 久保君の召喚獣に切りかかる、 秀吉の元へ走る。 と見せかけて体当たり。

. 秀吉! ジャンプ!」

僕の召喚獣は秀吉が跳んだことで出来た隙間に体を入れて、 僕の声で秀吉の召喚獣が思いっきりジャンプする。 h の召喚獣の足を掬う。 佐藤さ

え? うわっ!」

僕の召喚獣もすぐに立ち上がって、 手の剣を突き出す。 転倒した佐藤さんに秀吉の召喚獣が大上段から長刀を振り落とす。 佐藤さんの召喚獣に向かって右

『古典 Aクラス 佐藤美穂

0 点

6

何とか佐藤さんの召喚獣を倒すことが出来た。

\(\frac{1}{2}\)!

なるほど。最初から二対一に持ち込むつもりだったのかい?」

「そういうことじゃ」

久保君の召喚獣の体勢さえ崩せれば行けると思ったからね」

『古典 Fクラス 鮎川蓮&木下秀吉

309点&51点

V S

Aクラス 久保利光

378点。

合計点数の差は18点。

さっきの体当たりで久保君の点数を削れたのが良かった。

秀吉、 無理はしないで。 二対一で攻めることに意味があるんだか

5

「了解じや」

「フッ、そう簡単には負けないよ!」

三人が一斉に走り出す。

もちろん僕の召喚獣が前を走り、 秀吉がそれに続く形だ。

「おりゃっ!」

「セイッ!」

僕と久保君の召喚獣が切り結ぶ。 お互いに武器は片手持ち。

両者共にダメージもないまますれ違う。

使うことが出来ない。 もしそんなことをしてしまうと、秀吉に致命 的な隙を曝すことになるからだ。 やっぱり、二対一なのが利いてる。 久保君は両手の武器を両方僕に

後ろから迫る秀吉の一撃は久保君の召喚獣にあっさり片手で受け止 められてしまった。

「秀吉、久保君の片腕を抑えて!」

「分かったのじゃ!」

秀吉の召喚獣が、 久保君の召喚獣の左腕を両腕で押さえ込む。

「くっ、離してもらうよ!」

「させると思う?」

久保君の召喚獣が振り上げた右手を、 僕の召喚獣が剣で押さえる。

今動けるのは.....僕の召喚獣の左手!

「うおりゃあっ!」

渾身の力をこめて、 僕の召喚獣が左手を振るう。

鋭利な刃物のような指先は、 久保君の召喚獣を切り裂く。

それっ!」

「ぐつ!?」

りで弾き飛ばす。 力が弱くなった久保君の召喚獣を僕の召喚獣が本日二回目の体当た

秀吉い

はああぁっ

長刀は久保君の召喚獣の胸に刺さり、 転んだ久保君の召喚獣に秀吉が長刀を突き出す。 久保君の召喚獣はゆっくりと

消えていった。

古典 F クラス 鮎川蓮&木下秀吉 298点&33点

V S

0点

Aクラス

久保利光

Ь

『勝者、 Fクラス、 鮎川蓮、 木下秀吉ペア』

先生の勝ち名乗りを受け、 僕達の準決勝進出が決まった。

F クラス

店の中には明久や姫路さん達の姿もある。 四回戦を終え、 喫茶店に戻ってみると更に混雑していた。

ただいま」

゙あっ、蓮、お帰り。どうだった?」

「勝ったよ」

そうか。とりあえず早く着替えて手伝ってくれ」

店内はお客さんでごった返しているので、 の手も借りたい』状態だ。 明久と話していると、雄二が催促する。 店側としてはまさに

明久を処刑するとか何とか言っていたので気になる。 「そういえば、 明久ペアと姫路さんペアはどっちが勝っ たの?

.....雄||だね」

明久は同じペアなのに負けじゃったのかの?」

「坂本の一人勝ちね」

大体分かった。

ろうけど、気持ちが悪い。出来ることなら視線を感じた瞬間に退場 おそらくはウエイトレス目当てでやってきたお客さんの視線なんだ 「とりあえず、仕事に戻ろうか。 (処刑) させたいところだ。 さっきから変な視線も感じる

りますか!」 そうね。 そうですね。 ちょっと視線が気になるけど、 喫茶店のお手伝いをしないといけませんね 売り上げのためにも頑張

「はいっ! 葉月も頑張りますっ」

さて、じゃ あ秀吉、チャイナドレスに着替えて」

「 明久よ、ワシは一応男なのじゃが.....」

に秀吉の言葉に『 応 が付くようになった。

喫茶店の売り上げのために、 その後姿を見ている僕に、明久が近づいてきて、 しぶしぶ着替えに行く秀吉。

「蓮もチャイナドレスに着替えないと」

ふざけたことを抜かしやがった。

てくれるかな?」 .....どうして僕が着替えないといけないのか三文字以内で説明し

「短っ! それもう理由聞く気ないよね!」

理由を聞く気もないし、 チャイナ服を着る気もない。 どうしても

って言うんなら.....」

言うんなら?」

..... 明久や雄二、ムッ ツリーニも道連れにする」

「「着なくていいです!」」

Ļ 言った瞬間に名前が上がった三人からすごい速さで返事が来る。 いうか自分は着たくないのに人には無理やり着せようとしてた

だ……

今まで使ってたChromeが使えなくなりました。 PCのファイルをいじくって、ディスク容量をあけようとしたら、

さらに新しくインストールすらできないという状況 (泣)

仕方が無いので、これからは動きの遅いIEで生きていきます.....

# バカテスト 現代社会

男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を教授するこ 問 とが出来、且つ、 会のあらゆる部分における活動に参画する機会が確保され、もって か答えなさい。 男女が、 社会の対等な構成員として、 ともに責任を担うべき社会』のことをなんと言う 自らの意思によって社

姫路瑞希の答え

『男女共同参画社会』

### 教師のコメント

画社会基本法」が制定されました。 いに助け合える世の中が早く来てほしいものですね。 正解です。この社会を実現するために1999年に「男女共同参 男女が平等な権利を持ち、 お 互

鮎川蓮の答え

『文月学園において実現できないもの』

教師のコメント

間違いですが否定できません。

吉井明久の答え

'美、美波様! どうか命だけは

6

坂本雄二の答え

翔子、 俺は何もやってなギャアアアアア

ᆫ

ますます否定できません。教師のコメント

第二十五問 に一人は絶対いるよね テストで保健体育の点数だけやたら良いって奴クラス

「はい。頑張ってくださいね」「僕と秀吉も時間だから抜けるね」「それじゃ、準決勝に行って来るね」

「アキ、負けたら承知しないからね!」

「わかってるって」

大繁盛の喫茶店の中で動き回ること一時間。

ているから次の試合が今日ラストになる。 いよいよ準決勝の時間になった。 決勝戦は二日目の午後に予定され

そして分かってはいたけど僕への応援はない んだね..

「? 蓮、どうしてうなだれておるのじゃ?」

……いや、 人気の格差を思い知らされていたんだ」

「 明 久 、 蓮。 次の試合は特に負けられないからな」

雄二が発破をかけてくる。

雄二の目は、 今までで最上級にマジだ。 それもそのはずで次の相手

は

「霧島さんと、木下君のお姉さんが相手なんて、 大変そうですね.

:

明久たちが当たる。 二年生の成績上位筆頭コンビ。 優勝候補の霧島さん、 優子ペアと

「大丈夫だよ。雄二に作戦があるみたいだし」

「まぁな。 うまくやってやるさ」 あんなバケモノどもとまともに勝負するほどバカじゃな

雄二の作戦か。

秀吉と優子を入れ替える、とか?

れ替わりネタは使ってるんだし。 くらなんでもそんな単純な訳ないよね。 前の試召戦争でも姉弟入

「で、雄二、作戦ってどんなの?」

四人で会場に移動しながら明久が尋ねる。

もらう」 今回は俺達だけじゃなくて秀吉や蓮、 ムッ ツリー 一にも協力して

#### 嫌な予感。

「秀吉とムッツリーニ?」

ああ。 あの二人には弱点はないが、 付け入る隙はある」

狙いは秀吉の姉、 木下優子だ。 奴を利用して一気に戦局を傾ける」

島さんとうまくやってくれればいいと思うんだけど」」 「秀吉のお姉さん (優子)? そんなことしなくても、

うるさい黙れ」

僕や明久のことは嬉々としてからかうくせに。不機嫌そうな雄二に会話を打ち切られた。

聞いてないんだけど」 雄二、僕が協力する内容ってのを教えてくれないかな。 まだ

作戦が成功してくれれば何もしなくて良い」 お前には試合直前で話す。お前はバッ クアップだから本命の

もう、 その本命の作戦ってのが怪しいというか不安というか。 優子に秀吉の入れ替え作戦は通用しないと思うんだけど.....。

を失うし、 もんか!」 「その『大好きな』 とにかく気合を入れろ。この戦いに負ければ明久は大好きな姫路 俺は今後の人生を失う。 てのは止めてほしいけど了解 命がかかってると思え!」 絶対に負ける

...... 先に試合するのは僕と秀吉なんだけど」

二人して盛り上がるのはいいけど、 僕と秀吉のことも忘れないでほ

「そうだったな。お前らの相手は誰なんだ?」

「常夏コンビ」

僕が言い放った瞬間、 明久と雄二の表情が固まる。

「どしたの?」

「...... スマン」

何故いきなり謝るの! なんかすごく不安なんだけど!

っきり生活指導室に監禁されているものとばかり.....」 いくら鉄人先生でも召喚大会くらいは出してくれると思うけど。 「まさか常夏コンビがここまで上がってくるとは思わなかった。 て

別に常夏コンビだからどうってことはないと思うんだけど」

.....次の教科は保健体育だ」

ゑ?

ちょっと待って、 準決勝なんだよ? 何で態々僕の苦手教科を持

ってきたのさ!」

なせ、 バカヤロー 準決勝で蓮が負けてくれれば優勝しやすいと思った」 翔子に婚約を取り消させるためには優勝しない それじゃあ僕達は最初から決勝に進ませない気 الما

だったな!」

なかった」 いせ、 本当にスマン。 まさかお前らの相手が常夏になるとは思わ

くっ、 常夏コンビにだけは負けたくなかっ たのに!

「.....常夏に、負ける僕ってどうなのよ.....」

「蓮よ、そんな戦う前から諦めるでない」

う出来るとは思えない。 秀吉が励ましてくれてるけど、僕の保健体育の点数で常夏をどうこ 仮にも向こうは3年のAクラスなんだし。

きっちり死んで来い!」 とにかくお前らが負けても俺達が決勝で敵を取ってやるから

雄二に送り出されてしまった僕達はステージへ。

秀吉」

「なんじゃ?」

「とりあえず作戦.

秀吉と、 ここが正念場だ。 試合開始時刻まで、 可能な限り作戦会議をする。

おい、あいつらFクラスの奴だぜ?」

んだあ? おいおい、 八百長かぁ?」 Fクラスのクズがどうやって準決勝まで上がってきた

僕達がFクラス所属ということで召喚大会では負けることはないと 僕に二度もボコボコにされたくせに威勢だけは良い常夏コンビ。

# 実際保健体育では勝てないけど。

ましたよ、先輩」 「八百長なんか出来るわけないでしょ。 ちゃ んと実力で上がってき

この召喚大会は甘くないんだよ!」 「どうだかな。実力でFクラスのゴミ共が勝ちあがってこれるほど

ろうしな」 「そうですね。 ......アンタ等も教頭のバックアップを受けてるんだ

応観客や立会いの先生には聞こえないような声量で言い合う。

「手前、気づいてやがったのか」

まあ、 心 僕自身にも教頭は接触してきましたしね」

「..... ちっ」

聞いておきます。 教頭先生に協力している理由はなんですか?」

うすりゃ、受験勉強とはおさらばだ」 「進学だよ。うまくやれば推薦状を書いてくれるらしいからな。 そ

何の臆面もなく坊主の方(確か夏川だったと思う)は言い切った。

まぁ そっちの、 常村とか言うのも同じ理由か?」

くだらねぇ。

わけか。 こいつらはそんな理由で僕達の清涼祭をぶち壊そうとしていたって

秀吉」

了解じゃ」

こいつらはなんとしてもここで潰す!!

「「「「試験召喚」」」」「では、始めてください」

根は腐っても高得点者なのか質はよさそうだ。

常夏の召喚獣はオーソドックスな剣と鎧の装備。

『保健体育(Aクラス)常村勇作&夏川俊平

198点&207点

ᆸ

200点前後。 やはりAクラスに入っているというだけはある。

『保健体育 Fクラス 鮎川蓮&木下秀吉

29点&69点

こちらとの戦力差は明らかだ。僕なんてこれでも自己最高点なのに (保健体育で)。

「ギャハハハハ! 何だその貧弱な点数は!」

うるさい。

ぜ!」 「こんな奴らに掛ける時間が勿体ねえな。 さっさと終わらせてやる

坊主の召喚獣が僕に、 モヒカンの召喚獣が秀吉に突っ込んでくる。

ごし続ける。 僕と秀吉は、 その一撃を避け、 時に召喚獣を交差させながらやり過

どうせ負けるんだからさっさとやられやがれ!」 おいおいなんなんだよ。 さっきから逃げてばっ かじゃねえか!

る 武器での攻撃にこだわり、 狙い通り、 常夏は良い感じにヒートアップしてきた。 動きもだんだんと力任せになってきてい

その上、 気にも留めていない。 僕と秀吉が牽制のために繰り出しているパンチやキックを

『保健体育(Aクラス)常村勇作&夏川俊平

151点&166点

ᆸ

二人ともだいぶ点数が減ってきた。

優先に動いているため、 それに対して僕と秀吉は基本的に相手の攻撃に当たらないことを最 召喚獣は殆ど消耗していない。

保健体育 F クラス 鮎川蓮&木下秀吉 25点&62点

Ь

9

そろそろ試合を始めて10分。

常村、 おい、 何言って.....マジかよ!」 どうして俺達の点数がこんなに減ってやがんだ?」

常夏もようやくこの事態に気づいたらしい。

秀吉!」

「了解じゃ!」

秀吉に声を掛けて、作戦の開始を合図する。

位置を動かないようにしてもらう。 秀吉は基本的に今までと同じ動き。 ただ、 今までよりもあまり現在

「さっさと死ねや!」

「うおっと!」

僕は坊主の召喚獣を相手しながら、 気づかれないように移動してい

そして、 僕 坊主、 モヒカン、 秀吉の召喚獣が一直線に並んだ。

「そりゃあっ!」

「なっ! くそっ!」

僕は右手の剣を思いっきり投げつける。

には避けきれずに剣に掠った。 まさか自分の得物を投げてくるとは思わなかったのか、 坊主は完全

そんなんで倒せると思ってたのかよ

思ってないし、 倒そうと思って投げた剣じゃない..... アンタには

(・・・・)ね」

何を言って 『ぐあっ!』何っ!!」

が深々と突き刺さっていた。 坊主の召喚獣の後ろでは、モヒカンの召喚獣の背中に僕が投げた剣

秀吉!!」

「この好機、逃しはせん!!」

モヒカンの召喚獣の動きが止まり、 その頭に秀吉の召喚獣が長刀を

獣は消滅した。 突き出す。 そのまま首を飛ばすように横に振るい、 モヒカンの召喚

「ナイス! 秀吉!!」

「くそ、常村! よそ見してていいのか!」

「ちゃんと見て うっ!」

坊主の本体から一瞬目を離した僕の目に何かが飛び込んできた。

これは 砂利?

「お前を倒して、形勢逆転だ!」

坊主が僕の召喚獣に剣を振り下ろす。 ように受け流す。 その剣を左手で横からはじく

は無視する。 その後も続く坊主の猛攻。 この際小さな動きで繰り出されるパンチ

召喚獣の踏み込み、 し続ける。 振るわれる剣。 その微かな『音』を頼りに回避

くそっ! 見えてねえはずなのになんで当たらねえんだよ!」

......僕だけに集中してて良いんですか? 先輩」

しまった!」

坊主の召喚獣が振り向いたときには、 りかぶっていた。 既に秀吉の召喚獣が長刀を振

キンッ!

秀吉と坊主が鍔迫り合いをする。

そのがら空きの背中を、 左手 ( 忘れている人もいると思うけど武器

になってる)で切り裂いた。

『保健体育 Aクラス 常村勇作&夏川俊平

0点& 0点 』

『保健体育 Fクラス 鮎川蓮&木下秀吉

6点& 32点 』

2 F 所属。 鮎川蓮、 木下秀吉ペアの勝利です』

先生の勝ち名乗りが上がる。

「そ、そんな.....」

「まさか....」

自分達が負けるなんて微塵も思ってなかったのだろう。

常夏コンビはその場で崩れ落ちた。

法に対抗できませんよ。 戦いは、 正を以て合、奇を以て勝つ』 先 輩」 冷静さを欠けば敵の奇

徹するといった正攻法で対峙し、 敵と対峙し、 常夏コンビの敗因は、冷静さを欠いて、 戦いは、 という奇法で勝った。 正を以て合、気を以て勝つ』 戦況に合わせた奇法で勝利を掴むもの。 武器をペアが戦っている相手に投 。つまり、戦いは正攻法で 力任せに攻めてきたことだ。 僕達は防御に

常夏コンビが冷静に攻めてきたら、 ただろう。 こちらも作戦を実行しにくかっ

しかし、よく勝てたもんだな」

僕達がステージから降りると、雄二が驚いた表情で近づいてきた。

博打になるけど倒せそうな策を考えたんだよ」 「そりゃ僕達だって常夏コンビには負けたくないからね。 ちょっと

「そりゃ結構なことで。はあ、これで明日の決勝は蓮たちとか」

「ああ。任せろ。絶対に勝つ!」「その前に霧島さんと優子に勝ってからね」

いよいよ、明久&雄二の試合が始まる。

## 第二十六問 ラブコメ的展開って、 よく死人が出ないよね。

バカテスト 日本史

記物語を何と言うでしょう』 幕府2代将軍足利義詮の死と、 問『南北朝時代を舞台に、 鎌倉幕府の滅亡や、 細川頼之の管領就任などを描いた軍 南北朝の分裂、

姫路瑞希の答え

太平記

教師のコメント

平和を意味するため戦いで命を落とした人々への怨霊鎮魂的な意味 もあるといわれています。 正解です。太平記は、 騒乱を描いていますが、 名前の「太平」 は

鮎川蓮の答え

『朝鮮戦争』

教師のコメント

南北違いです。

土屋康太の答え

『............興味が無い』

教師のコメント

ください。 興味が無くても、 テストですので、 しっかり考えて答えを書いて

軍記物は女性がほぼ出てこないから。鮎川蓮のコメント

『枕の源氏』

...... 度肝を抜かれました。教師のコメント

第二十六問 ラブコメ的展開って、よく死人が出ないよね。

明久の応援に来ている。さっきから秀吉の姿が見えないのだけれど、 常夏コンビとの準決勝(保健体育)に辛勝した僕と秀吉は、 雄二の言っていた『作戦』に関係あるんだろうか。

『お待たせいたしました! これより準決勝第二試合を開始します

審判兼立会いの先生の声が会場に響く。

『出場選手の入場です』

向こう側には霧島さんと優子の姿も見える。階段を上がって、明久と雄二が登場した。

「.....雄二、邪魔しないで」

そこまで霧島さんと行きたくないなら最初にしっかり断っておけば いのに。 そうはいくか。 俺にはまだやりたいことがたくさんあるんだ!」

..........雄二、そんなに私と行くのが嫌?」

き、霧島さんの必殺上目遣いだ!

と思う。 可憐な少女にここまでされて無下に断れる男はもはや人間じゃない

ああ。嫌だ」

人間じゃない。

霧島さんもあまり気にしてない様子で、すぐに返す。 .....やっぱり、 一緒に暮らして分かり合う必要がある」

それにしても、 この大歓声で聞こえていないとは言っても、

は相当な勇者だと思う。 大胆なことをこれだけの人数が見ている前で言ってのける霧島さん それか雄二以外目に入っていないか。

僕的には後者だと思う。

だ!」 ハッ 残念だったな。 そんな寝言は俺達に勝ってから言うこと

雄二がこんな台詞を言うとものすごく悪役臭がすると思うのは僕だ けだろうか。

......分かった。そうする」

雄二>s霧島さんの痴話喧嘩も終わり、 いよいよ試合が始まる。

雄二、作戦はどう?」

なぜ歓声鳴り止まぬこの会場で選手のささやき声まで聞こえるかと 明久が雄二にささやいている声が聞こえる。 いうと、僕がいるのはステージ脇の明久たちに一番近い位置だから ボクシングで言うところのセンコドの位置にあたる。

任せておけ、 抜かりはない。 頼むぞ秀吉!」

雄二が優子に向かって秀吉と呼びかける。

悪い予感が当たったようだ。

そりゃ本人からすれば爆笑物だと思うけど。優子が口に手を当てて笑っている。「......ふふっ」

優子がステージ脇の一角を指差す。 そこにあったのは 秀吉? 秀吉、 もう木下さんの演技はいいから、 秀吉ってあのゴミのこと?」 早く僕らと

「ひ、秀吉!? どうしてそんな姿に!」

優子.....仮にも自分の弟をゴミ呼ばわりは止めようよ。 ボロボロにされた挙句に手足を縛られた秀吉の姿だっ

「バ、バカな!」

雄二が目を大きく見開いている。

「.....雄二の考えていることくらい、 私にはお見通し」

霧島さんが笑みを浮かべている。

明久は、 きの雄二を見てれば気づくと思う。 ことを考えていそうだけど、別に幼馴染じゃなくても試召戦争のと まるで『今回は幼馴染という立場が仇になった』 みたいな

· ま、匿名の情報提供もあったんだけどね」

優子が妙なことを言った。

匿名? 僕はしてないし、 秀吉やムッ ツリーニがばらすはずもない。

僕ら以外だと、 常に雄二と明久をマークしている相手.....ああ。

頭か。

蓮、俺達を売ったな!』

雄二が目で訴えてくる。

ンビを操っている黒幕だと思う』 秀吉やムッツリー 二でもない。 おそらくは常夏コ

雄二は忌々しそうな顔をした後、 黙り込んでしまった。

別に秀吉がムッツリーニ並みの隠密行動を取れていたとしても、 転がされていた秀吉が起き上がって唇を噛んでいる。 回の結果は変わらなかったと思う。 く..... すまぬ、 雄二。 ドジを踏んだ 今

られている秀吉の姿をカメラに収めていた。 ムッツリーニがカメラを構えて一瞬のうちに現れたかと思うと、 ムッツリーニ何時の間に!」」 ..... ( パシャ パシャ パシャ パシャ ! ) 縛

もう、 を (って) 解いて (欲) あげて (しい) よ!」 撮影なんてしてないで(その写真)、早く(後)秀吉の縄(売) 明久は試合前の緊張感といったものがないんじゃ 本音が混ざっているぞ」 ないだろう

に駆け寄っ ムッツリー て、その縄をすばやく解いた。 二は明久の言葉に頷くと (おそらく二つの意味で)

優子の降伏勧告。 好きじゃないし」 ほか涼しげな顔をしている。 おとなしくギブアップしてくれると嬉しいな。 雄二は顔をゆがめていると思っていたら、 弱いものいじめは 思い の

フッ、 作戦が一つしかないと思っていたのか?」

こんなことを言っている。

(蓮、お前の出番だ)

雄二がこちらに声を掛けてくる。

(何をすればいいの?)

秀吉が失敗した時用のバックアップといってたけど、 霧島さんにも化けることは出来ない。 僕は優子にも

(木下姉を口説け)

「もうお前ら負けちまえ!」

つい大きな声が出てしまう。

うわっ、優子がものすごく怪しんでこちらを見ている!

(とにかくやってくれ、頼む!)

(どうして優子なのさ! それに口説けなんて、そんなことしたら

殺されるよ!)

(大丈夫だ。口説かれて嫌な気持ちになる女子はいない)

(こんな大勢の前で口説かれて良い気分になるのは雄二に口説かれ

た霧島さんくらいだよ)

(変なことを言うな! とにかく俺達の勝利のために頼む!)

(僕の命が危険なんだよ!)

こんな大勢の前で優子を口説いたりしたら、 冗談抜きで殺されかね

なし

丈夫だ!) (俺が口説けば木の下と翔子に殺されるが、 お前が口説く分には大

「その自信はどこから来るんだ!」

「さっきから何を話しているのかしら?」

- ' うっ.....」

優子が話しかけてくる。

(とにかく、こうなった以上やるしかない!)

(くつ.....分かったよ)

一度胸の前で十字を切手から優子に向き合う。

「優子」

「......何よ」

……初めて会ったときから、優子のことが好kグオフォッ!

な、何て素早さだ.....見えなかった.....

成程。 惚れた相手にここまで言われれば照れ隠しもしたくなるか」

「にゃ、にゃにをっ!」

意識がなくなる直前に、 雄二と優子の話し声が聞こえた気がした。

う、うっん.....」

あ、気がついた?」

僕が目を開けると、 目の前に優子の顔があった。

えっと、 僕は今寝ているはずで、 顔が向いている方向は上のはず...

:

覗き込んでいるってことで.....って、この体勢は!-それなのに、優子の顔が正面に見えるってことは優子は僕を上から

子の足があるわけで。 体を起こして確認してみると、さっきまで僕の頭があった位置に優

所謂『膝枕』という奴だ。

ヤバイ。 確認してみると、 メチャクチャ恥ずかしい。

「えっと.....どれくらい?」

「え、そ、その「な、何が?」

「え、そ、その.....」

「 何 よ」

「.....どのくらい膝枕してたの?」

「ふぇ! え、えっとまだ5分くらいよ」

「そう」

(思ったより早く気がついちゃうんだから.....)

優子が何か呟いている。

「え? 何か言った?」

「なんでもないわよ!」

何故僕が怒られるんだろう。

そういえば、準決勝はどうなった?」

「えっと.....アタシ達の負けよ」

「えええっ! なんで?」

真っ向勝負で勝てる相手ではなかったから、 たんだろうか。 まだ何か作戦でもあっ

..... それは、 本人か、 クラスの人から聞いて頂戴」

優子の表情が微妙なものになる。

まあ、 優子の負けず嫌いも筋金入りだから、 負けたことにショック

を受けているのかもしれない。

それじゃあ、雄二と明久を探してくるね」

うん

優子と別れ、明久たちを探す。

『霧島さん! 雄二には決勝もあるからクスリは許して!』

ぼ同時だった。 僕がステージの上に上がるのと、 明久の叫び声が聞けてくるのはほ

.....えっと、どういう状況?」

あ、蓮! 目が覚めたんだね!」

僕が気絶したのはそこの目が虚ろになってる奴のせいなんだ

けど」

まあ、 もない。 もう既に報いは受けているみたいだから許してあげないこと

とりあえず、 秀吉は先に喫茶店に帰っててよ。 雄二は僕と明久で

何とかしておくから」

分かった。 お主達もあまり遅くならんようにの」

秀吉は先に喫茶店に戻ってもらう。

秀吉目当てで喫茶店にやってくるお客さんもいるから、 なると売り上げに影響するかもしれない。 あまり遅く

男目当てで来る男っていうのもちょっと、 んだけど。 いやかなり違和感がある

明久、 えっと、 雄二はどうして死んだ魚みたいな目をしてるの?」 それはカクカクシカジカ ᆫ

理やりやらせて、霧島さんを懐柔したらしい。 僕が優子に気絶させられた後、 明久は雄二にプロポーズ(嘘) を無

れか。 そんでもって試合後に霧島さんが雄二を持ち帰ろうとした結果がこ

させ、 文月学園の女子には多少思考回路がおかしい人が多い気がする。 FFF団のことを考えると、男子もちょっとおかしい。

復帰は難しそうだね」 でも、 霧島さんに変な薬を盛られたってことは、 雄二は今日中の

使われた薬の種類によっては明日もこれないかもしれない。

「いや、大丈夫だよ」

明久はそんなことを言うと、 ていった。 何をするつもりなんだろう。 雄二の首根っこを持って、 トイレに入

ホラ、 起きろ!」

ちょ」

明久は雄二を洗面台の前に立たせたかと思うと、 を殴った。 いきなり雄二の腹

ガードも何も取らずに、 面台に吐いている。 男子高校生の一撃をもろに受けた雄二は洗

は酷いんじゃ ..... 明久、 ないかな」 いくら普段酷い目にあってるからって、 いきなりそれ

知ってるよ。 「違うよ! これは雄二に薬を吐かせるためにやったんだよ!」

だから。 ただ、パンチを繰り出す明久の顔があまりにも嬉々としていたもの

ぁੑ 次は日陰に寝かせるかして...

起きろつってんだよ!」

「あ、明久ぁ?」

明久は雄二の顔を、 水を張った洗面器に突っ込んだ。

そこは普通日陰や風通しの良い場所に寝かせて、目が覚めるまで待 つものだとワタクシは思うわけですが、 どうやら文月学園では違う

ゴボゴボゴバア ハッ ここは」

う。 そんないい加減な処置で復活する雄二も相当常識が通用しないと思

明 久、

はいはい、 積もる話は教室に戻りながらしようよ」

雄二も復活したことだし、 早く手伝いに戻らなきゃ。

### 教室へ移動中

明久、 今日という今日は貴様をコロス」

あはは。 やだなぁ雄二、目が怖いよ」

雄二が明久を殺すなら、 僕も雄二を殺させてもらう。

相手はあの霧島さんなんだから、十分考えられた事態のはずだよ?」 「ぐっ。それを言われると反論できん.....」 「だいたい、雄二の作戦が読まれていたのがいけない んじゃない

何度も言うけど、別に霧島さんじゃなくても考え付くと思う。

る人もいるんだし。 実際に雄二の作戦を読んで霧島さんと優子に匿名で情報提供してい

ところで、姫路や島田は教室にいるのか?」

そうか、忘れてた!」

? 確認はしてないけど、 いるんじゃないの?」

秀吉を帰らせてからだいぶ立つし、 んなに多くの人が休憩できるわけじゃ なくなったからクラスの大半 いているはずだ。 喫茶店も繁盛し始めてから、そ

そろそろ仕掛けてくるはずなんだが..

常夏コンビも死んだからな.....」

勝手に殺すなあ!』

はっ 今何か聞こえた気がしたぞ.....気のせいか。

雄二が気にしているのは喫茶店への妨害活動のことだ。 今日の午前

常夏コンビが召喚大会で敗れた今、そして雄二と僕という抑止力が 教室から離れている今が仕掛けるには絶好のタイミングのはずだ。 中から常夏コンビが店への風評被害をもたらしてくれたけど、 その

雄

教室の前までやってくると、 ーニが駆け寄ってきた。 出入り口の扉の前に立っていたムッ

「 ...... ウエイトレスが連れて行かれた」

「えぇ! 姫路さん達が!?」

「しまった! やられたか!」

やはり、俺や明久、蓮と直接やりあっても勝ち目がないと考えた 当然といえば当然の判断だな」

た時点で、次は僕達の周りを狙ってくると予想できたはずなのに! おそらく教頭が差し向けたであろうチンピラ三人組をボコボコにし 油断した!

て行かれたの!? ってそんなことより、姫路さん達は大丈夫なの!? 相手はどんな連中!?」 何処に連れ

「落ち着け明久、これは予想の範疇だ」

阻止できないタイミングで喫茶店に妨害をかけてくるか。 らかで妨害工作をしてくるとは予想できたからね」 「 え ? 「ああ。 もう一度僕達に直接ちょっかいをかけてくるか、 そうなの?」 僕たちが そのどち

今回は、 たしかに僕達の喫茶店の人気が出た最初の理由はウエイトレスのレ ルの高さだ。 ウエイトレスを連れ出す方法で来たか。 その人気の元のウエイト レスを連れ出されれば、

# 茶店の売り上げにも多少どころじゃない影響が出るだろう。

「なんだか、随分と物騒な予想をしてたんだね」

「引っかかることが随所にあったからな」

考えている時間が増えた気がする。 学園長室で今回の召喚大会の出場が決まったときから、 ことにも気づいてると思う。 おそらく、 教頭が黒幕、 雄 一は何か という

取りあえず、 被害の確認だ。 ムッツリー 誰がさらわれたの?」

「.........姫路に、島田姉妹。それに木下姉妹」

「ちょっと待って!」どうして優子が?」

`.....たまたま来ていた」

僕と別れた後、Fクラスに来ていたってことか.....。

`.....行き先は分かる」

・本当? ムッツリーニ」

いうか何かの受信機。

僕の言葉に無言でムッ ツリーニが取り出したのは何かの機械

「なにこれ?(ラジオ見だいに見えるんだけど」

.....盗聴の受信機」

敢えて何でもってるかは聞かないよ

クラスメイトに軽犯罪者がいて助けられるとは思わなかった。

としましょうか、 さて、 場所が分かるなら後は簡単だ。 王子樣?」 かる~くお姫様を助け出す

かないよね? そうだね。 僕達のせいで関係ない人を被害に合わせるわけには行 王子樣?」

そのニヤ付いた目が気に入らないけど、 今は雄二に感謝しておく

ないからね」 姫路さんたちに何かあったら、正直召喚大会どころの騒ぎじゃ

- 「 ...... それが向こうの目的だろうがな」
- 「え?」
- で暴れるから、 「とにかく、今は皆を助け出すことが先決だ。 ムッツリーニは隙を見て裏から皆を助けてあげて」 僕と明久、 雄二が表
- .....わかった」
- 「蓮、僕らが暴れるってどういうこと?」
- 「昔から王子様の役割は一つしかないよね」
- 「王子様の役割って?」
- 「お姫様をさらった悪者を退治することさ」」

何処の誰かは知らないが、地獄を見せてやる。

# 第二十六問 ラブコメ的展開って、よく死人が出ないよね。 (後書き)

今回の投稿で、ストックが完全になくなりました。

します。 遅筆ながらも頑張りますので、今後も生暖かく(笑)宜しくお願い

# 第二十七問 物理法則や、 人間の理から外れていなければチート能力ってありな

今回の話は、色々とやってしまった感があります(汗

ありえねーだろ、と思われる方もいらっしゃると思いますが、 い目で見ていただけると幸いです。 温か

## 第二十七問 物理法則や、 人間の理から外れていなければチー ト能力ってありな

バカテスト 現代社会

問 んというでしょう』 『日本国内における、 銃は刀剣類の所持を取り締まる法律をな

姫路瑞希の答え

。銃刀法。

鮎川蓮の答え

『銃砲刀剣類所持取締法』

教師のコメント

二人とも正解です。 鮎川君の答えが、 この法律の正式名称になり

ます。

坂本雄二の答え

『翔子とお袋にだけは絶対に持たせてはいけない』

教師のコメント

ません。 霧島さんと、 坂本君のお母さんに限らず、 一般人は持ってはいけ

吉井明久の答え

『ガンナー以外が銃を装備しても当たらない』

教師のコメント

当たる当たらないの問題ではありませんし、 君はいい加減ゲー

から離れなさい。

第二十七問 力ってありなんだろうか? 物理法則や、 人間の理から外れていなければチート能

## 前回までのあらすじ

間の喜びを味わいながら喫茶店の戻ってみると、 らわれたって言うじゃないか! なんだか、 僕まで酷い目にあった召喚大会準決勝が終わり、 ウエイトレスがさ つかの

え? 優子も?

犯人共め.....何処の誰かは知らないがただで済むと思うなよ!

めらすじ終

僕たちは、 のカラオケボックスにやってきていた。 ムッ ツリーニ案内のもと、 文月学園から歩いて五分ほど

「グフゥ.....」

僕は、カウンターの男性を眠らせたところだ。

「ちょっと蓮!何やってるのさ!」

え? この人にも報いを受けてもらっただけだけど?」

「この人は関係ないよね!?」

「「何言ってるんだ?」」

「え?をこで雄二まで!?」

どうやら、 明久にはどうして僕がカウンター の男を眠らせたのか分

かってないらしい。

明久. .. カラオケボックスって、 監視カメラあるって知ってた?」

「え? あるの?」

「うん」

ても、 じゃあどうして店の人は助けてくれないんだよ! 警察を呼ぶとか、 学校に連絡するとかしてくれてもい 助けられなく のに

Ŀ

「そりや、 の店も誘拐犯に協力してるんだろ」

「雄二正解」

はずなんだけど。 そもそも、監視カメラ云々の前に、 店に入店した時点で怪しまれる

に何のアクションも起こさなかった。 ンターの男は監視カメラで、姫路さんたちの映像を見ている筈なの な人なら普通に部屋に通したりしないはずだ。 女の子が抵抗していたり、 ましてや気絶していたりすると、 これは黒。 さっきからこのカウ まとも

とだよね!?」 「てことは、そこのモニターで姫路さんたちの様子が見れるっ てこ

言うが早いか、明久がカウンターを乗り越えてモニターを覗き込む。

あれ? この部屋だけ砂嵐だよ?」

.....完全に黒じゃないか。

しかも、 監視カメラが壊れているのにその部屋に通すなんてありえない。 他の部屋には誰もいない。

「貸し切ったようだな」

隣で監視カメラの様子を見ていた雄二が呟く。

そう。 いま、 このカラオケボックスは犯人達の貸しきり状態だ。

つまり

「思いっきり暴れられそうだ」」

そ 取りあえず、 の部屋へと急ぐ。 姫路さん達が捕らえられている部屋も分かったので、

この人質を盾にして呼び出すか?』 『さてどうする? 坂本と 吉井に鮎川だったか? そいつら、

今はあまり聞かないが、中学時代は相当鳴らしてたらしいからな』 『まて。吉井ってのは知らないが、 坂本は下手に手を出すとマズイ。

『坂本って、まさかあの坂本か?』

『 あ あ。 出来れば事を構えたくないんだが.....』

なくすることなんだから』 『気持ちは分かるがそうも行かないだろ? 依頼はその三人を動け

僕たちは、 ムッ ツリーニから貰った受信機で、 中の様子を確認して

犯人たちは、やはり誰かに依頼されたらしい。

雄二、この連中って」

ああ。黒幕に依頼されたチンピラだろうな」

『お、お姉ちゃん.....』

『アンタ達! いい加減葉月を話しなさいよ!』

葉月ちゃんと島田さんの声が聞こえる。

優子と並んで、誘拐されたメンバーの中で最高の攻撃力を誇る島田 てことか。 さんも、葉月ちゃんを人質に取られて、 碌な抵抗も出来なかったっ

『お姉ちゃん、だってさ! かっわいぃー!』

『ギャハハハ!』

中から聞こえる外道の声は7、 ١J や8人分って所か。

見たほうが良い。 とりあえず、今は外道が優子たちに危害を加えないかどうか様子を

待て明久、 勝手に行動するな。 気持ちは分かるが、 まずは人質の

救出が最優先だ。 ムッ ツリーニがうまくやるまで待っている」

「...... わかったよ」

隣では、明久を雄二がなだめていた。

明久は優しいから、 こういうときは我を忘れるほど怒ってしまうと

僕も、だいぶ頭にきているけど。

『...... 灰皿をお取替えします』

バイトに扮したムッツリーニの声が聞こえる。

『おう。 で、このオネーチャンたちどうする?ヤっちゃっ てい いの

:

『だったらおれはこの巨乳ちゃんが良いな!』

『あつ、ズリー! じゃあ俺二番目ね!』

『俺はこのそっくりな二人がいいなあ』

おいおい、お前二人いっぺんに行くつもりかよ』

ムッツリーニがうまくやったら、こいつら全員半殺しにしよう。

僕が新たな決意をしていると、更に声が聞こえてきた。

あのっ! 葉月ちゃんを話して私たちを帰らせてください

『だってさ~。どうする?』

それはオネーチャンたちの頑張り次第だよな?』

『やっ! さ、触らないで

6

『ちょっと、止めなさいよ!』

『こんなことして許されると思ってるの!?』

『あーもう、うっせえ女共だな!』

『『きゃあつ!』』

ド シッ その後数瞬遅れて、 という何かを突き飛ばしたような音と優子と島田さんの テーブルか何かを巻き込み、 倒れたよう

## な音が聞こえてきた。

「おい明久!」

いる。 ふと横を見ると、 雄二が中へ入っていこうとしている明久を止めて

だが明久は何かトンだような顔をしていて、雄二の言葉に耳を貸し ていない。

雄二、もう良い」

- 蓮!?」

......仲の奴全員半殺しにしても優子たちは助けられる」

僕も我慢の限界だ。

おじゃましまーす!」

「ちょっと失礼?」

明久と一緒にドアを開けて中に入る。

「よ、吉井君!?」

「アキ……」

「れ、蓮.....」

身を縮めている姫路さんと、尻餅をついている島田さん。 それに、

倒れた体を起こしている優子。

大体予想したとおりの光景が広がっていた。

「ハァ? お前ら誰よ?」

入り口付近に座っていた男が声を掛けてくる。

それでは失礼して.....」

明久がその男の手首を握る。 そして

「死に腐れやぁあっ!」

「ほごあぁぁっ!」

股間を思いっきり蹴り上げた。

「て、てめえ! ヤスオに何しやがる!」

鈍い音と共に明久が殴られる。けれど、

「イッシャアアァァッ!」

「ごぶああつ!」

明久はお返しのハイキックでそいつを床に沈めた。

てめえ!」

明久に近づくもう一人の男。 僕はその男に近づいて、

「お前ら、自分の立場が分かってないようだな

「ぐぼらあっ!」

全員半殺しだ、クソ野郎」

膝を叩き込んだ後に裏拳で部屋の反対までふっ飛ばした。

「テメェら、 よくも美波に手を上げてくれたな! 全員ブチ殺して

やる!」

明久も吠えている。こうなった明久は、 られない。 ちょっとやそっとでは止め

「ホイツら、吉井に、鮎川って野郎だ!」

「どうしてここが!?」

とにかく来ているのなら丁度良い ぶち殺せ!」

テーブルを蹴散らして残り五人が向かってくる。

「たった二人で調子くれえんじゃねえよ!」

舐めてんのか!」

僕の言葉に突っかかってくる外道共。「「「「「アア!?」」」」「お前らバカだろ」

僕はずんずんと近づいてきた二人に拳を突き刺し、 「ぐぼああっ

意識を刈り取った。

お前ら程度、僕一人でも十分だ」

況に、 雑魚だと思っていた人間に、 舐めてんじゃねえぞ!」 外道が足を止める中、 仲間が次々と戦闘不能にされてい 人だけ僕に向かってくる男。

いい加減学習したらっ!」

「ふんつ!」

· ! ? ]

寝かせるつもりで放った拳を 受け止められた?

みたい 「ガハハハハー、 な奴にやられるかよ!」 俺はな海の向こうで兵隊やってたんだよ! 手前

成程、傭兵崩れか。

威力だけなら鉄人に迫るかもしれない。 力任せに拳を放ってくる。 「オラオラオラ! さっきの威勢はどうした! 力任せではあるが、 流石もと傭兵。

蓮!」

優子の心配そうな声が聞こえる。

「大丈夫!」

「何が大丈夫なんだあ?」

「……こういうこと」

「なにっ!?」

男の拳を手のひらで受け止める。

間があって、見極めるのに時間がかかったよ」 「 流石元傭兵なだけはある。 パンチにもしっかりとインパクトの瞬

インパクトの瞬間に打点をずらせば、 勢いをなくした拳は簡単に受

け止められる。

横から一人殴りかかってきた。

このぉ!」

まだいたのか。

「雄一、パ~ス」

体を捻って交わし、背中を蹴って雄二にパス。

「ったく、貸しイチ、だからな?」

そんなことを言いつつも、嬉々としてこぶしを叩き込んでいる。

さらに、膝が鳩尾に入った。

`.....さてと。傭兵崩れさん、まだやる?」

゙......舐めるんじゃねえよ、カス共があ!!」

· · · ! ? . . . .

突然激昂した傭兵崩れは懐に手を入れたと思うとその手をこちらに

向けた。

その手には拳銃が握られている。

「......それ、銃刀法違反だよ?」

知るか! お前ら全員ぶっ殺せば口も封じれる!」

「..... ぎりぎりだね」

「アぁ?」

めている。 周りを見回すと、明久や雄二だけでなく、 いる君の敵は8人だから一人一発で仕留めたとしてちょうど8発」 それトカレフでしょ? 7 ・62mm口径の装填数8発。ここに チンピラたちも動きを止

からない。 らいは知っているだろうけど、 それほどに今のこと男は危険だ。傭兵崩れなんだから銃の撃ち方く 狙いが外れたら弾は何処に飛ぶか分

そう言い、 「そうだなぁ、 銃口を僕に向ける。 一発で仕留めねえとな..... まずはお前からだ!」

「蓮つ!」

優子の声。

僕と男の距離は5メートル

男の指は引き金にかかっている。

男の指が動いた。

銃声が響いた。

蓮SideOut

部屋にいる人、 今僕の目の前には、 誰もが動かない、 拳銃を向けられている蓮がいる。 いや動けない。

銃声が響いた。

じた。 僕は、 大きな音と友人の悲惨な姿を想像してしまい、 思わず目を閉

僕が目を開けたとき、僕の目の前には

蓮が立っていた。

何でだ.....俺の狙いは完璧だったはず! 何で死んでねえ!

\_!

「......拳銃撃てば勝てるとでも思った?」

蓮がゆっくりと口を開く。

後ろからは表情は見えないけど、声はすごく冷たく聞こえる。

<sup>・</sup>お、お前なにをしたんだ!」

「なにって、銃弾を弾いただけだよ?」

「バカな! 俺が引き金を引いたとき、お前は何ももっていなかっ

た!

「うん。だから手で弾いたんだよ? ホラ」

蓮が皆に見せた右手はわずかに皮膚が割れて、 血が出ていた。

う、嘘をつくな! 拳銃の弾を素手でなんて.....」

銃を持った人が混乱している。

僕も混乱している。 銃なんて身近で打つのを見たのは初めてだし、

それを素手で弾いた蓮のことはもっと分からない。

何 ? \_ 誰も、 9 撃たれてから反応した』 とは言ってないよ?」

約 0 弾が放たれて僕のところまで来るのにかかる時間は約 対して、 トカレフの初速は秒速約420m。 ·17秒。 普通の人間が刺激を感知してから反応して行動するまでは どうやったって間に合わない」 僕とアンタの 距離は 0 5 m 012秒。

「な、 なら

を出さないといけないから、 れば何とかなる。 んだけど、 「だけど、 不可能ではない、とだけ言っておくよ」 『引き金にかかった指に力が入った瞬間』から動き始め まあ、飛んでくる弾に対して横、または斜めに手 他にも考えないといけないことはある

何を言ってるんだろう。 ちっとも分からな ίį

… チィッ

「二発目を撃たせると思う?」

近づいて銃を蹴り飛ばした。そのまま男の顎に左フックをお見舞い また銃がこちらに向けられたかと思うと、 元傭兵だという男は沈黙した。 蓮があっという間に男に

た。 ふと気がつくと、 女の子に、それも小学生に何てことしやがるんだ! お前ら! 向こうの一人が葉月ちゃんを羽交い絞めにしてい このお譲ちゃんがどうなってもい しし のかぁ?

負うのはお前」」 いか ? おとなくしろよ? さもないと、 ヒデェ傷を

あがぁっ

後ろからムッツリーニがクリスタル製の灰皿を振り下ろすと、 すか

さず蓮が降りてきた頭を蹴り抜いた。

解放された葉月ちゃんを美波が抱きしめる。 「葉月っ! お姉ちゃん! 良かった....。 お姉ちゃーん!」 怖かったよね. 感動の再会だ。

姫路さんが両手を広げて駆け寄ってくる。 スか!? 「吉井君つ!」 これはもしや チャン

ドンと来たのはチンピラのパンチだった。「ぐぶあっ!」「吉井ぃ!」ヤスオをよくも!」(善力を広げて構える。さぁ、ドンと来い!「姫路さん!」

明久SideOut

蓮Side

明久が血の涙を流してチンピラの一人をにらみつけている。 っている右手の確認をしていると、こんな声が聞こえた。見れば、 ムッツリーニと一緒に葉月ちゃんを助けて、しびれて感覚がなくな 何だコイツ? 血の涙流してるぞ.....」

**ゕント、何やってるんだろう.....** 

「ん?」

明久を横目に右手の状態確認を進めていると、 優子の声がした。

- 手.....」

けど、 「ああ、 拳銃の弾を弾いてこれくらいで済んだんだから御の字だよ」 大丈夫だよ。 折れてはない。 罅位は入ってるかもしれない

実際、 自分でも驚くほどのことをやったわけだし。

「蓮! 女子達を連れて逃げろ!」

「了解!」

「雄二、貴様まで僕の邪魔をするのか!」

雄二から撤退の指示が出たので従っておく。

が優先だ。 明久が何を言っていたのかは気になるけれど、 今は優子たちの安全

『皆、取りあえず大通りまで走って!」

優子たちとカラオケボックスを出る。

後ろから雄二の笑い声とチンピラの悲鳴が聞こえてきたのでおそら く外道共は地獄を見ているだろう。

ピラたちも運が悪かったね.....。 霧島さんに迫られているタイミングの雄二に喧嘩を売るなんてチン

# 第二十七問 物理法則や、人間の理から外れていなければチート能力ってありな

たものです。 今回の蓮の銃弾弾きは『緋弾の○リア』見てて、蓮にもやらせてみ

もちろん常人には不可能ですが、蓮には可能な理由がありますので。

それでは次回の更新でお会いしましょう。

## 第二十八問 一日目終了! 二日目も頑張ろう! (前書き)

今回は短いです。

ますね (汗 切る所を考えながら書かないと、文字数がばらばらになってしまい

#### 第二十八問 一日目終了! 二日目も頑張ろう!

バカテスト 現代国語

語を答えなさい。 問『落ち着いていて、 どんなことにも驚かないさま』を表す四字熟

姫路瑞希の答え

『泰然自若』

『不動明王』

確かに驚きませんが、間違いです。教師のコメント

土屋康太の答え

『動かざること山の如し』

教師のコメント

意味はあっているようなきもしますが、 間違いです。

吉井明久の答え

『返事がない。ただの屍のようだ』

教師のコメント

屍が転がっていても驚かないことはすごいですが、 まず熟語にす

らなっていないことに違和感を覚えてください。

第二十八問 一日目終了! 二日目も頑張ろう!

誘拐騒ぎが無事、 クラスの教室は、 僕や明久の貸しきり状態になっていた。 とはいえないまでも解決し、 一日目も終わったF

だ。 教室に残っているのは、 僕、 明 久、 雄二、ムッツリーニの四人だけ

はちょっと誤算だった。 島田さんや、 くなる前に帰ってもらっ 姫路さん。 優子も、 た。 その為に秀吉まで帰ることになったの 話を聞きたいといっ てきたが、 遅

明久、そろそろ来る時間だぞ」

? 来るって誰が?」

学園ちょ

え ? 学園長がここにくるの?」

「うん。 雄二が呼び出したんだよね?」

ああ。 さっき廊下であったときに『話を聞かせろ』 ってな

「話、ねえ.....。ダメだよ雄二、相手は一応目上の人なんだから、

用事があるならこっちから行かないと」

明久にそういう常識があるなんて......意外だ。

な。 「用事もクソも、この一連の妨害の原因はババァにあるはずだから 事情を説明させないと気が済まん」

「ババァに原因が えええつ!」

「いくらなんでも、 誘拐事件に、 殺人未遂まで行われた事件の原因

が生徒にあるわけないでしょ」

今回の事件は一歩間違えれば死者が出るくらい危険だっ

裏を返せば、 死者を出すような相手が敵のバックに いる というこ

とだ。

あのババァ! 僕らに何か隠してたのか!」

明久の憤りももっともだと思う。

学園長がしっかりと事情を説明していれば、 や姫路さんたちにまで危険が及ぶことはなかったはずだ。 僕らはともかく、

え、 ガキ共が」 れやれ、 折角来てやったって言うのに、 随分とご挨拶だね

わがれた声と同時に、 教室の扉が音を立てて開かれた。

「来たかババァ」

「出たな諸悪の根源め!」

る学園長。 自分は被害者なんだとアピールせんばかりに、 おやおや、 いつの間にかアタシが黒幕扱いされてないかい?」 大げさに肩をすくめ

な裏切りだと思うがな」 黒幕ではないだろうが、 俺達に話すべき事を話してないのは十分

の考えに気が付くとは思ってなかったよ」 「ふむ......やれやれ、賢しい奴だとは思っ ていたが、 まさかアタシ

「フン。俺だけじゃなく、 蓮も気づいているぞ」

ょ 「そこのジャリは気づいて当然さね。 アンタ達とは出来が違うんだ

5 八ア 僕まで雄二に疑われるじゃないか。 ..... あんなこと (誘拐事件) があっ た後でそんなこといわれた

はない。 おかしいとは思ってたんだ。 んだからな」 まあい もっと高得点を叩き出す事の出来る優勝候補を使えばい ίį 俺としては、 あの話だったら、 最初に取引を持ち掛けられた時から 何も俺達に話すこと

もらうとかの手段も取れたはずだし」 「あ、そういえばそうだよね。 優勝者に後で事情を説明 て譲って

明久が『擁立』 「そうだ。 態々俺達を擁立するなんて効率が悪すぎる の意味を考えているような顔をしている。

来ない、 話を引き受けてきた教頭の手前、 とか考えなかったのかい?」 おおっぴらに妨害することは出

それなら教室の改修なんか渋ったり しないはずだ。 教育方針の前

つまり、 僕らを召喚大会に出させるためにわざと渋ったってこと

「そういうことになるな」

「雄二は、学園長への提案で確信を持ったようだけどね

「あの、教科を決めさせろって奴かい?」

「ああ。 もしそうだとしたら、 めぼしい奴ら全員に同じ話をしている可能性を考慮してな。 俺達だけが有利になるような話には乗ってこ

優勝されると困る、 だけど、 学園長は雄二の提案を呑んだ。 という学園長の考えを表している。 これはそのまま僕達以外に

が決定的だった。 を流す密告者がいたりと色々あったしな。それに何より、 他にも、学園祭程度で営業妨害が出たり、 ただの嫌がらせならそこまでしない」 俺達の対戦相手に情報 誘拐事件

それもただのチンピラの誘拐じゃない。 ってる奴まで出張っていた。 元傭兵の、 それも拳銃を持

たね 「そうかい。 相手はそこまで手段を選ばなかったか.....済まなかっ

学園長はそういって僕らに頭を下げた。

じゃないんだから、 隣では明久がすごく驚いた顔をしているけど、 謝るくらいはするよ。 別に学園長だっ て鬼

つ てたのが、 アンタらの点数だったら、 決勝まで進まれて焦ったんだろうね」 集中力を乱す程度で潰れてくれると思

それ以上に、 常夏が僕らに負けたのが決定打だ」

敵方のメンバーが全員敗れたんだ。 なかったのも頷ける。 あれだけの強硬手段に出るしか

かったんだけどね.....」 「はぁ.....あたしの無能をさらす話だから、 さて、 こちら側の種明かしは終わりだ。 次はそっちの番だ 出来れば伏せておきた

「どうせ、白金の腕輪の欠陥でしょ?」

· · · ! ? . . .

「アンタ、何処でそれを知ったんだね?」

僕の言葉に学園長が問い詰めてくる。

を選ばなかったことですかね」 この三つで大体分かると思いますけど、 ことは賞品を勝ち取れ、ということで、 ら、秘密裏に回収しても問題ないこと。 「まず、 雄二と明久に優勝してほしいこと。 そして、優勝しろ、という 回収するわけではないこと。 一番の理由は、 次に、ペアチケットな 教頭が手段

「まて、教頭だと!?」

雄二が聞いてくる。雄二も学園町室へ行ったときに、 いるのを聞いていたはずだけど。 教頭と争って

「そう。 たんだよね。 بح いうか、 もちろん断ったけど」 教頭自身が僕に『手下になれ』って言ってき

「そうかい。 で、何処まで分かってるのさね?」

ない。 ン ー 白金の腕輪のどちらか、 もしくは両方は低得点者しか使え

こ、 三 こ、 ン ニ に知られれば、 新技術である腕輪は回収できない上に、 教頭は何らかのルートでこの欠陥のことを知ってい 文月学園にとってはかなりの痛手になる。 この腕輪の欠陥が世

今回の黒幕は、 していた、 ハァ、そこまでわかっていたとはね。 という目撃情報があるさね 教頭の竹原に間違いないさね。 このジャリの 近くの市立に出入り いうとおりさ。

「それだけじゃないかもしれないけどね」

おい、蓮。どういうことだ? うちに生徒を取られている私立以 うちの失脚を狙うやつらなんているのか?」

文月を潰したいと考えているんじゃないかな?」 「......召喚システムを軍事利用したい奴らなら、学園長、 ひい ては

る 雄 学園長が息を飲む。 明久は『分かりませ~ þ と顔に出てい

分可能なレベルになっているし、兵士を数千数万と雇うよりもコス トが低くて済む。 明久の召喚獣のように、 狙わない理由がないと思うよ?」 物理干渉できる召喚獣は、 軍事転用も十

「うん。 「なるほどな……あんな物騒なものが出てきたのはその所為か まあ、そいつらもおおっぴらに事件を起こせない以上直接

攻撃は出来ないし、 教頭の手下である常夏コンビが敗退した以上、

もう暴走の心配はないけどね」

でも、 これって、 かなりマズイ問題だったんだね」

゙ああ。文月学園の存亡がかかっている話だな」

「もう、ほぼ解決したけどね」

丸く収まるんだよ」 「そうさね。 もう問題は解決しているんだ。 これ以上何もなければ

何もなければ、 か。 今の状況でその言葉は怖い なあ。

ても、 とにかく、 ンタ達には礼をさせてもらうよ」 これで解決したわけだし、 学園長としても教育者とし

ちょーとストップ!!」

「「何だ明久」」

じゃないの?」 あのさ、明日、 もし蓮たちが優勝したら、 腕輪の暴走が起こるん

点が平均点を上回ったときだけさね」 「それは問題ないさね。 腕輪の暴走が起こるのはあくまでも総合得

暴走は起こらないから、 「そういうこと。 僕は、 決勝戦の日本史以外の点数を0点にすれば 明日は真剣勝負だよ、 明久、 雄

「うん!」

「当たり前だ」

「それじゃ、話もまとまったようだし、 アタシは帰るさね」

学園長は、教室から出て行った。

「それじゃあ、僕も帰るね」

「蓮、ちょっと待て」

教室から出て行こうとすると、 雄二が声を掛けてきた。

「.....何?」

拐事件。 教頭のたくらみを知っていたり、学園長のあの信頼。 お前を普通の高校生というにはおかしい点がいくつもある」 そして、

「.....そうだね。それで?」

単刀直入に聞く。お前は 何者なんだ?」

普通ならこんなことを言う雄二を止める明久も黙ってみているあた あれだけのことをしたんだ。 明久も同じようなことを思っているのかもしれない。 疑われるのも当たり前、

そうだな

こう聞かれたとき、 僕が言うことは決まっている。

### 第二十九問 召喚大会決勝戦 F対Fの頂上決戦

バカテスト 日本史

問『鎌倉時代末期から、 とともに活躍した河内国出身とされる人物を答えなさい』 南北朝時代にかけての武将で、 足利尊氏ら

姫路瑞希の答え

『楠木正成』

教師のコメント

人も多いのですが、 正解です。生涯の殆どが謎に包まれていることもあり、 姫路さんは知っていたようですね。 知らない

『大楠公』 ・
だいなんこう

・
になんこう

・
になんこう
・
になんこう

・
になんこう

・
になんこう

・
になんこう
・
になんこう
・
になんこう

・
になんこう

・
になんこう
・
になんこう

・
になんこう

・
になんこう

・
になんこう

・
になんこう

・
になんこう

・
になんこ

教師のコメント

のそのマニアックな知識は何処で仕入れているのですか? のことをさしているので今回だけ正解にしておきます。しかし、 出来れば、 人物名を答えてほしかったのですが、それも楠木正成

鮎川蓮のコメント 禁則事項です

吉井明久の答え 『ワトソン』

教師のコメント

国や時代、行ったこと全て違いますが、まず日本人でないことに

気づきましょう。

第二十九問 召喚大会決勝戦! F対Fの頂上決戦。

「僕のことは無視ですか……」 「アキ、おはよ~」 あ。二人とも、おはよう」 おはようございます、吉井君」

#### 清涼祭二日目。

二人してやってきた島田さんと姫路さんが明久に挨拶をする。 僕を

- (・)無視して(・・)。
- 「あ~その、昨日はぐっすり眠れた?」
- 「え? はい。ぐっすりでしたけど」
- 「そう。 それじゃあ、朝ごはんはきちんと食べてきた?」
- 「はい。きちんと食べてきました」
- 「えっと、それじゃ、変な夢とかは
- 明久、いくらなんでも心配しすぎだと思う。

姫路さんの声はいつもと遜色なく聞こえる。

暴行未遂どころか近くで発砲までされたから、 んだけど。 明久の心配も分かる

「大丈夫です。大変でしたけど、不思議なくらい落ち着いています

から」

「そうなの?」

っ は い。 けてくれますから」 結局全員無事でしたし.....それに、きっとまた吉井君が助

姫路さん。ここに決して無事と言えない人がいるのですが。

姫路さんの島田さんも、 アキというよりは、坂本か鮎川かもしれないけどね 昨日のことを気にしている様子はない。

元気そうで良かったよ。 それで、 今朝は特に問題は

.....異常なし」

・ 不信な連中はおらんかったぞ」

. 明久はちょっと心配しすぎだよ」

「そっか。ありがとう」

ちなみに、 何故か僕まで優子の迎えに駆り出された。

秀吉と一緒に来ればよかったのに。

「お、今日は無事だったんだな二人とも」

雄二はちょっと心配しなさ過ぎかもしれない。

「あれ? 坂本ももう来てたの?」

「吉井君も坂本君も早いですね~」

「朝一番でテストを受けていたからね。 ふぁあ.....」

ちなみに僕も受けた。

迎えに行くために明久たちよりも早く起きないといけなくなっ たの

は雄二の策略ではないと信じたい。

もう、そんな状態で大丈夫なの? 相手は鮎川なんでしょ!

そうだね。準決勝に保健体育を持ってきたのは失敗だったかな」

「大丈夫だよ明久」

、え?」

「僕に.....嬲る趣味はないから」

ちょっと、僕が心配してるのはそんなことじゃないんだけど!?」

一撃で仕留めてあげるよ。

言うわけだから、明久の心配をするくらいだったら、 喫茶店

の準備でもしてくれ。ふぁあ.....」

なんだか他人事ねぇ......喫茶店の手伝いはしない の ?

ゴメン。 寝かせてもらえるかな?(このところあまり寝てなかっ

た上に、昨日は徹夜だったから眠くて」

「そういえば、鮎川君と木下君は大丈夫なんですか?」

僕は大丈夫だよ。 2 ,3日寝なくても大丈夫だから。 秀吉は辛そ

うだけど」

さっきから秀吉の目が虚ろになってきた。

なんだよね。 島田さんがあきれたような声を出すけど、 2,3日って.....アンタいったいどんな体してんのよ.....」 実際に寝なくても大丈夫

きてください」 「でも、鮎川君も疲れてるはずなので、 吉井君たちと一緒に休んで

「え、いいの?」

「はい。右手の怪我も気になりますし.....

あっ! そういえばどうだったの?」

姫路さんと明久が包帯が巻かれた僕の右手を見ている。

打撲と皮膚がちょっと切れただけで済んだよ?」

雄二を含め、 している。 昨日の誘拐事件を知っているメンバーが僕の手を凝視

本当、 蓮の手ってどういう構造してるんだろうね...

「いや、普通の人間の手だよ、多分」

「まあいい。明久、秀吉行くぞ」

牧室は35~また、そう、僕達は屋上に向かう。

教室を出るときに、後ろから、

(間違いないわ。きっと坂本の腕枕で.....)(やっぱり一緒に寝るんでしょうか?)

という会話が聞こえたけれど、忘れることにしよう。

夢見が悪くなるどころか、 一緒に眠れなくなりそうだから。

「ねえ、蓮.....」

「ふえ?」

た。 教室から出て、 階段を上ろうとしたところで、 優子に声を掛けられ

「えっと、その.....」

「雄二、明久、秀吉、先に行ってて。 僕も優子と話してから行くか

2

明久たちを先に行かせる。

「で、何かな?」

「うん。右手は大丈夫だったの?」

なんだそんなことか。 雄二みたいに答えにくい質問が来るんじゃな

いかと思って身構えてしまった。

「ああ。 打撲と、ちょっと血が出たくらいで済んだけど」

「そう、良かった.....」

そういって、 微笑む優子の顔にちょっとドキッとしてしまったのは

内緒だ。

「えっと、もう行っていいかな? あまり寝てないから、 仮眠を取

りたいんだけど」

「え? うん。いってらっしゃい」

優子に背を向けて、階段を上る。

「頑張ってね!」

後ろからの声に振り向いたとき先には、 誰もいなかった。

「さてと、行こうか」

明久の声がかかる。

結局、僕達は喫茶店の手伝いを30分くらいしかしていない。 すぐ手伝いに行ったんだけど、返されてしまった。 疲れているだろうから、と気を遣ってくれたらしい。 僕も、 起きて

「後で私達も応援に行きますね

「いい試合をしないと許さないからね」

ちょっと寂しい。 チャイナ服姿の二人。 その声援は明久だけに向かっている気がして

言っておくけど、 手加減するつもりはないからね」

うむ。 いくら明久相手といっても、 全力で当たらせてもらうのじ

ふん。 望むところだ」

「うん。 僕も本気で行くよ」

剣勝負だ。 軽い宣戦布告。 どちらが優勝しても目的は果たされるわけだから真

かったね」 「そういえば、 決勝戦前に、 最後の妨害がくると思ってたけど来な

昨日で懲りたんじゃないか?」

いと困るよね」 確かに、 昨日あんなにボッコボコにしたんだから懲りてもらわな

喫茶店のほうはムッツリーニが警備しておったしのう」

っていた。 ムッツリー 二は明らかに違法じゃね、 というようなスタンガンを使

服の上からでも感電するような代物らしい。

後はもう何もない。 ただ、 いい試合をするだけだな」

「そうだね」

それ以降は会話もなく、会場へ向かう。

「流石に決勝戦。観客も多いね」

「そうじゃのう」

明久と雄二とは反対側。

ステージの裏から聞こえる歓声を聞く。

れたときに比べれば随分と楽な気持ちでいられる。 全く緊張していない、といったら嘘になるけど、 昨日拳銃を向けら

張は窺えない。 秀吉も、 演劇で観客の前に立つのは慣れているのか顔色も普通で緊

鮎川君と木下君。 入場が始まりますので急いでください」

係りの先生が手招きをしている。

係りに生徒ではなく先生を配置していると所からも、 今までとは違うと分かる。 この決勝戦は

ステムによる召喚大会決勝戦を行います!』 『さて皆様、 長らくお待たせいたしました! これより試験召喚シ

社会的に注目されている試験校だから、 聞こえてくるアナウンスの声は、 もしかしたらプロを雇っているのかもしれない。 今まで聞いたことのない声だった。 ありえなくはない。

『出場選手の入場です!』

『二年Fクラス所属、 皆 樣、 拍手でお迎えください!』 坂本雄二君と、 同じくFクラス所属吉井明久

明久と雄二が入場してくる。

会場に響く拍手は昨日よりも多く、 ことが分かる。 かなりの数の観客が入っている

きっと、 この観客の中に姫路さんのお父さんもいるのだろう。

年生の最下級であるFクラスのコンビです! 下級という認識を改める必要があるかもしれません a なんと、 最高成績のAクラスを押さえて決勝戦に進んだのは、 これはFクラスが最

うむ。 あの司会者、 これで姫路の父親にも好印象になるじゃろう」 嬉しいことを言ってくれるね」

きっと、 これは今の僕達の取ってはありがたい。 試験召喚システムの効果をPRする狙いがあるのだろうけ

木下秀吉君です! 7 対するこちらも二年Fクラス所属鮎川蓮君と同じくFクラス所属 こちらは、 三年生のAクラスを押さえて決勝に

明久たちと同じように拍手と歓声を受けながら階段を上りステージ へと上がる。

の点数に比例した 『それでは、 ルールを簡単に説明します。 試験召喚獣とは、 テスト

司会のルール説明を聞き流しながら、 雄一、 明久と対峙する。

「さてと、ついに直接対決だな」

そうだね。 明久と、雄二相手でも、 負ける気はないけどね」

それはこっちの台詞だよ。絶対に勝ってみせる!」

「手加減はせんぞ。真剣勝負じゃ!」

司会の説明も終わり、 『それでは試合に入りましょう! 審判役の先生が、 選手の皆さん、 僕らの間に立つ。 どうぞ!』

- 「「試験召喚」」」」

四人とも、 いつもと変わらない姿の召喚獣が呼び出される。

"日本史 Fクラス 坂本雄二&吉井明久

ᆸ

!? 明久、どうしたのその点数?」

ぞ!」 久、あそこまでやってやったんだから、 「ここしばらく、 明久の勉強につき合わされ続けだったからな。 これで負けたら承知しねえ 明

「わかってるよ」

せいぜい雄二が200点に明久が100点だと思っていたのに。 くつ! 明久がここまでの高得点を取ってるとは誤算だった。

『日本史 Fクラス 鮎川蓮&木下秀吉

418点& 83点

**6** 

「ちっ! 流石に蓮はでたらめな点数だな」

「本当だよね。でも.....負ける気はしないよ!」

こっちも油断はしないよ。 Fクラスの力は点数じゃ 量れないって

のは試召戦争で思い知ったしね」

こちらも負ける気はないのじゃ!」

も下手に動くと二対一に持ち込まれかねない。 向こうはうかつに動けば僕の召喚獣の点数が脅威になるし、 お互いににらみ合ったままの膠着状態が続く。 こちら

「衝撃波」

. 「なにっ!」

左手を後ろに向けての衝撃波の使用。

大きい反動を利用して、 一瞬で雄二の召喚獣に肉薄する。

「ツ!?」

雄二は両手のメリケンサックで、受けきった。雄二の召喚獣に横なぎの一撃を浴びせる。

雄|-!

こちらに駆け寄ろうとした明久に、秀吉が切りかかる。 「余所見をしている暇はないぞ、 明久ぁ!」

くっ

雄二、悪いけど先に倒させてもらうよ!」

雄二の召喚獣に、 点数、 リーチで勝っている僕の召喚獣は終始有利

に戦いを進める。

近づいてくれば、 左手。 離れれば剣の一撃。

はああぁっ!」

! ? チィッ!」

僕の召喚獣が、 雄二の召喚獣を切り倒し雄二の召喚獣は消滅した。

.. 済まぬ、 蓮

向こうでも明久が秀吉を倒したところだった。

「勝負だ! 蓮 ! 」

望むところだ!」

僕と明久の召喚獣がすれ違う。

日本史 F クラス 吉井明久 132点 V S F クラス 鮎川蓮

衝撃波での点数消費が痛い。

V S 308点

6

う。 まだ腕輪は使えるけれど、 明久はそんな隙を与えてはくれないだろ

「はああぁっ! ぐっ!」「くっ! とりゃあっ!」

試合は正に一進一退。

僕の召喚獣の大きい得物では動きの早い明久の召喚獣を捕らえきれ

ない。

明久の召喚獣も、 迂闊に攻められない上にリー チで負けている分戦

いにくそうだ。

袈裟切り、 突き、足払いに上段からの振り下ろし。

お互いに一 瞬も止まることのない攻撃の応酬はお互いの点数をしっ

かりと削っていた。

蓮はどうして観察処分者でもないのにそんなに召喚獣の

扱いが上手いのさ! 転入生なのに!」

「そんなこと教えられるわけないでしょ!」

鍔迫り合いに移行する。

点数では僕が勝っているけれど、 ないのに対して明久の召喚獣は木刀をしっ 僕の召喚獣が剣を片手でしかもて かりと両手で持っている。

鍔迫り合いでは僕のほうが不利だ。

「おりゃあっ!」

「うわっ!」

鍔迫り合いで押され気味になっていたところを、 左手で明久の召喚

「衝撃波」

!?

を明久の召喚獣に向ける。 明久との距離ができたところで、 右手の剣を地面に突き刺し、 左手

こんだ。 左手から放たれた空気の奔流はあっという間に明久の召喚獣を呑み

「はあああぁぁっ!」

! ?

明久の召喚獣が足元に現れた。

!

「蓮の腕輪って、弱点があるよね」

そのとおりだ。

僕の召喚獣の腕輪、 の弱点がある。 7 衝擊波。 は 見便利に見えるれどいくつか

ドから弾き出されかねないほどの反動がかかる。 一つは大きい反動。 召喚獣をしっ かり固定していなければフィ ル

に数瞬のタイムラグがある。 で効果を発揮するのに比べて『衝撃波』 二つ目はタイムラグ。 姫路さんの『熱線』 には発動から放たれるまで が発動してからほぼ一瞬

くなる。 るූ 三つ目に効果範囲。 つまり裏を返せば僕の召喚獣に近ければ近いほど効果範囲が狭 衝撃波は進んだ距離が長いほど効果範囲を広げ

えに剣も使えない。 そして、 反動があるために、 発動している間は僕の召喚獣は動けう

、これで 終わりだぁ!!」

まった。 僕の召喚獣は、 明久の召喚獣が木刀を突き出してくる。 回避も防御もできずにまともにその一撃を受けてし

日本史 F クラス 吉井明久 8点 ۷ Տ ۷ Տ F クラス 0 点 鮎川蓮 ᆷ

9

坂本、吉井ペアの勝利です!

 $\Box$ 

## 第二十九問 召喚大会決勝戦! F対Fの頂上決戦。 (後書き)

土日にストックが出来なかったOTZ

本当なんで土日のほうがPCに触れないんでしょうか.....

# 第三十問 友情の輪の中に入れないのは想像以上に凹む…… (前書き)

PV2万突破を確認しました。

これを糧に、今の更新ペースを維持していきたいと思います。

大分きつくなってきましたが (汗

# 第三十問 友情の輪の中に入れないのは想像以上に凹む......

バカテスト 現代社会

問『動物や植物 (トー 連していると信仰することをなんというでしょう』 テムと呼ばれる)が、 自分達の部族に深く関

姫路瑞希の答え

『トー テミズム』

教師のコメント

ましょう。 正解です。 人類の宗教的思想の基本的なものですので覚えておき

鮎川蓮の答え

『トー テムポー ル』

教師のコメント

それはインディアン部族が作成した偶像の一種です。

吉井明久の答え

『13トーテムポール!!』

教師のコメント

なぜ13本なんですか?

鮎川蓮のコメント

コイツ......なんで微妙に古いネタを持ち出してきやがるんだ!

友情の輪の中に入れないのは想像以上に凹む.....

授賞式と、腕輪の簡単なデモンストレーションを終えて、 って明久がダメージを受けている。 る途中なんだけど、待ち構えていた葉月ちゃんの抱きつき攻撃によ 「お兄ちゃん! すっっっごい格好良かったよ!」 教室に帰

「あはは。そうでもないよ」「四人とも、お疲れ様。凄かったわね」

「お兄ちゃん、凄いですっ~」

「葉月ってば、アキが困ってるわよ?」

深刻なダメージが刻まれてしまう。 身長的に、 葉月ちゃんが明久に甘えれば甘えるほど、 明久の鳩尾に

'あの、吉井君」

゙あ、姫路さん。僕の活躍見てくれた?」

なってくる。 なんだろう。 バカな明久がここまで自慢げに話していると殴りたく

てもらおうかと思うくらい!」 はいつ! とっても素敵でした! 今度土屋にビデオをコピー

姫路さんの目がきらきらと輝いている。

躍はあまり写ってないと思う。 けれど、 おそらくムッツリーニのとっているビデオには、 明久の活

点数が良かったわね」 「 坂本。 アン 夕試召戦争のときは散々だったくせに、 今回は随分と

重点的にやってきたからな」 「試召戦争のときに散々だっ たからこそ、 た。 あれ以来、 日本史は

「それであんなに高得点だったんだ」

こういわれると納得がいった。 いくら雄二でもあの点数はちょっとおかしいと思っていたんだけど、

話)を明久が聞いてからは、 たからな」 簡単に言うが大変だったぞ? 殆ど毎晩奴の勉強につき合わされてい 特に先週例の話(姫路さんの転校

なるほど、 どうりであの明久が150点オーバーなんていう成績を

残せたわけだ。

それにしても、 そこまでして僕と秀吉を倒したかったんだろうか..

後夜祭のとき、 お話しがあるので駐輪場まで来てください!」

見ると顔をトマト並みに真っ赤にした姫路さんがダッシュで喫茶店 後ろから突然、告白の前フリみたいな台詞が聞こえてきた。 に戻っているところだった。

そんな台詞を言われた明久は

「......あれ?」

どうやら今の台詞が本当に自分に向けられたものかどうか考えてい るらしい。 こんな調子だと、 後夜祭のときも約束を忘れるんじゃないだろうか。

今度は表情が変化しだした。

本人は一言も発していないから、そばで見ていると妄想癖の危ない 人に見える。

手伝ってもらえぬかの?お主らの優勝と、 で客が増えて大変なんじゃ」 明 久、 雄二、蓮。 話し込んでいるところ悪いのじゃが、 ワシ等の準優勝のおかげ 喫茶店を

明久の行動にちょっとドン引きしていると、 着替え終わった秀吉が

イナ服のスカートを翻しながらこちらに走ってきていた。

の同類になってしまいそうだから止めよう。 ここで下着はどうなっているんだろう、 何て考えてしまうと、 明 久

だから、 そういえばそうだったわね。 きっちり手伝ってもらうからね!」 ほらアキ! もう大会もないん

「うん。 今まであまり手伝えなかった分しっかり頑張るよ!」

「やれやれ、かったるいな」

ほら坂本も文句言わないの!」

秀吉の言葉に三者三様の反応を示しながら、 喫茶店の中に消えてい

僕を残して。

「大丈夫じゃ。ワシはおぬしのことも呼んだぞ」「えっと.....僕ってマジで忘れられてない?」

決勝戦が終わってから、 なくなったようだ.....。 本格的にクラスの皆に僕の存在が認識され

秀吉に慰められながら、 きっと哀愁が漂っていたに違いない、 ウエイトレス服に着替える僕の背中からは Ļ 蓮は断言します。

 $\Box$ ただいまの時間を持って、 清涼祭の一般開放を終了しました。 各

「お、終わった.....」

「 流石に疲れたのう.....」

「 最後のほうは皆休憩なしだったからね.....

「.....(コクコク)」

ら力が抜けるのを感じた。 二日間にわたった清涼祭の終了を告げる放送を聴いた途端に、 足か

なまじFクラスは教室が狭いからお客さんを捌くのが大変なんだよ まさか、 あそこまでお客さんが増えるとは思わなかった。

明久がふと声を漏らす。忙しくて忘れていたけれど、そもそも今回 の清涼祭の一番の目的は姫路さんの転校阻止だ。姫路さんのお父さ んは顔も知らないから喫茶店に来てたとしても分からないけれど。 「そういえば、姫路さんのお父さんはどうしたの?」

ん? 未来のお義父さんが気になるのか?」

「な!? べ、別にそういうわけじゃなくて!」

げるよ」 はいはい。 明久がそういうなら今はそういうことにしておいてあ

「ちょ、蓮まで.....」

さっき忘れ去られたことの復讐だったりする。

きじゃ 後夜祭のときに話をしに行くといっておったから、 結論はそのと

秀吉が返事を返してくれる。

からな。 めてくれるとは思うけど、 喫茶店が成功して、 し、それになによりFクラスから召喚大会の優勝チームと準優勝チ ームが出たんだ。 姫路さんのお父さんもこれでFクラスのことを認 教室の設備も改修もどうにかするめどが立った 人の心 特に親心は僕には分からない

「じゃ、ウチらは着替えてくるわ」

「ええっ!? どうして!?」

僕には明久のその反応がどうして、 なんだけど...

「どうしてって言われても......恥ずかしいからに決まってるでしょ

?

その反応は至極当然だと思う。

間違っても葉月ちゃんみたいにあの格好のまま平気で帰るようにな ってはいけない。

「すいません。すぐ戻りますので」

待って! 二人とも考え直すんだ! カムバアー ・ック!」

こうしてみると、 から不思議だ。 姫路さんと島田さんが明久を振ったように見える

現実ではありえないけど。

· ふむ。 ならばワシも \_\_\_\_\_

秀吉の足にしがみつく明久。 させるかっ! せめて秀吉だけは着替えさせない アホなんじゃ ないだろうか。

「 なっ!? 何をするのじゃ明久!」

「.....(フルフル)」

前言撤回。 ムッツリーニも明久と同じように秀吉の足にしがみついている。 やっぱりコイツらアホだ。

ムッツリー 二のこの行動にはあまり驚かなくなってきた。

常日頃から霧島さんから逃げ回っているだけあって無駄にタフだ。 明久を呼ぶ雄二の声は全くといっていいほど疲れを感じさせない。 「追い明久。 遊んでないで学園長室に行くぞ」

「そうじゃったな」

忙しくていけなかったけど、 一応報告はしないと。

「三人とも先に行っておいてくれ。 そうは行かない! 秀吉も一緒に行く!」 ワシは着替えてから

「......(クイクイ)」

「あっ、ムッツリーニも来る?」

「.....(コクコク)」

なんとしてでも秀吉を着替えさせまいとする明久とムッツリーニ。

Ļ いうかこういう時だけ無駄な意思疎通の早さだ。

困ったのう。 雄二、何とか言ってやってくれんか?

を説得するのも面倒だし」 まあいいだろ。 秀吉とムッツリーニも行こうぜ。 明 久

「ならば蓮」

「右に同じ」

る

この状態の二人を説得するのは面倒とか言うレベルを通り越してい

れやれ、 雄二に蓮まで.....。 仕方ないのう。 着替えは後回しじ

うん 「よし。 ほら明久にムッツリーニ。秀吉の足を離してやれ」」

「......(コクコク)」

やれやれ、 いうか雄二と蓮はワシを売ったような気がするのじゃが」 ワシのこんな姿を見ても何の足しにもならんじゃろう

決してそんなことはないと思う。

「失礼しまーす」

邪魔するぞ」

明久と雄二がいつものようにノックと挨拶をして学園長室にづかづ かと入り込む。

おぬしら、やはり全く敬意を払っていないように見えるのじゃが

....

「そう? きちんとノックをして挨拶をしたよ?」

まあ、 明久の態度は雄二と比べればいくらかマシではある。

アタシは前に返事を待つように言ったはずだがねえ」

あ、学園長。優勝の報告に来ました」

処の誰だと思ってるんだい」 「言われなくても分かっているよ。 アンタ達に賞状を渡したのは何

遠慮の文字がこの世で一番に会わない、 容姿が妖怪じみている老婆。

「ちょいとそこのジャリ、何か言ったかい?」

「いえ、何も」

フン.....そうかい

チッ! いババアだ。 耳元で叫ばないとろくに会話も出来なさそうなのに察しが

明久が貰ったばかりの白金の腕輪を見せながら尋ねる。 「それで、 白金の腕輪は返却したほうがいいですか?」

だ それは後でいいさね。どうせ不具合はすぐには直らないん

「そうなんですか」

はどうにもならいないよ」 「まあ、召喚システムに関連している技術である以上一朝一夕身に

偶然やオカルトで出来ているシステムだけに、簡単にいじることは 実際、召喚システムは、未だに制御が出来ていない。 出来ない、 るらしい。 筈なのだが、そこにいるババァは遠慮なくいじくってい

ったんだ?) (そういえばどうしてあいつらは俺達がババァと繋がっていると思

雄二がぶつぶつ呟いている。

明久には聞こえなかったみたいだけど、僕には聞こえていたのでそ

の疑問に答えると、この部屋には盗聴器が

言う取引はこれで 「だから、教室の改修と交換で条件で僕達がこれをゲットするって

「待て明久! その話はマズイ!」

え?」

. 盗聴の気配」

そうだった。 メンバーの中には思ったことをすぐ口にする明久がい

たことを忘れていた。 盗聴器を外してから話すべきだったか.....

盗聴だ! ちょつ.....雄二、 あいつら..... 奴ら、 どういうこと!?」 学園長室に盗聴器を仕掛けてやがったんだ!」 追うぞ明久!」

とになる!」 いたはず。もし、 今の一連の会話、 なんだって!?」 というかおそらく録音してるだろうから大変なこ 特に明久の『学園長との取引』 の話も聞かれて

「録音!? 冗談じゃない!」

あの足音と気配からして常夏コンビだったはずだから、 録音が公開されれば、文月学園の信用は地に堕ちる。 けて常夏ごと証拠を隠滅しないと! さっさと見

分かった、 (コクリ)」 秀吉とムッツリーニも協力して!

急げ!」

えっと、 あっ! 明 久、 蓮も!」 僕もいるんだけど.....」

こと! なんかついでで言われて気がして、 というかまた忘れてたよね僕の

向こうは例の常夏コンビでしょ

そうだ! チラッと例の髪形が見えたから間違いない

ってことは二人組みだよね! こっちも二人組みに分かれよう!

皆常夏コンビの特徴は覚えてるよね?」

坊主とモヒカンじゃな?」

ああそうだ」

「了解じゃ! ワシとムッツリーニは外を探す!」

えっと.....

「僕は?」

え.... できるだろう?」 「蓮はすまないが一人だ。 お前なら一人でもあの常夏を伸すことが

まあ、否定はしない。

「明久!」まずは放送室を押さえるぞ!」

「オーケー!」

「僕は潜伏できそうな場所を片っ端から当たってみる! 携帯電話

はいつでも出られるようにしておいて!」

「了解だ!」」

波乱尽くめの清涼祭。 まだまだ終わらせてはくれないようだ!

# 第三十問 友情の輪の中に入れないのは想像以上に凹む…… (後書き)

次回で清涼祭は終了する予定です。

ほんとは30話で終わらせるつもりだったのに.....

え ? なんか過去最高峰に gd gdな気がする今回の話。 いつもだろ? ハハハ.....否定はしませんが。

取りあえず、今回で清涼祭篇終了です。

### バカテスト 英語

問『今あなたが持っているものを英語で答えてください』

姫路瑞希の答え

This is a pen:

教師のコメント

正解です。当たり前ですね。

#### 鮎川蓮の答え

h a v e а pencil s h a r pener n o W

教師のコメント

どうして鉛筆削りだけを持っているのですか?

#### 土屋康太の答え

This is a camera

教師のコメント

後で職員室に来てください。

#### 霧島翔子の答え

This is Yuji:

教師のコメント

前回までのあらすじ

そこでも飛び出した明久の不用意な一言。 学園長との取引も達成し、 召喚大会も無事に終わり、明久と雄二が優勝を勝ち取った。 僕達は意気揚々と学園長室へ。

第三十一問

清涼祭終了!

最後の最後まで波乱尽くしでした.....。

タフなクラス代表) 録音された音声が公開されたら大変なことになるぞ! b ソ無駄に

緊迫の清涼祭クライマックスが今始まる! 僕達は無事に常夏を見つけ処刑することが出来るのだろうか!?

あらすじ終

「......いないか」

四階の教室、 トイレを探し、 常夏がいないことを確認する。

「常夏が行きそうなところ.....」

常夏は教頭と繋がっているわけだから、 教頭室、 は可能性としては

あるけど、

教頭室に一般生徒がいたら怪しまれるからこれはバツ。

放送室は明久と雄二が抑えたはずだからバツ。

校外逃亡は、 ムッツリーニと秀吉が阻止しているからバツ。

失わせること。 常夏の目的は、 僕達の取引の内容を公にして学園長と僕達の信用を

ならば、 校内放送するのが手っ取り早いはずだけど....

「放送?」

放送室以外で校内放送が出来るところは、 職員室か、 清涼祭の....

「屋上か!?」

後夜祭で使うために新校舎屋上にも放送機材を置いているはずだ。

屋上に向かって走っている中、携帯に着信が入った。

「もしもし?」

『蓮! 常夏の居場所が分かったぞ!』

秀吉か。

「で、何処なの?」

『新校舎の屋上じゃ!』

やっぱりか。

「僕が今向かっている! 明久と雄二に

『もう伝えておる』

なら大丈夫だろう。

話している間に屋上の扉の前まで来る。

ドアノブに手を掛け、開け

「とにかく伏せろぉ!」

ドォン!

「......え?」

ドアの向こうから、常夏の慌てた声と、 爆発音が聞こえてきた。

この音は.....花火?

ドォン!

二発目。

さっきから、 ドアからガチャガチャという音が聞こえている。

·って、よく見たら鍵閉まってんじゃん」

常夏はご丁寧に鍵まで閉めて放送を企んでいたらしいが、 目に出たね。 今回は裏

僕の出番はなさそうだし、秀吉たちに合流しようか。

校舎から出る前に、三発目の爆音と、 校舎の揺れが伝わってきた。

校舎の一角が無残にも崩れ去っていた。

早くここから立ち去ろう。長居すると僕まで厄介ごとに巻き込まれ 「こ、校舎がゴミのようだ.

そうな気がする。

「何で僕なの!? 誰か、 誰か助けてえっ! 変態教師に犯されそ

うですーっ!」

「貴様よりによってなんて悲鳴を上げるんだ!」

校庭では雄二&明久VS鉄人の命を掛けたマラソンが行われていた。

遅れてごめん~

遅かったの蓮」

.....もう始めている」

どうして僕に電話するまでは校内にいた二人が既にまったりと打ち

上げモー ドに入ってるんだろう?

本当、 遅いわよ」

..... 優子?」

秀吉の隣にもう一つ同じ顔があった。

「どうして優子がここに?」

Aクラスは打ち上げなんてやってないからね。 お邪魔したっ

何処まで真面目なんだAクラス。

痛てて.....。随分と殴られたよ.

くそっ、鉄人め。 あの野郎は手加減を知らないのか」

明久と雄二も来たようじゃな」

......先に始めておいた」

「追いかけっこお疲れ様」

雄二と明久も無事(?)到着したようだ。

ただ、 二人とも顔の面積がいつもの2倍近くに膨れ上がっている。

「そういえば、 明久と雄二は何処をぶっ壊したの?」

遠くからじゃ、 どの部屋が爆発したのか分からなかった。

教頭室だよ」

ああ。 今頃ババァのがさ入れが始まっているころだろうな」

なるほど.....ご苦労様」

優子がポツリと漏らした。 「それにしても、 こういう賑やかなのもいいわね」

「まあ、Fクラスならではだよね」

「普段は迷惑なんだけどね」

゙.....返す言葉もございません」

「そういえば、 お店の売り上げってどうだったの?」

明久の呟き。

そういえばまだ知らされていない。

な額になったんじゃないかしら」 「そうね。 すごいって程じゃないけど、 二日間の稼ぎとしては結構

そういって島田さんが収支の書かれたノー トを見せてくれる。

「ふむ。どれどれ.....」

「これは.....」

雄二と顔を見合わせる。

机と椅子を50セット買うにはどう見積もっても足りない。 「「この額だと、 机と椅子は厳しいな。 畳と卓袱台がせいぜいだ」

やっぱり、 出だしの営業妨害が痛かっ たよね」

明久の言うとおりだ。

喫茶店では、どれだけの数お客さんが来ても店の席の数や回転率に

は限界がある。

清涼祭序盤の暇な時間が勿体無かった。

「すいません。遅くなりました~」

そういえば後夜祭のときにお父さんと話をするって言ってたっけ。 ちょっと考え込んでいると、後ろから姫路さんの声が聞こえてくる。

「あ、瑞希。どうだった?」

はいっ! お父さんも分かってくれました! 美波ちゃ んの協力

のおかげです!」

それは良かった。

姫路さんの転校阻止という、 今回の最大の目的は達成されたわけだ。

・ 姫路さん、お疲れ様」

「あ、吉井君.....」

僕はお邪魔みたいだから退散しようかな。

明久たちから離れたところにいた、秀吉と合流する。

「秀吉は姫路さんの転校の話しは気にならなかったの?」

な。 「いや、ワシは姫路のお父上も分かってくれると信じておっ それにあまり大人数で詮索するのも迷惑じゃろうて」

ぉੑ 大人だ.....。 優子とは比べ物にならないほど大人だ。

「何か言った?蓮」

「のわあっ!」

秀吉の後ろから、 もう一つ同じ顔が現れたって、 この下り前にもや

った気がする。

「優子も居たんだ」

何よ、アタシがいたら迷惑だって言うの?」

「いや、全然」

「そ、そう。ならいいけど.....」

そういってコップからジュースを飲む優子の顔は心なしか少し赤い。

あのさ.....蓮」

「ん? どしたの?」

. 昨日はありがとう」

「.....何の話?」

「ほら、アタシ達が連れて行かれたとき」

「あー、あの誘拐事件?」

「うん。 あの時蓮が来てくれなかったらどうなってたか...

来ても危なかったけどね」

拳銃まで出てきたときは本当に死ぬかと思った。

゙あの時は本当心配したんだから.....」

「アハハ.....自分でも死んだと思ったよ.....

「まだ、お礼言ってなかったから」

別にそんなこと気にしなくてもいいのに。

もし優子たちがあいつらに傷つけられてたら冗談抜きで皆殺しにし

ていたと思うし、何もなくてよかった。

「ねえ、右手は本当に大丈夫なの?」

「うん。打撲と裂傷だけで済んだし」

僕はそういって包帯が巻いてある右手を見せる。

「!? 血が....」

「へ? あ、本当だ」

つの間にか傷口が開いていたらしい。 包帯が赤くにじんでいる。

- 本当に大丈夫なの!?」

心配性だなあ。 こんなの血が出てるだけで別になんともないって」

...... ダメ」

「何がダメなの?」

「ちゃんと見せなさい」

優子が僕の右手に手を伸ばす。

「大丈夫だって」

僕は右手を引っ込める。

「むぅ~~大人しく見せなさい!」

「うわっ!」

優子が僕を押さえつけるように覆いかぶさってきた。

にゅう」

しかもあろうことか僕の胸に顔をうずめてくるんだけど!?

ん? !

なんか酒臭いぞ。

優子が落としたジュースの缶を見る。

『オトナのオレンジジュー ス』

ああ.....酒か.....。

誰だ優子に酒を渡したのは! なな そもそも酒を買っ

てきたのは誰だ!」

僕の必死の叫びも、 大半がお酒に酔っているクラスメイトには聞こ

### えなかったようだ。

「あ、姉上が蓮を襲っておる!?」

「秀吉!」

良かった。どうやら秀吉は無事なようだ。

早く優子をどけてくれると.....

「済まぬ。邪魔をしたの」

「待って!? 出来れば優子をどかしてもらいたいんだけど!?」

いや、蓮が姉上を酔わせて襲わせておるのかと……」

`しかもものすごい勘違いしてるし!?」

秀吉に必死に事情を説明して、何とか納得してもらえた。

「姉上、この体勢はまずいのじゃ」

「うん……」

「あれ? 寝ちゃってる?」

いつの間にか眠ってしまったようだ。

「じゃあ、秀吉、優子をよろしく」

ガシッ!

秀吉の優子を任せて帰ろうとすると、 優子に制服を掴まれた。

「ちょ、優子!?」

「う.....蓮.....」

「はい?」

「.....すう.....」

寝言か。

どうしよう秀吉?」

「どうしようも何も……そうじゃ!」

秀吉が何かひらめいたようだ。

「お主が姉上を家まで運べばよいのじゃ」

「なぜに!?」

このままおいていくかの?」 姉上が蓮を離さないのであればそうするしかあるまい。 それとも、

それはしたくない。

八 ア : 分かったよ。 じゃあ、 秀吉道案内よろしく」

うむし

優子を抱きかかえた後、 掴まれている手を離し、 背中に優子を回す。

お、蓮と秀吉、どうしたんだ?」

れた。 優子をおんぶして、 公園を出ようとしたところで雄二に声を掛けら

「優子が酔っ払って寝ちゃったから送っていこうかと思って」

そうか」

見つかったのが雄二でよかった。 たらその場で襲われるところだったよ。 明久やFFF団の連中に見つかっ

はなっ 背後から明久の悲鳴と思わしき声が聞こえてきたのが聞こえて気に た。 だろうと当たりをつけて、 僕と秀吉は、 たけれど、 酔っ払いで死屍累々の様相を呈していた公園を出た。 おそらくまた明久を島田さんが痛めつけているん 心の中だけで冥福を祈っておくことにし

「しかし、姉上がのう」

「ん? どうしたの秀吉?」

秀吉が何か意味深な台詞を言った。

のう いや、 姉上がワシ以外の男子がいるところで寝るとは思わなくて

「酔っ払ってるからね」

いと思うておったんじゃが」 「うむ……姉上ならば酔っ払っておっても男子の前で寝ることはな

...... アルコールの力を舐めないほうがいいよ」

「はあ、 姉上も大変じゃの.....。 まあ、 良い。 ぁ 蓮その角を右じ

秀吉と話しながら歩くこと15分。

**「ここじゃ」** 

一軒家の前に来た。

「ここが秀吉の家?」

うむ」

そういえば、知らない男が娘を背負って帰ってきたら、 家の人は

僕に襲い掛かるんじゃ.....」

はわしも姉上も話しておるから」 何気に失礼なことを想像しておるの..... 大丈夫じゃ。 蓮のこと

「そうなんだ」

それに、今日は母上も父上もおらぬ」

僕の心配を返してほしい。

「さあ、姉上の部屋は二階じゃ」

「 おじゃ ましまーす」

家の中に入って、階段を上がる。

「この部屋じゃ」

え.....

部屋だった。 秀吉に案内されたのは、 ドア開けっ放しの下着や本が散乱している

しかも落ちている本が、 その、 所謂BでLなもので.....。

優子の新たな一面を知った日だった。

秀吉もろとも理不尽な折檻を受けたのは別の話。 ちなみに、 次の日僕が優子を部屋まで送ったことが優子に知られて、

## 第三十二問 たった一枚の紙が多くの人間を動かした。

バカテスト 日本史

史上の人物を答えなさい』 問『楽市楽座や関所の廃止を行い、 商工業や経済の発展を促した歴

『織田信長』姫路瑞希の答え

教師のコメント

正解です。

『六角定頼』

えっと……? 教師のコメント

鮎川蓮のコメントえっと.....?

島田美波の答え 日本の歴史上最初に楽市令を布いた人物です。

『ちょんまげ』

この回答を見て先生は少し不安になりました。もう日本には慣れましたか?

吉井明久の答え

『ノブ』

ちょっと馴れ馴れしいと思います。教師のコメント

第三十二問 たった一枚の紙が多くの人間を動かした。

現在清涼祭の騒動の中心にいた我らがFクラスは朝のホー 清涼祭が終わって文月学園は一種の開放感に満ちている。

最近気づいたことなんだけれど、 寸分の狂いもなくやってくる。 あの先生は時間にも厳しいようだ。 鉄人はHRの開始時間ぴったりに

久。 いつものことではあるが、 「はい」「工藤」 HRぎりぎりに教室に滑り込んできた明 「はい」「久保」 「はい」

毎日毎日全力疾走しているのだろうか?

・近藤」「はい」「斉藤」「はい」

ている。 淡々と進む出席確認。 鉄人の声にクラスメイトは眠そうに返事をし

いつもと代わり映えのしない朝。

照らしている。 春先に比べ、幾分か熱を帯びてきた日差しは今日も穏やかに地上を

今日もまた平穏で穏やかな日常が

『殺せえつ!!』 「 坂本」「 .................. 明久がラブレター を貰ったようだ」

雄二の一言であっという間に非日常(騒動)へと変貌した。

と聞き取っているあたり、 用しないと改めて思い知らされる。 いつもよりも小声で話していたというのに、 いきなり何て事を言い出すのさ!! Fクラスの連中には世間一般の常識が通 教室の誰もがしっ かり

席の近くを探してみろ!』 『それなら俺達だって貰っていてもおかしくないはずだ! どういうことだ!? 吉井がそんなものを貰うなんて!』 自分の

るんだ。 僕から見て、 明久とFFF団の間には越えられない壁がある気がす

『もっとよく探せ!』 ダメだ! 腐りかけのパンと食べかけのパンしか出てこない!』

必死で探しているFクラスの男子。

非常に見苦しいが今一度良く考えてほしい。

もしこの捜索でラブレターが出てきた場合、 その人もFFF団の殺

害対象に入るということを。

..... 出てきたっ! 未開封のパンだ!』

『お前は何を探しているんだ!』

れほどのパンが隠されているのかについて議論すべきだと思う。 その突っ込みの前に、どうしたら卓袱台と畳しかないこの教室にそ

「お前らっ! 静かにしろ!」

鉄人の一言で、 先ほどまで響いていた怒号が嘘のように静まり返る。

「それでは、出席確認を続けるぞ」

静寂の中、鉄人の出席簿をめくる音だけが響く。

ロス 「手塚」 「吉井コロス」 「藤堂」 「吉井コロス」 戸沢」 「吉井コ

流石はFクラス。

皆が寸分違わずに明久への呪いの言葉を口にする。

「皆落ち着くんだ! 何故か返事が『吉井コロス』 に変わっている

よ!」

「吉井、静かにしろ!」

明久の必死の叫びを一蹴する鉄人。

なんだかんだ言っても、 Fクラスの扱いにおいてこの人に勝る人は

「新田」 先生、 ブチ殺す」 とクラスの皆は僕に殴る蹴るの暴行を加えてしまいますよ!」 ここで注意すべきは僕じゃないでしょう!? 「吉井コロス」「布田」「吉井マジ殺す」 「根岸」 このままだ

明久の文字通り命がけの抗議も見事なまでのスルー。

我関せず、とでも言うようにこの殺気漂う異様な教室から出て行こ うとする鉄人。 「待って先生! 遅刻欠席はなしだな。今日も一日勉学に励むように 行かないで! 可愛い生徒を見殺しにしないで!」

ょっと気持ち悪い。 もうなりふり構ってられないのは分かるんだけど、 それを必死に引き止めようとする明久。 明久の台詞がち

ドアの取っ手に手をかけたまま立ち止まり明久に声を掛ける鉄人。 何が言いたいんだろう? 吉井、 間違えるな 自分のことは自分で何とかしろ、 とかか

「お前は不細工だ」

不細工とまで言われるとは思わなかったよバカ!」

たまに鉄人が本当に教師なのか疑問に思う。

それって休み時間は何をしててもいいって事だよね? 先生待って! 授業は真面目に受けるように」 せんせー

つ 明久の必死の呼びとめもむなしく、 てしまった。 鉄人はさっさとドアを開けて去

鉄人という強力無比なストッパーを失い、これでこのクラスでこれ から起こるであろう暴動を止めることが出来る存在はなくなった。

速攻、 明久の顔から冷や汗が出たところを見ると、 るのだろう。 というべき速さで島田さんが明久の肩を掴む。 ちょ~っと話を聞かせてもらえる?」 かなりの握力で掴んで

「あーえっと、そのー」 手紙を貰ったの? あはは..... 美波、 誰からなの? 顔が怖いよ? どんな手紙なの?」

光景も異常だが、 るのかもしれない。 まだ付き合ってもない二人がこうして命のやり取りをしているこの して受け入れてしまっているあたり僕も普通ではなくなってきてい この光景に全く驚かないどころか、日常の一部と

りすぎだ。 図々しいにも程がある。 自分で告白も出来ないくせに人一倍に嫉妬心だけは働かせるなんて 島田さんに一つ言わせて貰うとすれば、 いからおとなしく指の骨を じゃなくて手紙を見せなさい 明久の手紙一つで必死にな

「あの、明久君」

「ん、なに?」

明久に声を掛けたのは、 味で女性とは言えない) Fクラスの紅一点 (島田さんはいろんな意 である姫路さんだ。

その ... できれば、 ですけど.....私にも手紙を見せてほしい

さん。 どこぞの狂戦士とは違いかなり遠慮がちに明久のお願いをする姫路

彼女はこのクラスで数少ない常識人なので、 くれるだろう。 明久が断っても諦めて

「その.....ごめん」

「でも、でも.....」

意外と食い下がっている姫路さん。

好きな人にラブレターが来るって事は、 な問題なんだろうか。 女子にとってはかなり重要

いくら姫路さんの頼みでも、こればっかりは聞けな いよ

でも私は明久君に酷いことをしたくないんです!」

ことが前提なの!?」 「ちょっと待って! 姫路さんまで僕に (明久に)暴行を加える

前言撤回。 ってきたみたいだ。 彼女も僕と同じかそれ以上にFクラスの異常な色に染ま

「皆、ちょっと落ち着け.

だ。 パンパン、と手を叩く音と共に聞こえてきたのはこの異常なクラス を統べる代表であり、 明久の親友 (と僕は認識している) 雄二の声

今重要なのは明久の手紙を見ることじゃない」

皆に聞こえるようにゆっくりと言葉を紡ぐ。

てくれるのだろう。 きっと嫉妬に狂うFクラスの面々を落ち着かせるようなことを言っ

問題は、明久をどうグロテスクに殺すかだ」

僕は雄二の発言に開いた口がふさがらない。明久が自分の荷物を掴んで教室から走り出す。「前提条件が間違ってんだよ畜生!」

『手紙を奪え! 吉井を殺せ!』『逃がすなぁっ! 追撃隊を組織しろ!』

゚サーチ&デス!』

· せめてデストロイで!」

「何をデストロイするの? 明久の存在?」

「やっぱりそれもなし!!」

冗談抜きでFクラスのメンバー なら明久の存在ごとデストロイしか

ねない。

いたぞ吉井だ! 了解だ! 見失わないように追ってくれ! 空き教室に向かったぞ!」 こっちは全部隊に連

絡を取る!」

ちにするんだ!」 オーケー B部隊は正面から、 C部隊は背後から回って挟み撃

「応っ!」

教室で授業の準備をしていると、 そんな声が聞こえてきた。

なんて無駄な連携力なんだろう.....。

おい 蓮。 お前は明久を殺しにいかないでいいのか?」

雄二こそ」

雄二が声を掛けてくる。

明久にFFF団+島田さんをけ 教室に残っているんだろう。 しかけた張本人の癖にどうしてまだ

俺は明久の行動が読めているからな」

.....屋上でしょ?」

なんだ知ってたのか」

としての屋上の噂は聞いている。 転入して一ヶ月とちょっとしか立たない僕だけれど、 告白スポット

えているに違いない。 きっと明久のことだから、 人も来ないため、告白する人が後を絶たないそうだ。 屋上で下見も兼ねて手紙を読もうとか考

中も捕まえるのは難しい て屋上に行くと思う」 明久相手だと、 ムッツリーニは買収されるだろうし、 ばず。 クラスの連中を振り切って下見兼ね クラスの連

「そうだ、だから俺は

「待ち伏せ、 か

ああ」

明久が雄二に勝てないわけだ。 のほうが上だ。 知力、 体力、 策略全てにおいて雄二

で? 僕になんか用?

いや、 お前は明久の幸せがムカつかないのか?」

雄二はそんな理由で明久を殺しかけてるのか!?」

まさかそんな理由だとは。

よね?」 「分かる分からないの前に友達の幸福は普通祝福してあげるものだ 「ちっ、どうやら蓮は俺たちの気持ちがわからないようだな」

「お前は何を言ってるんだ?」

くっ、まさかここまで常識が捻じ曲がっているとは!

「でぇ? 本題は?」

「ああ、お前も付いて来い」

「なにゆえ!?」

バックアップだ」

だが断る!」

..... 木下姉と一緒に帰ったよな」

!? しょうがない。行こうか雄二」

こいつ、他人を脅すのに躊躇がない!

仕方がないから、 事の顛末くらいは見届けてあげよう。

ちょっと面白そうだし。

「明久君、言うことを聞いてください」

「雄二に姫路さん.....」

階段を上り、明久が屋上へやってきた。

「ちなみに僕もいるからね」

「っ!? 蓮まで.....」

最近、僕の存在感について本気で悩んでいる。

「どうして僕がここへ来ると?」

「屋上は僕でも知っている告白スポットだからね。 明久ならきっと

下見も兼ねてここで手紙を読もうと考えると思った」

明久が忌々しそうな顔をしている。

トイレでも行けば、 誰にも邪魔されずに読めるはずなんだがな」

ぁ

やはりバカだ。

「ゴメン雄二。 僕、 ちょっとおなかが痛いから先にトイレに行って

くるね」

明久君、ずっと気づかなかったんですか.....?」

「しょうがないよ、明久だもの.....」

姫路さんと一緒に明久に哀れみの視線を向ける。

雄二にとってのメリットは何もないはずなのに!」 雄二はどうして僕の邪魔をするのさ! そんなことをしても、

明らかな話題転換。

まあ、あの視線には僕でも耐えられないけど。

すると雄二が、急に真剣に語りだした。

そうだな。 確かにお前の言うとおり、 こんな行動は俺にとって何

のメリッ ち自体が全くない」 トもない。 いせ、 それ以前に俺は彼女がほしいという気持

初耳だ。

雄二だって彼女くらいはほしがっ ていると思っていたのに。

霧島さんとか霧島さんとか霧島さんとか。

「だったら、どうして.....?」

そうして雄二は真剣な顔のままで言い切った。 「そういう問題じゃないんだよ、 明 久。 俺はただ、 純粋に

「お前の幸せがムカつくんだよ」

「アンタは最低の友達だ!」

こんなことする奴はそもそも友達かどうかすら怪しい。

「さて明久。ここで『おとなしく手紙を渡せ』 なんて野暮なことは

言わねぇ。 本気でかかって来い」

雄二は学生服の上を脱ぎ、ネクタイを外した。

あまり見たことがなかったけど雄二の体は、 しなやかで無駄のない、

理想的な筋肉のつき方をしていた。

姫路、上着を持っていてくれるか?」

「あ、はい」

雄二は姫路さんに上着を渡し、 軽くシャドー をして見せた。

鋭い音のするその拳は雄二が喧嘩慣れしていることを思わせる。

本気で明久を殺るつもりだ.....。

明久君、止めておいたほうが.....」

姫路さんが明久に心配そうな声を掛ける。

確かに雄二と明久が戦って、 明久が勝つ確率はかなり低い。

心配ありがとう。 けど、 僕は止める気なんてないから」

「そうですか.....。なら、もう止めません」

「......ごめん。心配してくれたのに」

「 いえ..... なんだか明久君らしいです」

あれ?
これ何処の少年漫画?

「あ、はい」 「僕らしい? っ と。 これ、 僕の分も持っていてもらえる?」

姫路さんに自分の上着を渡す明久。

「「......明久」」

こぶしを握って構えを取っている明久を見る。

「勝負だ雄二!」

いや、そうじゃなくて

「「.....お前、バカだろう」 」

「へ?」

明久が姫路さんに渡した上着。

そのポケットにはピンクの封筒が入っている。

あの、手紙がポケットに入ってるみたいなんですけど.....見

ちゃってもいいんですか.....?」

ダメだよ! 戦わないでそれを見るのは反則だよ

「お前がバカなだけだろうが! やれ姫路! その手紙を始末する

んだ!」

明久と雄二がもみ合っている。

「......あれ? これってまさか.....?」

姫路さんの様子がおかしい。

普通に考えれば他人の思いのつまった手紙を始末することに戸惑っ の様子を見ていると姫路さんが戸惑うようには見えない。 ているように見えるのだろうけど、 普段の明久を始末する姫路さん

「姫路さん!」

「え!? あ、はい。なんですか?」

なしく 人の思いを踏みにじることなんて出来ないってこと。 「僕には分かってるよ。 優しい姫路さんには手紙に込められている だから、

「手紙を細切れにするんだ!」

「違うっ! そうじゃない! 今のは蓮だな! そうやって僕の声

を使ってつなぐのは反則だ!」

「はいっ! 分かりました!」

そういって姫路さんは、 懇切丁寧に手紙を細切れにして見せた。

ああっ ! ? それもう絶対読めないよね!?」

まさか姫路が本当に破るとは思わなかった。 ..... スマン、 明久」

うん.....ゴメン明久」

まさか姫路さんがこんな行動に出るとは思わなかった。

「せめてもの侘びだ」

そういって雄二は手紙の切れ端を集めた・

ありがとう、 雄一。 最後の可能性にかけてこの手紙をつなぎ合わ

せて

未練を断ってやる」

その手紙に火をつけた。

もうこれ100パー てうそぉ ! ? 読めないよね!? ここまでやった挙句、 僕の幸せな未来は何処に行 容赦なく燃やすの

ったの!?」

安心しろ明久。 君に幸せな未来なんて待ってないから。

なっていた。 その後の必死の消火活動(明久のみ)の甲斐なく、 手紙か全て灰に

姫路さんが安心したように僕と雄二に尋ねてくる。 「坂本君と鮎川君は手紙の主が誰だか気にならない んですか?」

- 俺は明久の幸せを妨害できたらそれでいい。 もっとも
- 「誰からの手紙だか、目星は着いてるけどね」
- 「え..... つ!?」
- 確かに、他人の書いた手紙を破り捨てたら問題があるよな?」
- 「そ、それは、その.....っ!」
- 「雄二、その話、もっと詳しく!」
- 「ああ明久君は聞いちゃダメです!」
- 「こぺつ!?」
- Ń 姫路さん!? 明久の首が大変なことになってるんだけど!

?

お茶の間には見せられない姿だ。

ごめんなさいっ! 私 大変なことを一

だからな」 まぁ気にするな。 どうせ生かしていてもあの連中に殺されるだけ

- アーキ アンタよくもやっ てくれたわね
- 『吉井い! 絶対殺すう~~!』
- 『ガンホー! ガンホー!

明久に無事明日は来るのだろうか......

### 第三十三問 坂本雄二結婚大作戦! (前編) (前書き)

昨日は更新できませんでした。

すいません。

こ、今週末こそストックを.....

# 第三十三問 坂本雄二結婚大作戦! (前編)

#### 文月新聞

『明久、 僕が小さな頃、 泥棒でもなんでもいい。 祖父が良くこう言ってました。 一番を目指して精進しなさい』

僕は天国にいる祖父にこのことを教えてあげようと思います。

爺ちゃん....。

これで、いいかい.....?

#### 以上、

『女装が似合いそうな男子ランキングNo・1』

『コイツにだけはバカと言われたくない生徒ランキングNo 1

『モテそうな男子 (同性愛編) ランキングNo ・1』

の三冠を達成した吉井明久さんからのコメントでした。

め除外されています。 木下秀吉さんと鮎川蓮さんはアンフェアであるとの結論に達したた 女装が似合いそうな男子ランキングにノミネー トされていた

Fクラス全員 (秀吉除く)を巻き込み、 の負傷者を出したあのラブレター 騒動も既に一 若干一命が死に掛け、 週間前の出来事とな 多く

今、僕達の抱えている話題といえば

「明久」

ん ? なに、 雄

そういえば、 例のチケットはどうした?」

トの行方である。 召喚大会で明久と雄二が勝ち取った如月グランドパー クのチケ

例のチケットって 如月グランドパー クのプレミアムチケット

のこと?」

って行ってみたりはしないのか?」 ああ。 確か今週末がプレオープンの予定日のはずだが、 姫路を誘

何を言っているのさ雄二! だって、 あのチケット使って入

いか 場したら、 ちゃうんでしょ? 如月グループの力で一緒に行った人との結婚を強要され そんなことになったら姫路さんが可哀想じゃな

かけてくるとは思うけど」 れるとか言うジンクスを作りたいんだろうし、 「 そりゃ 向こうも如月グランドパー クを訪れたカッ 色々とちょっかいは プルは幸せに

「うんうん。そうだよね」

「 「 姫路も満更じゃ ないと思うぞ」

「......ほえ?」

今日も明久は鈍感なようです。

Kをもらえるかもしれないぞ」 いいじゃな いか。 勇気を出して誘ってみたら。 意外とすんなり口

今日も雄二は人生の墓場から逃れるために必死なようです。

路さんと結婚なんて、そんなのあるわけないじゃないか」 あはは。 またまた雄二ってば冗談ばっかり~。 僕なんかが姫

ふむ。 それなら、チケットはどうしたんだ?」 まあ、 お前がそういうならそれはそれで構わないが。 けど

丁度身近に結婚を考えている人がいたからね。 その人にあげたよ」

になれば、 そうか。 そんな奴がいるなら都合がい 如月グループも喜ぶだろうしな」 いな。 そのまま上手く結婚

そうなったら僕が如月グループをぶっ潰す算段を立てるけどね そうだね。 上手くいけば全員が幸せだもんね」

「その連中、上手くいきそうなのか?」

後は時間ときっかけの問題だけだと思うんだ」

「そうか。うまくいくといいな」

「大丈夫。きっとうまくいくよ」

雄二Side

時は流れ、週末。

.....俺は.....無力だ.....

現実の区別が出来ない妄想野郎』のレッテルを張られた上に、 グランドパークに来る八メになっていた。 俺は朝から翔子とお袋の作戦に嵌り、警察のオッサンに『二次元と 如月

.....やっとついた」

そんな姿を見ると、

つれてきた甲斐があるかもしれない。

嬉しそうにグランドパークの入り口を眺めている翔子。

よし、翔子」

「.....うん」

「帰ろう」

ミシッ

「...... ダメ。絶対に入る」

「はっはっは。 翔子、 おれのひじ関節はそっちの方向には曲がらな

いぞ?」

肘を極めてきた翔子に、 脂汗を浮かび上がらせながらも笑いかける。

まずい。指先の感覚がなくなってきた。

「.....恋人同士は皆こうしてる」

3 待て翔子! ンを同様に考えてないか!?」 お前は腕を組むという仲睦まじい行為とサブミッシ

???

.....???

素で疑問符を浮かべるとは恐ろしい女だ。

関節を取り合っているように見えるのだろう。 きっとコイツには、 世の中の恋人は皆、相手を逃がさないように肘

「 ...... とにかく、入る」

プレオープンという限定的な期間のためか、 左腕を人質に取られたまま入場ゲートへと連行される。 りの青年の前に進むことが出来た。 特に待つこともなく係

た。 その男は日本人ではない いらつ の色も顔もアジア系なので、 しゃ いマセ! のか、 如月グランドパークへヨウコソ! 何処の国の奴かは良くわからないが。 若干訛りのある日本語で応対してき

本日はプレオープンなのデスが、 チケットはお持ちデスカ?」

「..... はい

青年は翔子からチケッ トを受け取ると、 笑顔のままし 瞬固まっ た。

゙.....そのチケット、使えないの.....?」

だが。 翔子が不安そうな顔で尋ねる。 俺としちゃ、 使えないほうがい ا ا الم

サーイ」 「イエイエ、 そんなことはないですヨ? デスが、 少々お待ちくだ

係員はポケッ トから無線を取り出し、 どこかに連絡を取り始めた。

確実に仕留める」 私だ。 例の連中が来た。ウエディングシフトの用意を始めろ。

「おいコラ。何だその不穏当な会話は」

めの工作員か? こいつ急に眼の色が変わりやがった。 まさか例のジンクスを作るた

「......ウエディングシフト?」

翔子が首をかしげている。 は良くわからない単語だろうな。 如月グルー プの陰謀を知らないコイ シに

気にしないでくだサーイ。 コッチの話デース」

取り繕ったようににもとの口調に戻る係員。 あからさまに怪しい。

「アンタ、 さっき無線で流暢に日本語しゃべってなかったか?」

understa a p a n e s e n d i n i S t 0 0 difficult f o r

俺が指摘した途端 いきなりやたらと発音の 11 い英語を喋りやがっ

なんなんだコイツ?

た。

潔いというか、もう開き直ってるとしか思えないそのネーミングの おかげで向こうが何をやろうとしているかが良くわかった。 えさせてくれたら、 ところで、そのウエディングシフトとやらは必要ないぞ。 後は放っておいてくれて構わない」 入場さ

だが、 そんなものに乗る気はない! そうしないと、 俺の人生が...

もてなしさせていただきマース」 「そんな事いわズニ、お世話させてくだサー **1**。 とっても豪華なお

「不要だ」

「そこをナントカお願いしマース」

ダメだ」

「この通りデース」

却下だ」

断ればアナタの実家に腐ったザリガニを送りマース」

「やめろっ! そんなことされたら、 我が家は食中毒で大変なこと

になってしまう!」

るだろう。 あの母親は間違いなくザリガニを伊勢海老と勘違いして食卓に上げ

なんて恐ろしいことをしてくれるんだ、この似非外国人め

「では、マズ最初に記念写真を撮りますヨ?」

「..... 記念写真?」

サイコーにお似合いの二人の愛のメモリー を残しマー

......雄二と、お似合い.....(ポッ)」

翔子は似非野郎の言葉に顔を赤らめていた。

コイツは係員の言葉遣いに違和感を感じないのだろうか?

「お待たせしました。カメラです」

そこに帽子を目深にかぶったスタッフがカメラを片手に現れた。 なんだか見覚えのある奴だな? 帽子で顔を隠しているのが怪しい

<u>לל</u>

а p p r eciate у 0 u r а c t

ぁੑ あぷり.....?」

似非外国人が英語で礼を言ってカメラを受け取る。

ホな声を出している。 スタッフのほうは、 外国人が言っている意味が分からないのか、 ァ

やっぱり妙だ。

ほど外国語の発音がやたらいい奴がいる。 スタッフのほうに見覚えがあるのもそうだが、 俺の知り合いに二人

ちょっと試してみるか。

雄 S i

d

e O

u

t

蓮 S i

d

e

(チッ 雄二の奴が怪しんでいる)

僕は今、 はろー。 この小説の主人公 (忘れてないよね?) 鮎川蓮です。

如月グランドパークにいます。

け。 タッ 雄二と霧島さんのデートを応援しよう! フに扮した明久に疑いの視線を浴びせている真っ最中というわ Fクラスのメンバーが集まったわけですが、 と明久が面白半分で提案 目の前で雄二がス

模写をして係員やってます。 ちなみに僕は、 メイク&この前テレビで見た外国人タレントの声帯

が少し電話をさせてくれ」

分かりましタ」

が 雄二が携帯電話を取り出して電話を(おそらく明久の携帯にだろう 掛ける。

Prrrrrrrrrr

「ああ、すいません。僕の携帯ですね」

明久の尻ポケットから携帯の呼び出し音が鳴る。

いよう明久。 テメェ、 面白いことしてるじゃないか.

「人違いですっ!」

ダッ!

今の雄二を離したら明久が無残な変死体として発見されそうだ。 「あっコラ! 逃げるなテメエ! ええい、 離せこの似非外国人!」

彼はここのスタッフのエリザベート・ハナコ(35歳)、通称ス

ティーヴでース。吉井ナントカさんではありまセーン」

考えてもその名前で通称スティーヴはないだろ! 「黙れ! 人種性別年齢氏名全てに堂々と嘘をつくな! ついでに俺は吉 島もどう

井なんて苗字は一言も言ってない!」

「しまったっ!」

ん ? 貴様その声とい ľί 英語の発音といい、 明久より低いその

身長といい……お前蓮だな!?」

「何を言っているのデスか? 私はロータス (英語で蓮)

スウィートフィッシュ (ドイツ語で鮎) でース」

「完全に当て字じゃないか!?」

チッ! ばれたか.....。

僕と明久の存在を確認した以上、 るだろう。 ほかのメンバーについても警戒す

「翔子、スマンがちょっと我慢してくれ」

??

軽く捲りあげる。 雄二はそういって、 きょとんとしている霧島さんのスカートを掴み、

って!? いきなりにゃにをっ!?

「......(ギラッ)」

雄二の大胆行動に僕がテンパっている間に、 ツリーニが霧島さんのサービスショットに反応してしまった。 近くに潜んでいたムッ

来ていたか」 咄嗟にカメラに手を伸ばすその動き.....。 やはりムッツリー 二も

じゃないですか。 そうですよ。 僕と明久がいてムッツリーニがいないわけない

.....雄二、えっち」

こんな人の多いところでスカートを捲られるという大事をやられた 霧島さんが少し困ったような顔で雄二に抗議している。

のに、満更でもないあたり、 霧島さんの眼中には雄二しか映ってい

ないに違いない。

なっ ! ? 違うぞ翔子! 俺はお前の下着なんかには微塵も興味

がない!」

「……それはそれで、困る」

· ぐぁああああああっ! 理不尽だぁっ!」

霧島さんの握力で、雄二の頭蓋が軋む音がする。

今のうちに写真撮影を済ませてしまおう。

カメラをムッツリーニに渡し、印刷してもらう。 フラッシュと共に、 では、 写真を撮ります。 電子音が聞こえ撮影が終了する。 はい、チーズ」

雄二にアイアンクローをしたまましゃべる霧島さん。 .....わかった。 すぐに印刷いたしますので、そのままお待ちください」 このまま待ってる」

そういう意味じゃないんだけど.....。

「 ! ? 程なくして、 ムッツリーニが印刷を終え、 はい、どうぞ」 写真を持ってきた。

写真を見たときの動揺を押し殺し、 雄二と霧島さんに写真を見せる。

「.....雄二、見て。私達の思い出」

「.....なんだ、この写真は」

写っているのは霧島さんの後姿とアイアンクロー 一。そして に悶絶している雄

「さ、サービス加工も入れておきました」

その二人を囲むハートマークと『私達、結婚します』という文字。

写真を撮った張本人が言えるせりふじゃないかもしれないが、 二人に幸せは訪れそうにない。

うに言っていたから、 メリットどころかデメリットしかないだろうが、明久がそうするよ て言うんだ!?」 「この写真を、パークの写真館に飾ってもいいですか?」 蓮、正気か!? これを飾ることでここに何のメリットがあるっ 僕は従わざるを得ない。 諦めてくれ、

「.....雄二、照れてる?」

すまない。 この写真で照れる要素が何処にも見当たらない」

なんて、印刷された写真を見ていると、

写ってやんよ』 『あぁっ! 『オレ達の結婚の記念に、 記念撮影してる! か? そうだな。 アタシらも撮ってもらおー おい係員。 オレたちも ・よ!』

まあ、 なんとも頭の悪そうなカップルが歩いてきた。

つーか、何でそんなに偉そうなんだ?

「すいません。こちらは特別企画ですので」

一応下手に出て謝っておく。

これはパークの許可を取って、 僕たちが雄二と霧島さんだけを対象

にやってることだから、 他の客までやる余裕はない。

つ しし いじゃねーか! オレたちゃ オキャクサマだぞコル

ア !

『きゃーっ。リュータ、かっこいーっ!』

上から見下ろすように威嚇してくる男のほう。

絵に描いたようなチンピラなんだけど、 のほうもどうかと思う。 そのチンピラを見て喜ぶ女

はない。 あと、 接客の心構えであって、 一つ言うとすれば、 お客である貴様らが持ち出すような言葉で 『お客様は神様』 っていうのは、 お店の

こんな奴がプレオープンとはいえ園内をはいかいしているのもパー クにとって迷惑になるだろう。 ということで駆除しておこう。

1) 致します。 お客様。 この往来ではなんですので、 こちらへ」 完全なツー ショッ トをお撮

### 頭の悪いカップルを人の少ない場所 に連れ込む。 具体的に言うとトイレの裏

駆除完了。 『ぎゃああああああああああああああっ!』 「貴様ら調子こいてんじゃねえぞゴルァッ

その後戻ったときには、 雄二と霧島さんの姿はなかった。

### 第三十四問 坂本雄二結婚大作戦! (前書き)

今回は短いです。

どうしても2話で収まらなかった.....。

## 第三十四問 坂本雄二結婚大作戦! (中編)

## 坂本夫妻のマル秘恋愛テクニック講座

.....おい翔子。 ..... これは、 私達夫婦が恋愛の秘訣を皆に教えるコーナー」 とりあえず俺に分かるように状況を説明しろ」

ちなみに僕、鮎川蓮と吉井明久がアシスタントです」

驚いた。このタイトル、 9 က္ဆ の部分以外嘘しか書いていないぞ」

......では、ハガキの紹介」

たまには俺の話を聞け」

...... 『突然ですが、 仲良し夫婦のお二人に相談です』

コイツが本当に恋愛相談の相手にふさわしいか、もう一度良く考え ハガキの差出人よ。 俺は今、手足を縛られて床に転がされている。

て欲しい

惑に負けて浮気をしないか心配です。 どうしたら良いでしょうか?』 『私には婚約者がいるのですが、 その人が周りの女の人の誘

いや、どうしたらと言われてもな」

..... 夫の浮気には私も困っている。 他人事とは思えない」

·頼むから他人事と思ってくれ」

だから、 私の考えた浮気防止法を教えてあげる」

それは俺の身に降りかかる不幸予告と考えてい のだろ

うか?」

..... 用意するものは三つ。 アシスタントさん。 お願い」

「「はいは~い」

#### ガラガラ

「 ? 浮気防止に道具が必要なのか?」

「...... 一つ目は」

「一つ目は?」

.....『手錠』

翔子ストップだ。 一つ目からいきなり犯罪臭がする」

...... 二つ目は」

やっぱり聞いていないな。それで、二つ目は?」

゙.....『エプロン』」

ちょっと待ってくれ。 急にお前の考えが読めなくなった。 Ļ しし

うかその組み合わせで俺に何をするつもりなんだ?」

「......そして三つ目は」

「三つ目は?」

゙.....『ビデオカメラ』」

貴様何を撮るつもりだ!? 手錠とエプロンでドレスアップされ

た俺の何を撮るつもりだ!?」

......その三つを用意して、夫に浮気の怖さを教えてあげるとい ١١

「俺は今何よりお前が怖い」

以上、『バカなお兄ちゃん大好き(11 .歳)』 ちゃ んからの

おハガキでした」

差出人小学生かよ!? 世も末だな!?」

どうしてだろう、 蓮。 僕他人事とは思えないんだ」

奇遇だな明久。 僕もこんなことをやる人間を身近に知っている気

がする.....」

# 第三十四問 坂本雄二結婚大作戦! (中編)

雄||Side

「さて。それじゃ、テキト― に回って帰るか」

「.....楽しみ」

ていた。 チンピラカップルの相手をしている蓮を尻目に、 俺達は園内を回っ

前評判どおりの最新アトラクションが沢山ある。

3Dの体験アトラクションから絶叫マシン、コーヒーカップやメリ ーゴーランドなど、 知っているアトラクションはすべて揃っている

中には、 見た目だけでは想像もできないようなものもある。

「映画館でもあれば楽なんだがな」

折角一緒にいるんだから、そんなのはダメ」

翔子に却下されたので、 ラクションを探す。 仕方なく妙な雰囲気にならないようなアト

すると、 っきの狐の着ぐるみに似ている。 て大きなリボンをしているところを見ると、こいつはメスなんだろ そんな俺達にヒョコヒョコと着ぐるみが近づいてきた。 違いは服装だ。さっきの奴と違っ さ

お兄さん達、 フィー が面白いアトラクションを紹介してあげるよ

うか、聞き覚えのある声だ。 どは搭載してないのか、その声は普通の人間の声だった。 着ぐるみから聞こえてくるのは若い女の声。 ボイスチェンジャ 声に聞こえてならない。 気のせいか、 クラスメイトの優等生の :: اما

こいつも確認しておくか。

な 「そういえば、 さっき明久がバイトの女子大生に映画に誘われてた

本当にコイツらは、 『ええつ! 明久君が!? 揃いも揃って.....。 それは何処で見たんですか

「おい姫路。アルバイトか?」

んて人じゃないよ? 『あ.....っ! じゃあ、 う うんつ。 フィーとやら。 ち 違います! フィー 見てのとおり狐の女の子だよ?』 お前のおススメを教えてもらえるか?」 のおススメはねっ、 私 じゃ なくてフィー 向こうに見えるお化 は姫路な

け屋敷だよっ』

姫路 を指さす。 ではなくてフィー は噴水を挟んだ向こうにあるお化け屋敷 ふむ。 ハイ病院を改造したとか言う例のアレか。

「 そうか。 ありがとう」

『いえいえっ。楽しんできてねっ』

「よし翔子。お化け屋敷以外のアトラクションに行くぞ」

翔子の背中を押して歩き出すと、 姫路が慌てたように俺の手を掴ん

んですか!?』 『ままま待ってください! どうしておススメ以外のところに行く

敷に余計な仕掛けが施されていることは明白だろう。 ころに行く気はない」 「どうしてもクソもあるか。 お前の口ぶりから察するに、 態々そんなと お化け屋

さいっ 『そ、そんな困りますっ! お願いですからお化け屋敷に行って下

「断る」

そのお願いとやらのために残りの して拒否し、 俺は自由を謳歌するんだ! 人生を捧げる気はない 断固と

雄||SideOut

蓮Side

お願いです~っ! お化け屋敷はきっと楽しいですから!』

「い・や・だ!」

雄二がフィー、 チンピラカップルを駆除し、 もとい姫路さんに掴まれているところだった。 雄二たちをやっと見つけたと思っ たら、

近づいてきた。 助けに入ろうかな~なんて考えていると、 向こうのほうから何かが

『そこまでだ雄二 じゃなくって、そこの不細工な男!』

「その頭の悪そうな仕草.....明久かっ!」」

だったはず) だった。 颯爽と登場したのはフィーの色違いの狐の着ぐるみ (たしかノイン

だ! 『失礼な! 僕 じゃなくてノインの何処が頭が悪いって言うん

ユ | 本来はマスコットの名の通り可愛らしい外見をしているであろうそ の狐の着ぐるみは頭部の装備が前後逆になっているせいでとてもシ 「黙れ! ルな生物に変わり果てていた。 頭部を前後逆につけている奴をバカといって何が悪い

`.....雄二、ノイちゃんはうっかりさんだから」

に淘汰されると思うぞ」 翔子。 うっかりで頭部が前後逆になる生物がいたら自然界で即座

今回は雄二に賛成だ。

ろう。 うっかりで即死する生物などいたら食物連鎖の底辺もいいところだ

もしかしたら植物よりも下かもしれない。

見て泣き出しちゃ 明久君つ。 頭が逆です! いましたよ!?』 ああっ 今小さな子が明久君を

うわっ、 しまった! 通りで前が見えないと思った!』

『早く直さないと坂本君にばれちゃいますっ!』

今頃気づく明久だが、前が見えないのにどうやってここまできたん

だろう?

意外と侮れないかもしれない。

......さて。そろそろ助けに入るか。

「はい。すいません。お待たせいたしました」

雄二と霧島さんに近づいて声を掛ける。

「蓮、貴様ついに似非日本語すら使わなくなったな!?」

雄二がなんか言ってるけど気にしな~い。

「坂本雄二さん、 というか雄二。お化け屋敷に行ってくれない?」

· だからいやだといってるだろうが」

「コトワレバ、アナタの実家にプチプチの梱包剤を大量に送りマー

ス

まう! 「やめろっ! さらに何処でその情報を仕入れた!?」 そしてお前はどうしてこのときだけ似非日本語を使う!? そんなことされたら我が家の家事がすべて滞っ

明久から仕入れました。

て聞きましたけど? 『ところで明久君。 さっき女子大生の人から声を掛けられていたっ まさか、大事な作戦の最中に他の女の人と..

:

。 え? なんのこと? 僕は別に何も てあれ? どうして携

帯電話を取り出すの? 誰かを呼ぶ気?』

さいね?』 『美波ちゃ んが来てくれるそうです。 お話、 ゆっ くり聞かせてくだ

彼女も侮れないスキルの持ち主なのか.... 姫路さんは着ぐるみを着たままどうやって携帯を操作したんだろう?

ど!? ひいいっ! ダメだよ! 土下座でも何でもするからころさないでくださいっ!』 なんだかすごい勢いで誰かが走ってきているんだけ オープン初日に刃傷沙汰なんてココの評判に

ファンシー な狐の痴話喧嘩って、 なかなか見れるもんじゃないよね

:

仕方がない。奥の手を使おう。

霧島さんに近づいて、耳もとで囁く。

坂本翔子さん、お化け屋敷は抱きつき放題ですよ?」

「.....雄二、お化け屋敷に行きたい」

汚いぞ蓮、翔子を使って罠に嵌めようなんて それと、 翔子を

勝手に入籍させるな!
そいつの苗字は霧島だ!」

「......大丈夫。すぐに変わるから」

抗議する雄二の肘関節を極める霧島さん。

彼女は結婚相手の意思は関係ないのだろうか.....

では、この誓約書にサインしてください」

「なんだこれは?」

「ただの誓約書です」

お化け屋敷に誓約書が必要なのか.. まあ、 面白そうではあるな」

雄二が誓約書に手を掛ける。

その誓約書にはこう書かれていた。

### [誓約書]

- ることを誓います。 坂本雄二は霧島翔子を妻として障害愛し、 苦楽を共にす
- す。 婚礼の際には、 如月グランドパークを利用することを誓いま
- 3 どのような事態になろうとも、 離縁しないことを誓います。

「.....はい雄二。実印」

「.....朱肉はこちらです」

俺だけか!? 俺だけがこの状況をおかしいと思っているのか!

?

安心してくれ雄二。 しいと思っている。 僕だってこの状況も如月グループの考えもおか

敷の中に入ってもらう。 とりあえず、 冗談ということにして、雄二と霧島さんにはお化け屋

「それでは、お邪魔になりそうなその大きな鞄をお預かりいたしま

す

「..... お願い」

霧島さんの鞄を受け取る。

遊園地に来るにしては荷物が大きいと思っていたところだ。

.....零れちゃうから、横にしないで欲しい」

この鞄をですか? 分かりました。 気をつけます」

零れる.....か。何が入っているんだろう。

· では、いってらっしゃいませ」

.....雄二、行こう」

「痛だだだだっ!」 肘がねじ切れるっ!

雄二の抵抗むなしく、 霧島さんと雄二はお化け屋敷の入り口に立つ。

あのお化け屋敷には、 明久考案の作戦が施されている。

Ļ 翔子よりも好みだな。胸も大きいし』 いうのも歩いていると、廊下のスピーカーから、 Ļ 雄二の声真似をした 姫路のほう

秀吉の声が流れてくるというものだ。

さらに、 処刑道具として釘バットが下りてくるなんて鬼畜にも程が

ある。

そのおかげで、 小一時間、 雄二の叫び声が途切れることはなかった。 雄二たちがお化け屋敷に入ってから出てくるまでの

明久はこのどさくさに紛れて、本気で雄二殺害を目論んでいないだ ろうか?

たが、 あれと結婚を結び付けて考えられるのは、 お前もなのか?」 お疲れ様でした。どうでしたか。 結婚したくなりましたか?」 明久だけだと思ってい

いやだって、こう言うように台本に書いてあるんだもん。

この作戦は明久考案だから、 文句があるなら明久に言ってくれ」

認めたな!? ついに明久の存在を認めたな!?」

だって気づいてるでしょ? どう見ても」

う。 逆にここまでして気づかないのは全世界でも明久くらいのものだろ

でも、 そうじゃ なかっ ろだったんだ。 明久考案の作戦にしないといけなかっ たら、 如月グルー プ考案の作戦になってしまうとこ たんだ。

如月グループの作戦。

詐欺。 2 ヤクザを使っての脅迫。 3 人質をとっての脅迫。

鬼畜にも程がある。

大企業の暴挙に頭を悩ませていると、 .. そろそろ、 お昼」 霧島さんの声で現実に戻され

そろそろ次の作戦の時間だ。

た。

腕時計を確認してみると、 午後の一時を過ぎている。

あの、 私のバック

さっきの霧島さんの言葉で、 かってしまったが、 ください」 では、 豪華なランチを用意してありますので、 心を鬼にして歩き出す。 バックに何が入っているのかは大体分 こちらにいらして

昼食会場に来てくれないと、 んだ。 霧島さんが一番望むものが体験できな

翔子、 どうした?」

「.....なんでも、ない」

???

寂しそうな霧島さんの声を背後に歩を進める。

きっと満足させるから、待っててね霧島さん ( 雄二は除外)

## PDF小説ネット発足にあたって

ビ対応 行し、 など 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きインター 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 の縦書き小説 ています。 そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 の タイ いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n3452x/

バカと白黒と召喚獣

2011年11月20日20時06分発行